

意思伝達装置

伝でんの心しん

取扱説明書

株式会社 日立ケーイーシステムズ  
株式会社 日立製作所

# 目次

第 1 編 「文書作成・リモコン操作」 .....	1
1. 起動と終了 .....	2
1. 1 起動 .....	2
1. 2 終了 .....	2
2. 日常使用文 .....	3
3. 文字入力の基本操作 .....	4
3. 1 ひらがな文字の入力（文字盤入力） .....	4
3. 2 未確定文字域の文字を削除する時 .....	7
3. 3 小文字、数字を入力する時 .....	7
3. 4 カタカナ、英文字、記号を入力する時 .....	8
3. 5 全角／半角文字を入力する時 .....	8
4. 定型句入力の操作方法 .....	9
4. 1 定型句入力の画面構成 .....	9
4. 2 定型句入力の基本操作 .....	9
4. 3 定型句入力を中止したい時 .....	11
4. 4 定型句の削除方法 .....	11
4. 5 定型句の登録方法 .....	11
5. 漢字入力の操作方法 .....	15
5. 1 漢字入力の画面構成 .....	15
5. 2 漢字入力の基本操作 .....	15
5. 3 漢字変換を取り消したい時 .....	16
6. 文書編集機能 .....	17
6. 1 文書編集の画面構成 .....	17
6. 2 文字盤機能の概要 .....	17
7. 範囲指定の操作方法 .....	20
8. 一発メール送信機能 .....	22
9. 会話文字盤 .....	23
9. 1 文書文字盤と会話文字盤の切り替え .....	23
10. 機器のリモコン操作 .....	24
10. 1 テレビのリモコン操作 .....	24
10. 2 ビデオのリモコン操作 .....	25
10. 3 学習リモコン1のリモコン操作 .....	26
11. 印刷 .....	27
11. 1 印刷の仕方 .....	27
11. 2 用紙の設定 .....	28
11. 3 フォントの設定 .....	29
11. 4 余白の設定 .....	32
12. 文書管理 .....	33
12. 1 文字・文章の保存の仕方 .....	34
12. 2 名前を付けて保存 .....	34
12. 3 上書き保存 .....	37
12. 4 保存した文書を読み出す .....	38
12. 5 保存した文書の並び替え .....	39
12. 6 保存した文書の削除 .....	41
12. 7 誤って文書を削除した場合 .....	43
13. 音声の設定 .....	44
13. 1 スイッチ音の設定 .....	44
13. 2 読上げ .....	46
13. 3 読上げ速度 .....	51
13. 4 声の性別 .....	51
14. その他の設定 .....	52
14. 1 「文書表示」に関するもの .....	52
14. 2 「操作方法」に関するもの .....	52

14.3	文字盤の拡大について	53
14.4	読上げ選択について	53
15.	介護者用設定	54
15.1	設定方法	54
15.2	リモコンの設定	55
15.3	ホームページの設定	58
15.4	電子メールの設定	58
15.5	定型句編集	59
15.6	文字盤編集	62
15.7	日常使用文編集	63
15.8	リモコン登録・編集	65
15.9	リモコン機器のメニュー一覧	66
15.10	音声合成ユーザ辞書編集	71
15.11	スイッチ入力テスト	74
16.	リモコン機能補足説明	75
16.1	準備	75
16.2	リモコン使用上の注意	77
16.3	リモコン装置のボタンと機能の対応	78
16.4	リモコン装置へのリモコンデータの登録方法	84
<b>第 2 編 「電子メール・ホームページ閲覧」</b>		<b>85</b>
1.	はじめに	86
1.1	インターネット設定	87
2.	電子メール	91
2.1	メインメニュー	91
2.2	受信箱を開く	92
2.3	送信箱を開く	96
2.4	送信の準備	98
2.5	送受信（回線接続）	100
2.6	アドレス帳の編集	101
2.7	その他の機能	105
2.8	電子メールの送受信手順	108
2.9	送受信データ形式	109
3.	ホームページ閲覧	110
3.1	起動画面	110
3.2	よく使う機能	111
3.3	その他の機能	114
3.4	アドレス入力	116
3.5	マウスの操作	117
3.6	呼び出し音（連続）	119
3.7	ホームページの終了	120
付録1：コピー(複写)、貼付け機能の応用		121
<b>第 3 編 「ウィンドウズ操作」</b>		<b>125</b>
1.	起動と終了	126
1.1	起動	126
1.2	終了	126
2.	文字盤と操作盤	127
2.1	起動時の画面	127
2.2	文字盤の選択	128
2.3	ひらがな文字盤	129
2.4	カタカナ文字盤	131
2.5	英字文字盤	133
2.6	記号文字盤	134
2.7	数字文字盤	135
2.8	編集機能盤	136
2.9	文字盤の移動	137

2. 10	マウス操作.....	138
2. 11	文字盤の操作.....	140
2. 12	相手ウィンドウの操作 .....	141
2. 13	ズームアップ .....	142
2. 14	マウス吸着.....	143
2. 15	アイコンの移動と実行 .....	144
2. 16	インターネットエクスプローラの操作.....	145
2. 17	文字盤の最小化 .....	147
2. 18	親孝行.....	148
3.	アプリケーションへの文字入力 .....	156
3. 1	前準備 .....	156
3. 2	ワードパッドの起動.....	157
3. 3	文字盤からの文字入力.....	159

## 第 1 編 「文書作成・リモコン操作」

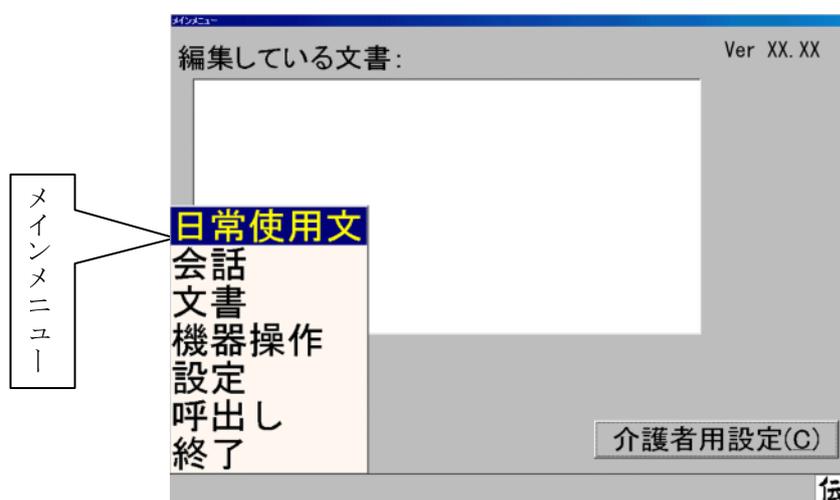
# 1. 起動と終了

「伝の心」の起動と終了は次の方法で行ないます。

## 1.1 起動

- ① プリンタなどの周辺機器の電源を入れてください。
- ② パソコンの電源スイッチを押してください。

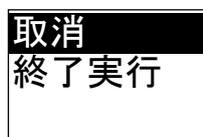
パソコンの電源スイッチを押すと「伝の心」が自動的に立ち上がり、メインメニューが表示されます。



---

## 1.2 終了

- ① 「伝の心」のメインメニューで「終了」を選択してください。下記メニューが表示されますので「終了実行」を選択してください。



この「終了実行」を選択するとパソコンのシャットダウン処理が行なわれ、自動的にパソコンの電源が切断されます。

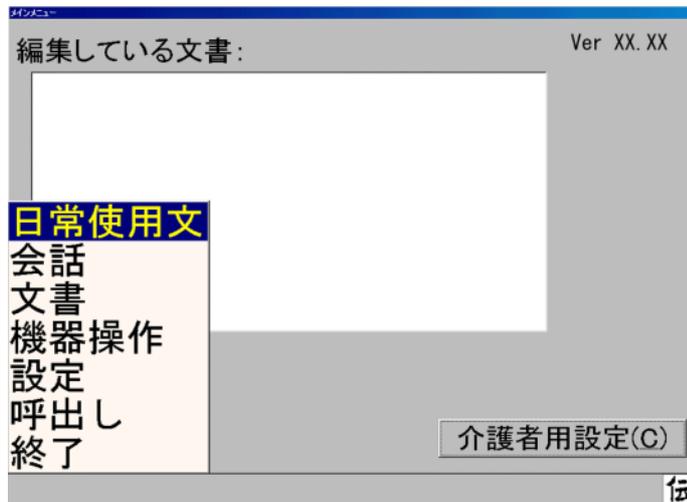
- ② プリンタなどの周辺機器の電源を切ります。

注1) 「伝の心」動作中にパソコンの電源スイッチを押して電源を切断しないでください。ファイルまたはハードウェアが壊れる場合があります。終了処理は、必ず「伝の心」の「終了」で行なってください。

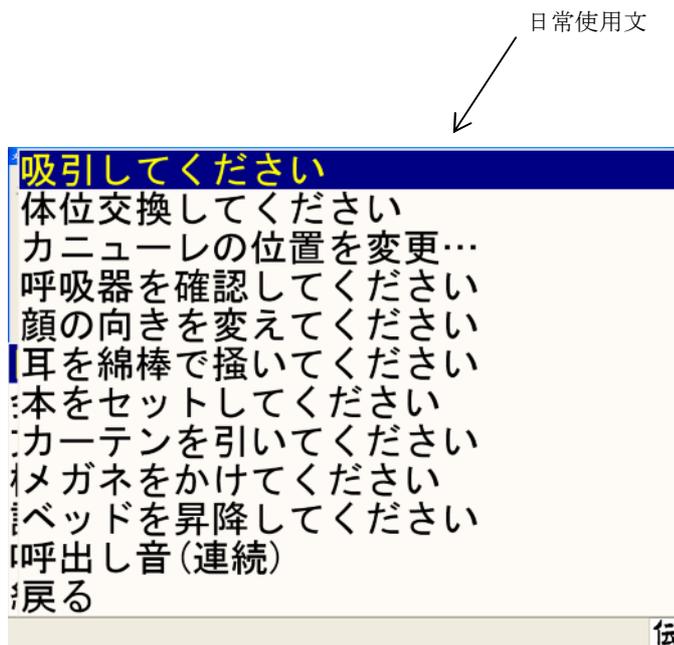
注2) パソコンの電源が切れた後、再度電源を入れるときは、10秒以上間を空けてください。

## 2. 日常使用文

メインメニュー画面で、「日常使用文」のところでスイッチを押します。



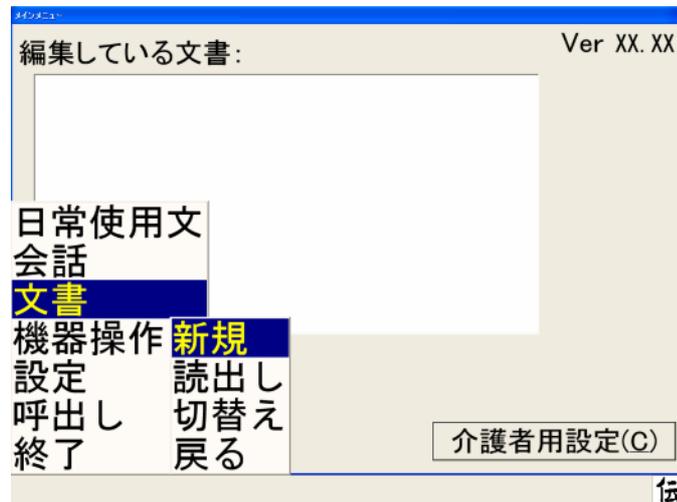
「日常使用文」のところでスイッチを押すと、次のような画面（音声で読み上げを行なう日常使用文）が表示されます。



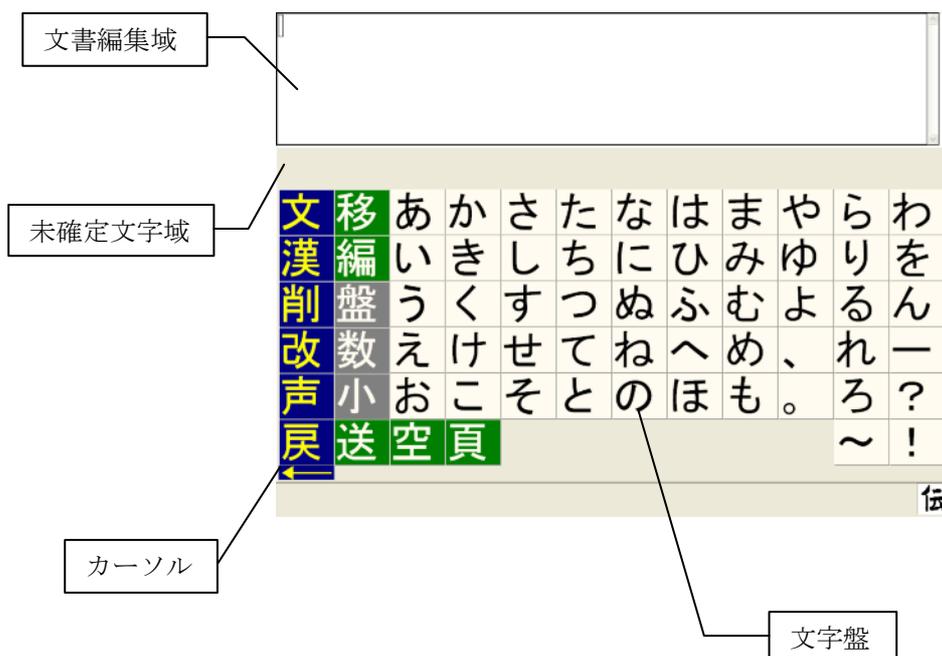
ここで、カーソルが上から下へ順次移動しますので、音声で読み上げを行ないたい文の所でスイッチを押すと読み上げが行なわれます。なお、日常使用文は介護者用設定で編集を行なうことができます。

### 3. 文字入力の基本操作

メインメニューで、「文書」のところでスイッチを押すと、次のような画面が表示されます。



「文書」の所でスイッチを押した後、「新規」の所でスイッチを押すと次のような画面（文字入力画面）が表示されます。



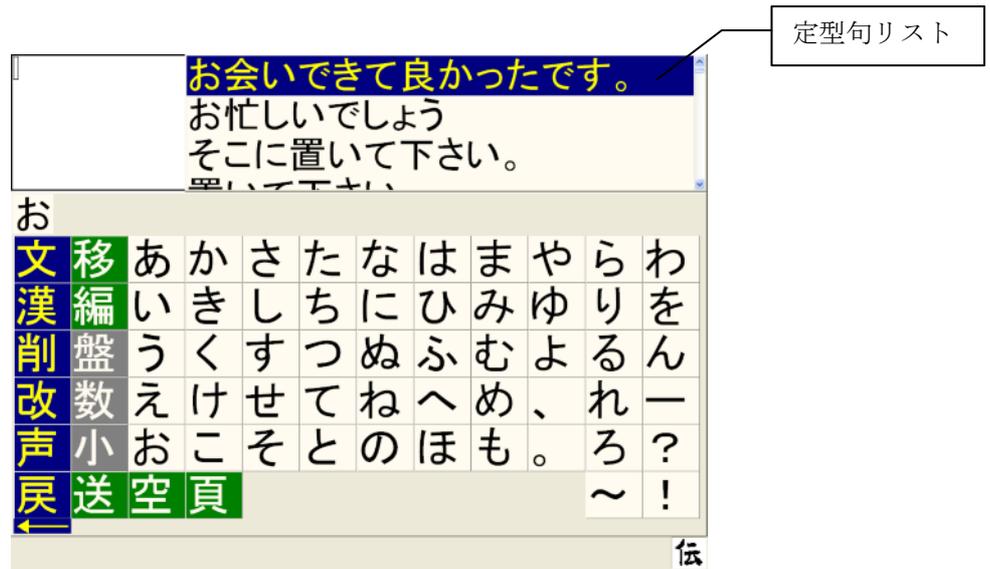
#### 3.1 ひらがな文字の入力(文字盤入力)

■ “おはよう” と入力してみましょう。

- ① まず行を選択します。文字盤上をカーソルが左右方向に移動していますので、ここで“あ行”を選びます。カーソルが“あ行”の上に来た時、スイッチを押します。

注) 行を選択せずにカーソルが移動している状態では、カーソルが2周すると自動的に開始位置で止まります(会話文字盤、記号文字盤など、他の文字盤のカーソルも同じ動作をします)。

- ② するとカーソルは“あ行”を上から下へ移動し始めますので、次の文字である「お」の上でスイッチを押してください。



注) 「お」のように、小文字を持つひらがなは、「大／小文字リスト」が表示されますが、リストからの選択方法は④で説明します。

誤った文字行を選択した時は、次のいずれかの操作を行ってください。

**(a) スイッチを押さずに少し待つ。**

カーソルは上下に2周移動すると、自動的に最初の位置に戻り、再び左右方向の移動が開始されます。

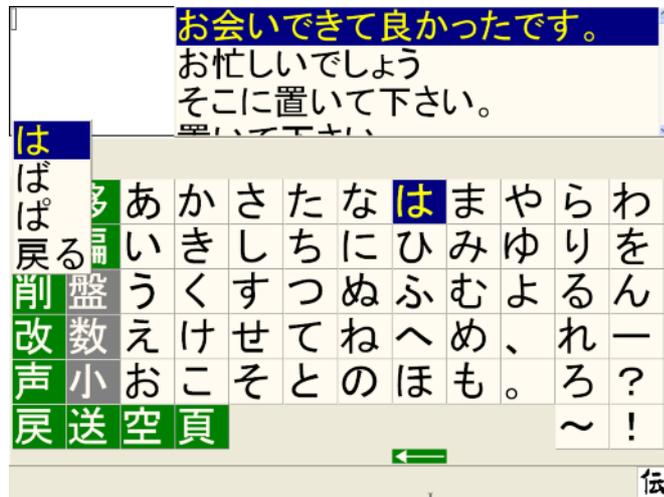
**(b) 文字盤の「→」を選択する。**

カーソルが上下に移動するとき、最初と最後に「→」が表示されるので、これを選択すると再び左右方向の移動が開始されます。

- ③ 未確定文字域に選択された文字“お”が入力されました。

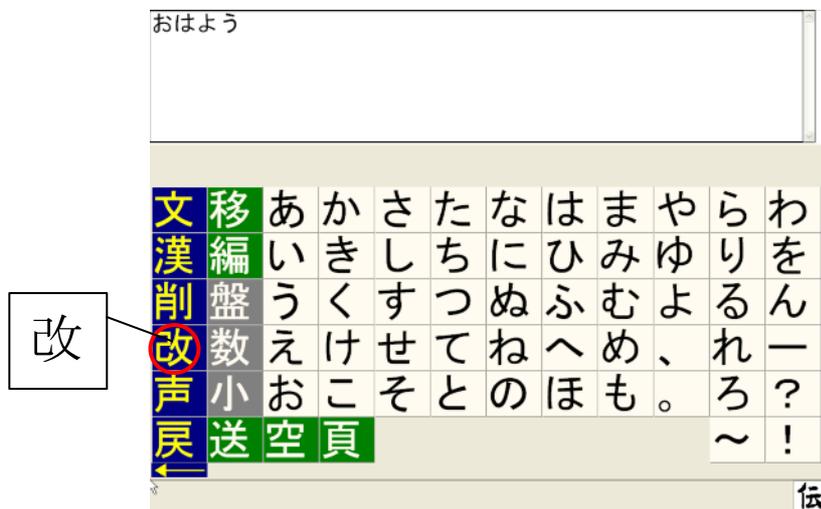
注) ひらがな文字入力中に、定型句リストが表示されることがありますが、そのまま文字入力を続けてください。

- ④ 文字盤上を、再びカーソルが縦方向に移動し始めます。次は「は」を入力します。「は」のように濁点／半濁点文字を持つひらがなは、次の手順で入力します。
- ひらがな文字入力の操作手順に従い、「は」を選択します。
  - 「は」文字の「濁点／半濁点文字リスト」が表示されます。
  - リストから“は”を選択すると、未確定文字域に入力されます。



📖 濁点／半濁点文字（例えば“ば”）の入力も、同様の手順で行います。

- 残りの文字を同様に入力し、“おはよう”という文を完成させます。
- 文字盤の「改」を選択すると、未確定文字域にあった“おはよう”が文書編集域に入力されます。



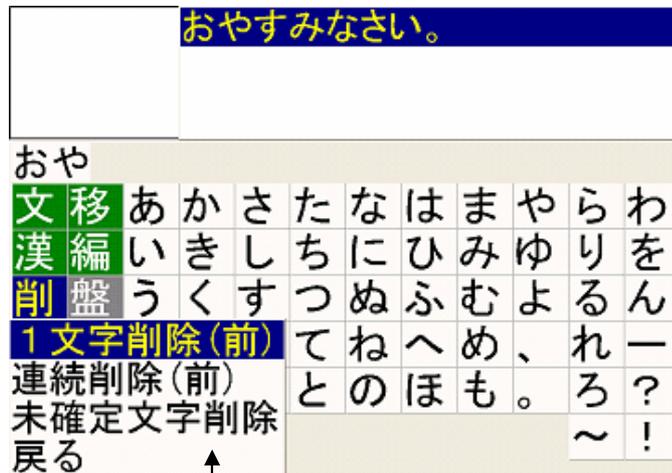
### 3.2 未確定文字域の文字を削除する時

文字盤にある「削」を選択します。

次ページのような削除メニューが表示され、カーソルが上から下に移動します。

該当する削除項目にカーソルがきたら、スイッチを押してください。

消したい文字が削除されます。



**1文字削除(前):**入力中の最後の文字を、1文字だけ削除します。  
**連続削除(前):**入力中の最後の文字から、連続して文字削除していきます(スイッチ押下で中止)。  
**未確定文字削除:**入力中の文字を全部削除します。  
**戻る:**文字盤入力に戻ります。

注) 文書編集域に入力されている文書の削除は、「6. 文書編集機能」の「削」の項を参照してください。

### 3.3 小文字、数字を入力する時

普通のひらがなだけでなく、“ゃ”“い”といった小文字や、数字・記号を入力したいという場合、文字盤から「小」または「数」を選択すると、次のような小文字盤、数字文字盤が表示されます。

[小文字盤]

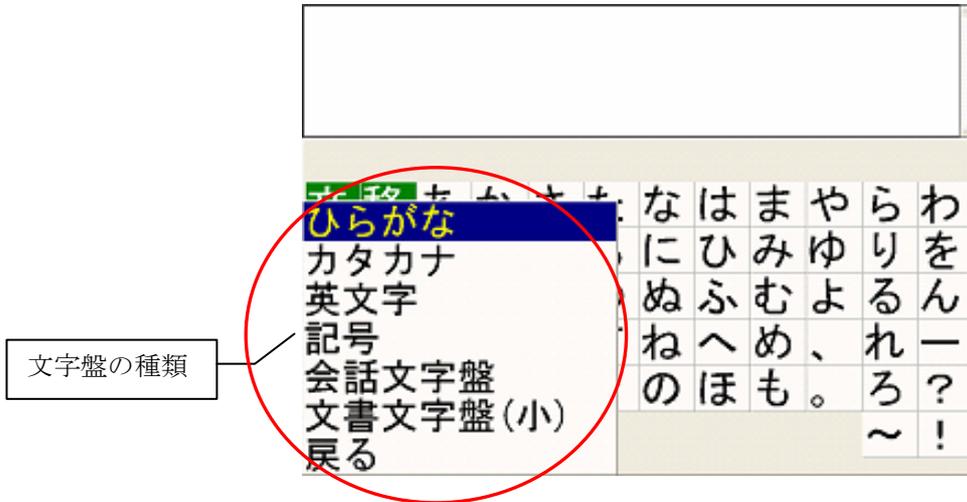
全			あ	や
削			い	ゆ
改			う	よ
			え	つ
戻			お	

[数字文字盤]

全					7	8	9	+
削					4	5	6	-
改					1	2	3	*
¥					0	.	,	/
戻					\$	#	削	=

### 3.4 カタカナ、英文字、記号を入力する時

- ① 文字盤から「盤」を選択すると、文字盤の種類を選ぶメニューが表示されます。



- ② 使用したい盤の名前の上でスイッチを押します。  
 ③ 選択した文字盤が表示されます。

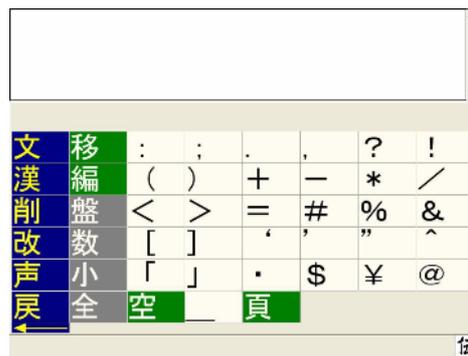
[カタカナ文字盤]



[英文字盤]



[記号文字盤]



### 3.5 全角／半角文字を入力する時

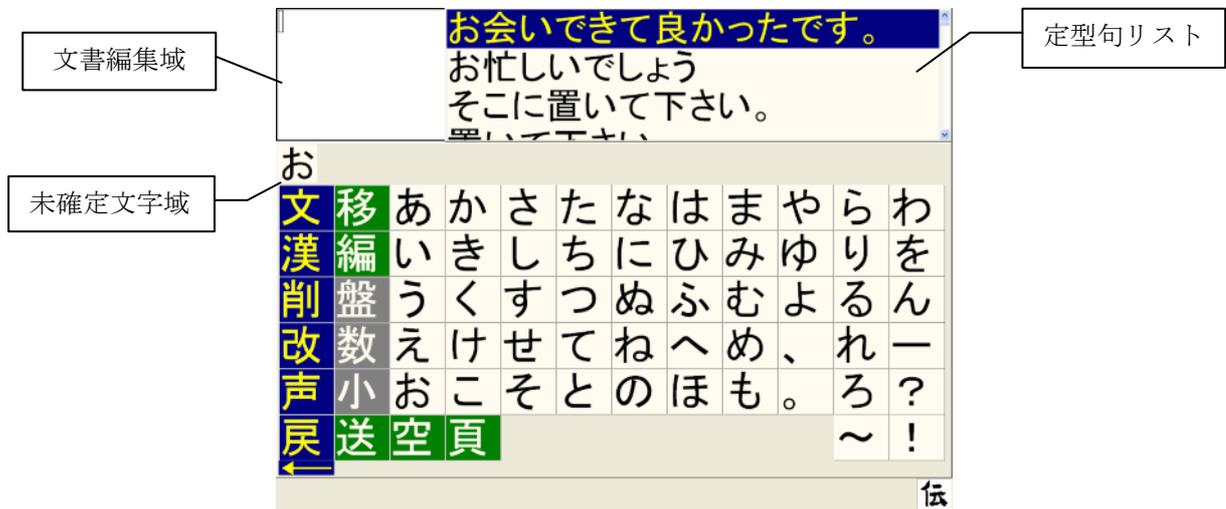
文字盤の「全」または「半」を選択すると、全角／半角の切り替えができます。

- 注1) 文字盤に「全」が表示されている時は全角文字、「半」が表示されている時は半角文字が入力されます。  
 注2) 全角／半角を切り替えても、文字盤上のサイズは変更されません。どちらが現在選択されているのかは、文字盤の「全」「半」文字のどちらが表示されているかにより判断してください。

## 4. 定型句入力の方法

### 4.1 定型句入力の画面構成

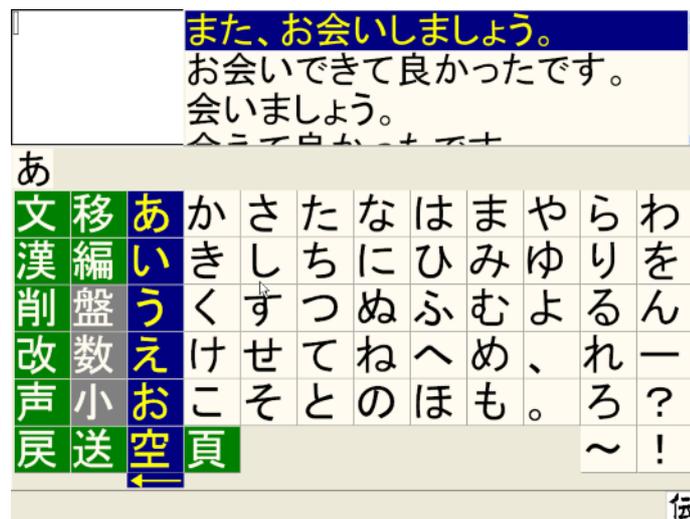
「定型句入力」は次のような状態で構成されています。



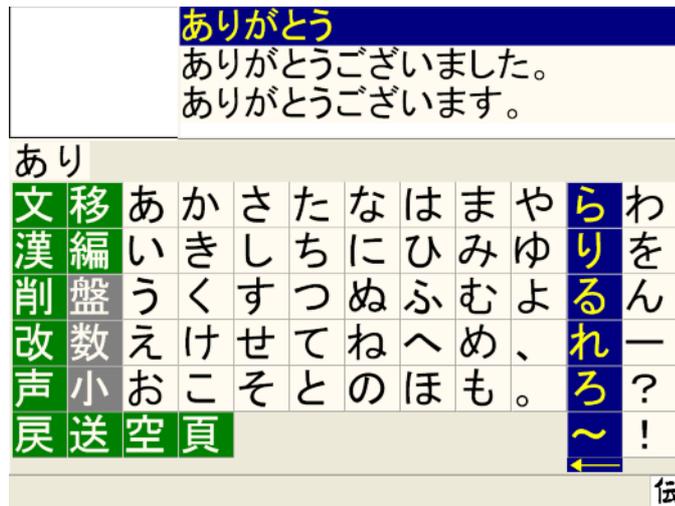
### 4.2 定型句入力の基本操作

#### ■ 定型句で登録されている、「ありがとう」を入力してみましょう。

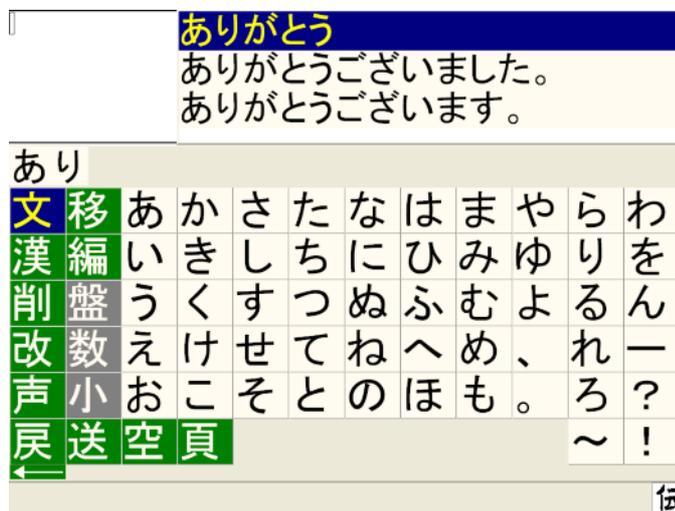
- ① はじめに文書編集画面を表示します（「3. 文字入力の基本操作」参照）。
- ② 定型句の絞り込みを行いません。まず「ありがとう」の最初の文字、「あ」を入力します。
- ③ 定型句リストが表示され、頭文字に「あ」の付く定型句候補の一覧が出ます。



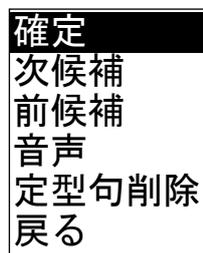
- ④ 次の文字「り」を入力すると、頭文字「あり」が付く定型句に絞り込まれます。  
※定型句にあらかじめ登録されている語句が対象となります。



- ⑤ 定型句リストの中に選びたい候補がある場合、文字盤から「文」を選択します。すると定型句リストのカーソルが移動し始めます。



- ⑥ 自分の選びたい定型句の上にカーソルが来たら、スイッチを押して選択します。すると次のような**選択メニュー**が表示されます。



- ⑦ 正しく選択できている場合は「**確定**」の所でスイッチを押します。

これで定型句が文書編集域に入力されました。未確定文字域の文字はすべて消え、次の文字が入力できる状態になります。

誤った候補を選択したときは、**選択メニュー**の「**次候補**」または「**前候補**」を選択します。再び定型句が選択できる状態に戻ります。定型句リストのカーソルが、「**次候補**」では下方向（↓）、「**前候補**」では上方向（↑）へと移動します。

### 4.3 定型句入力を中止したい時

- ① 選択メニューの「戻る」を選択します。
- ② ひらがな文字入力 of 操作に戻ります。

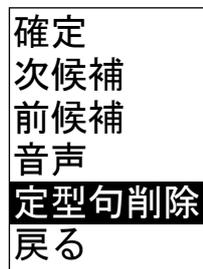
---

### 4.4 定型句の削除方法

#### ■登録されている定型句を削除してみましょう。

定型句リストから、登録されている定型句候補を削除します。

- ① 定型句の絞り込みを行い、削除したい定型句をリストから選択します。
- ② 選択メニューの「定型句削除」を選択します。



- ③ 定型句が削除されます。
- ④ 選択メニューの「戻る」を選択すると文字入力 of 操作に戻ります。

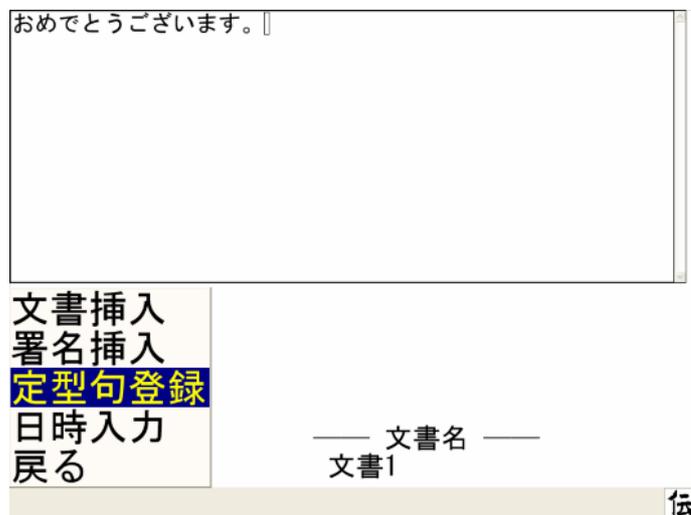
---

### 4.5 定型句の登録方法

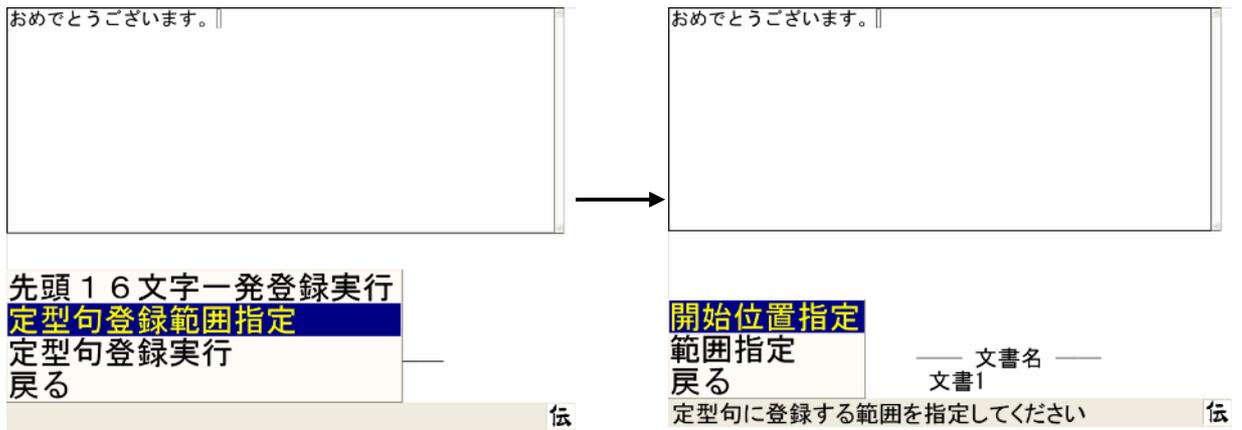
#### ■定型句の登録を行なってみましょう。

定型句リストへ“おめでとうございます。”の定型句を追加する例を示します。

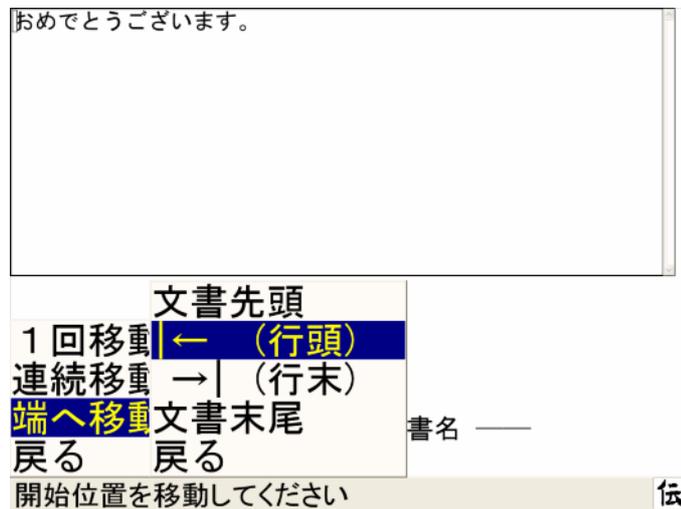
最初に登録をする定型句“おめでとうございます。”を文書編集域へ入力します。その後、文字盤の「文」を選択します。すると、次のメニュー画面が表示されます。ここで「定型句登録」を選択します。



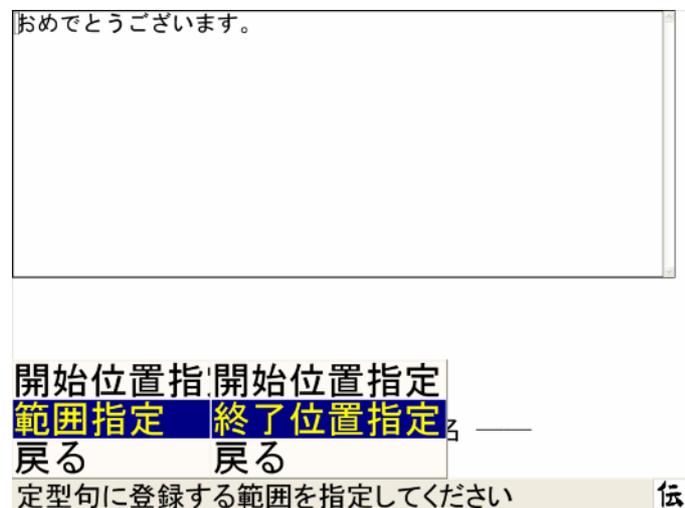
- ① 以下、「定型句登録範囲指定」で、定型句を登録する例を示します（「先頭16文字一発登録実行」を選択した場合は、文書の先頭16文字を定型句として登録します）。「定型句登録範囲指定」を選択した後、「開始位置指定」を選択します。



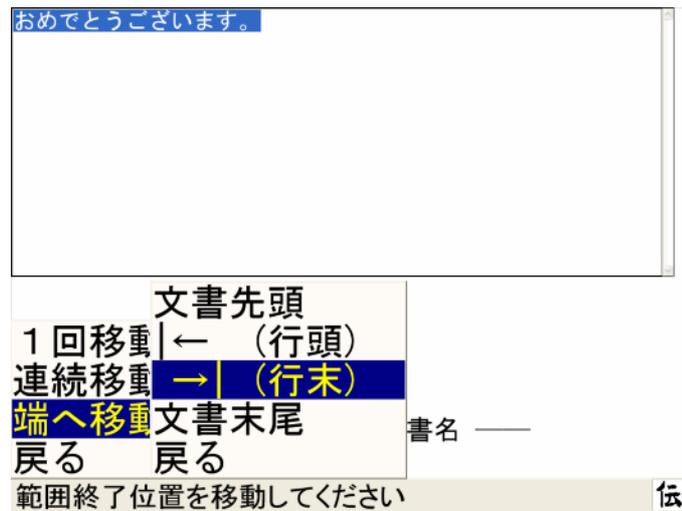
- ② 「1回移動」、「連続移動」、「端へ移動」の中から適当なものを選択し登録する定型句登録する文の先頭にカーソルを移動させます。下図は「端へ移動」を選択した場合を示します。



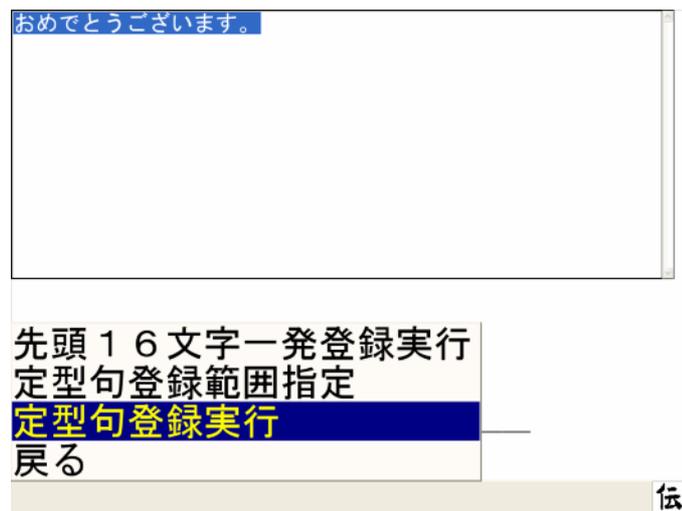
- ③ 「戻る」を2回選択し、前の画面に戻ります。そして、「範囲指定」を選択した後、「終了位置指定」を選択します。



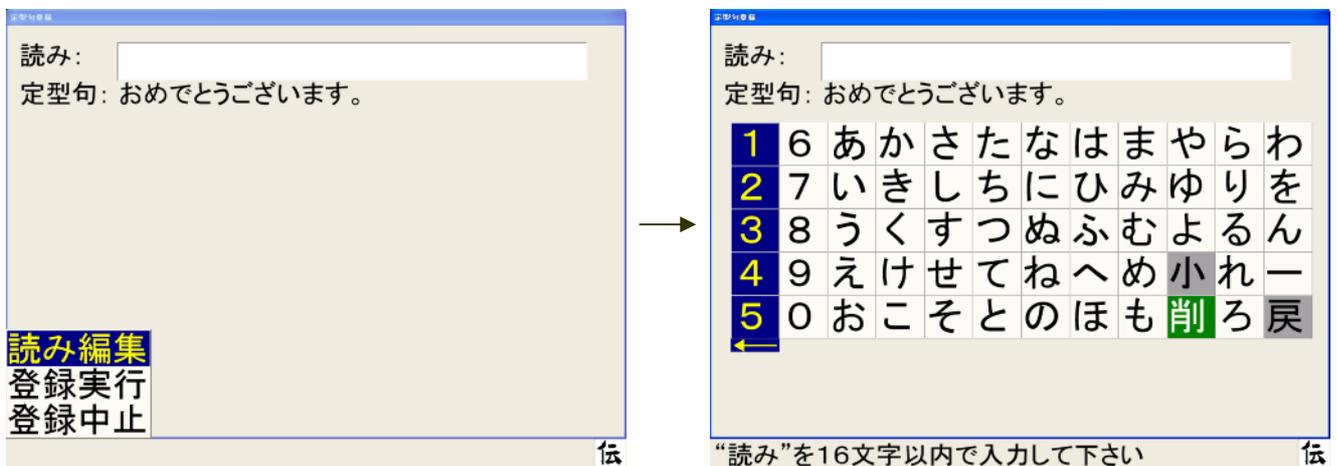
- ④ 「1回移動」、「連続移動」、「端へ移動」の中から適当なものを選択し登録する定型句の末尾にカーソルを移動させます。下図は「端へ移動」を選択した場合を示します。



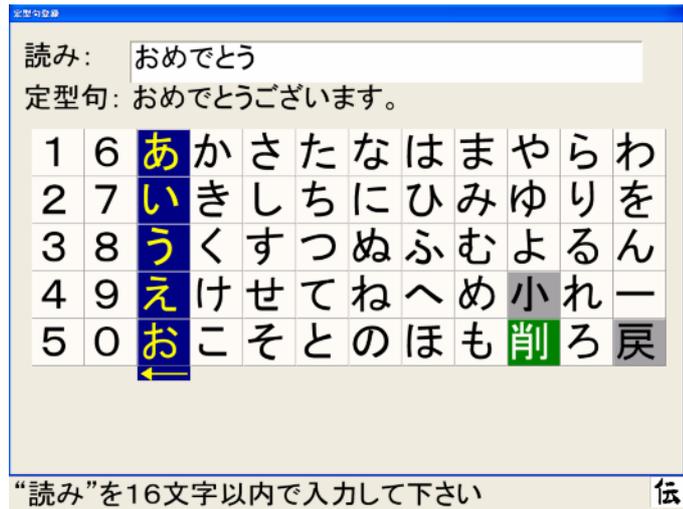
- ⑤ 「戻る」を3回選択し、前の画面に戻ります。ここで、「定型句登録実行」を選択します。



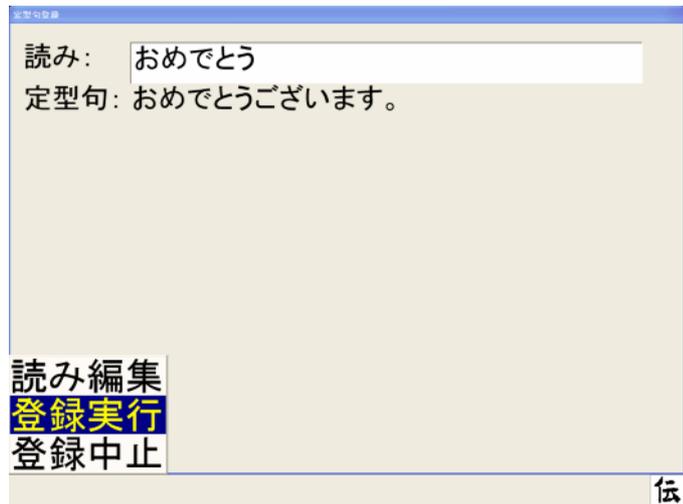
- ⑥ 「読み編集」を選択します。ここで、登録しようとしている定型句の読みを入力します。



- ⑦ 「読み」に”おめでとう”を入力します。



- ⑧ 文字盤の「戻」を選択した後、「登録実行」を選択します。これで、定型句“おめでとうございます。”が“おめでとう”の「読み」で登録されました。

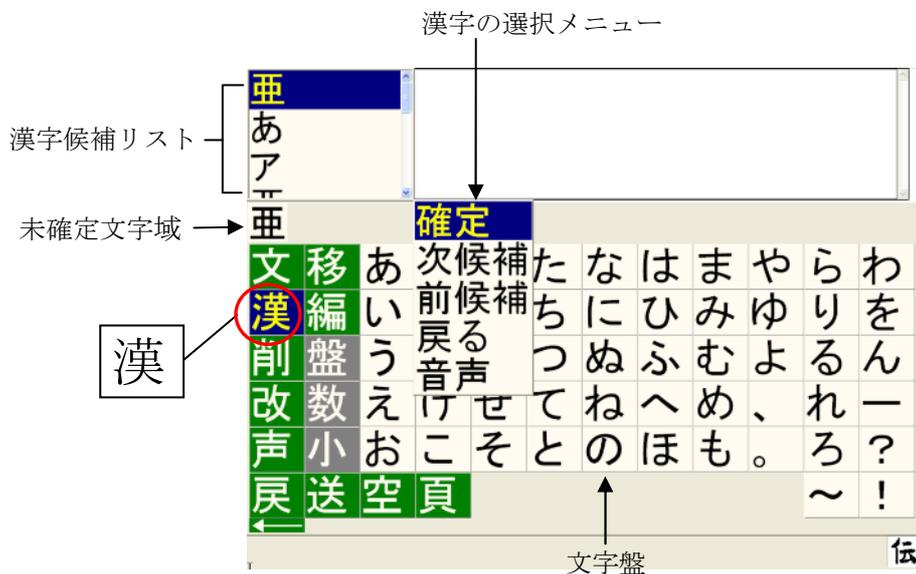


- ⑨ 「戻る」を2回選択すると、入力画面に戻ります。

# 5. 漢字入力の方法

## 5.1 漢字入力の画面構成

漢字入力は、次のリスト、メニューで構成されます。



## 5.2 漢字入力の基本操作

### ■ “簡単” と入力してみましよう。

- ① はじめに、文書編集画面を表示します（「3. 文字入力の基本操作」参照）。
- ② ひらがな文字で“かんたん”と入力します。  
※入力中のひらがなに定型句が登録されている時は、定型句リストが表示されます。
- ③ ひらがなで入力した文字はそのままにして、文字盤の「漢」という字の上でスイッチを押します。すると次のような“かんたん”と読む漢字の候補一覧が表示され、カーソルが移動し始めます。

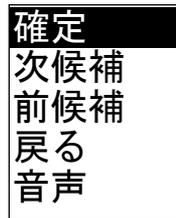
漢字候補リスト



同音文字の多い漢字は、漢字候補リストが長くなります。

- ④ 自分の選びたい漢字候補の上にカーソルが来たら、スイッチを押して選択します。すると次のような**選択メニュー**が表示されます。

**選択メニュー**



- ⑤ 正しい漢字が選択できている場合は「**確定**」でスイッチを押します。

これで、確定された漢字が文書編集域に入力されます。未確定文字域の文字はすべて消え、次の文字が入力できる状態になります。

誤った候補を選択したときは、選択メニューの「**次候補**」または「**前候補**」を選択します。再び漢字が選択できる状態に戻ります。漢字候補リストのカーソルが、「**次候補**」では下方向(↓)、「**前候補**」では上方向(↑)へと移動します。

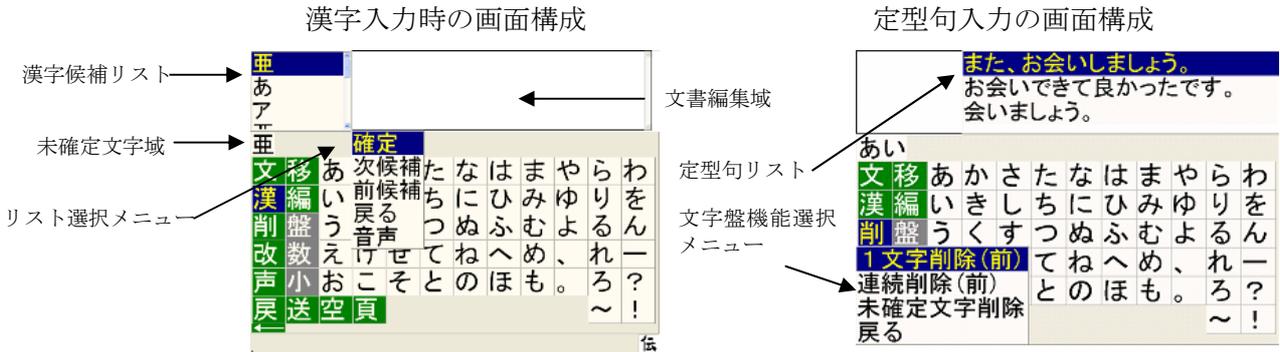
---

### 5.3 漢字変換を取り消したい時

選択メニューの「**戻る**」を選択すると、ひらがな文字の入力操作に戻ります。

# 6. 文書編集機能

## 6.1 文書編集の画面構成



## 6.2 文字盤機能の概要

(カーソル移動処理)

文字盤の機能は、未確定文字域に文字があるときとないときとは、働きが異なります。文字盤の各機能は次のとおりです。

文字盤表示	未確定文字域 (未確定文字有りの場合)	文書編集域 (未確定文字無しの場合)																																				
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">移</div>	機能なし	<p>カーソルを移動する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <b>1回移動</b>            連続移動            端へ移動            戻る         </div> <p>1) 1回移動 選択した方向へカーソルが1回移動する。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <table style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">← (左)</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td>1文字左へ移動</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">→ (右)</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td>1文字右へ移動</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">↑ (上)</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td>1行上へ移動</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">↓ (下)</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td>1行下へ移動</td> </tr> </table> </div> <p>2) 連続移動 選択した方向へカーソルが連続して移動し、スイッチを押すと止まる。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <table style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">← (左)</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td>左へ連続移動</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">→ (右)</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td>右へ連続移動</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">↑ (上)</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td>上へ連続行移動</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">↓ (下)</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td>下へ連続行移動</td> </tr> </table> </div> <p>3) 端へ移動</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <table style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文書先頭</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td>文頭へ移動</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  ← (行頭)</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td>行頭へ移動</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">→   (行末)</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td>行末へ移動</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文書末尾</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td>文末へ移動</td> </tr> </table> </div>	← (左)	→	1文字左へ移動	→ (右)	→	1文字右へ移動	↑ (上)	→	1行上へ移動	↓ (下)	→	1行下へ移動	← (左)	→	左へ連続移動	→ (右)	→	右へ連続移動	↑ (上)	→	上へ連続行移動	↓ (下)	→	下へ連続行移動	文書先頭	→	文頭へ移動	← (行頭)	→	行頭へ移動	→   (行末)	→	行末へ移動	文書末尾	→	文末へ移動
← (左)	→	1文字左へ移動																																				
→ (右)	→	1文字右へ移動																																				
↑ (上)	→	1行上へ移動																																				
↓ (下)	→	1行下へ移動																																				
← (左)	→	左へ連続移動																																				
→ (右)	→	右へ連続移動																																				
↑ (上)	→	上へ連続行移動																																				
↓ (下)	→	下へ連続行移動																																				
文書先頭	→	文頭へ移動																																				
← (行頭)	→	行頭へ移動																																				
→   (行末)	→	行末へ移動																																				
文書末尾	→	文末へ移動																																				

文字盤表示	未確定文字域（未確定文字有りの場合）	文書編集域（未確定文字無しの場合）																																																							
<div data-bbox="199 181 272 241" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">文</div>	<p>定型句の管理 選択されている定型句リストから目的の定型句を選択し、文書編集域に入力する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="347 309 512 477" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><b>確定</b> 次候補 前候補 音声 定型句削除 戻る</p> </div> <div data-bbox="547 309 879 409" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><b>ありがとう</b> ありがとうございました ありがとうございます</p> </div> </div>	<p>「文書の挿入」、「署名挿入」、「定型句の登録」と「日時入力」を行なう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>文書挿入</b> 署名挿入 定型句登録 日時入力 戻る</p> </div> <p>1) 文書挿入 登録されている文書を読み込んで、編集中の文書に追加する。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;"> <p><b>挿入位置指定</b> 挿入実行 戻る</p> </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;">移</div> <div style="margin-right: 10px;">(※カーソル移動処理参照)</div> </div> <div style="margin-left: 100px;">→ 文書管理(文書読出し)</div> <p>2) 署名挿入 文書編集域のカーソル位置から保存されている署名データを挿入する（メール文書作成で署名入力に利用する）。</p> <p>3) 定型句登録 編集文書から文書、文節、単語等を定型句としてリストに登録する。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;"> <p><b>先頭16文字一発登録実行</b> 定型句登録範囲指定 定型句登録実行 戻る</p> </div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div>定型句一発登録</div> </div> <div style="margin-left: 100px;">→ 範囲指定処理</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>定型句登録</p> <p>読み： <input style="width: 100px;" type="text"/></p> <p>定型句：</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1 6</td><td>あ</td><td>か</td><td>さ</td><td>た</td><td>な</td><td>は</td><td>ま</td><td>や</td><td>ら</td><td>わ</td></tr> <tr><td>2 7</td><td>い</td><td>き</td><td>し</td><td>ち</td><td>に</td><td>ひ</td><td>み</td><td>ゆ</td><td>り</td><td>を</td></tr> <tr><td>3 8</td><td>う</td><td>く</td><td>す</td><td>つ</td><td>ぬ</td><td>ふ</td><td>む</td><td>よ</td><td>る</td><td>ん</td></tr> <tr><td>4 9</td><td>え</td><td>け</td><td>せ</td><td>て</td><td>ね</td><td>へ</td><td>め</td><td>こ</td><td>れ</td><td>ー</td></tr> <tr><td>5 0</td><td>お</td><td>こ</td><td>そ</td><td>と</td><td>の</td><td>ほ</td><td>も</td><td>削</td><td>る</td><td>戻</td></tr> </table> </div> <p>4) 日時入力 実際の日時に基づいた定型句を選択し、文書編集域に入力する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>平成9年11月20日(木曜日) 1997年11月20日(木曜日) 15時45分32秒 15:45:32 午後7時45分32秒 3:45:32 pm 戻る</p> </div>	1 6	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	2 7	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	3 8	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	4 9	え	け	せ	て	ね	へ	め	こ	れ	ー	5 0	お	こ	そ	と	の	ほ	も	削	る	戻
1 6	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ																																															
2 7	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を																																															
3 8	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん																																															
4 9	え	け	せ	て	ね	へ	め	こ	れ	ー																																															
5 0	お	こ	そ	と	の	ほ	も	削	る	戻																																															
<div data-bbox="199 1653 272 1713" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">漢</div>	<p>漢字変換 未確定文字を漢字変換し、文書編集域に入力する。カタカナにも変換できる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="347 1760 512 1995" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><b>相</b> あい 会い 合い 愛 藍 合</p> </div> <div data-bbox="520 1760 647 1935" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><b>確定</b> 次候補 前候補 戻る 音声</p> </div> </div>	<p>機能なし 動作しないので、点滅カーソルはそのまま無視して移動していく。</p>																																																							
<div data-bbox="199 2011 272 2072" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">改</div>	<p>未確定文字を、文書編集域へ入力する。</p>	<p>改行する。段落の区切りのように、次の文字から行を変えたい時に使う。</p>																																																							

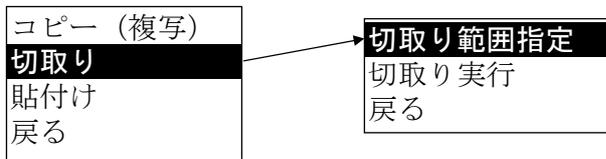
文字盤表示	未確定文字域（未確定文字有りの場合）	文書編集域（未確定文字無しの場合）
送	<p><b>破棄してメールを送る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 未確定文字列を破棄してメールを送信</li> <li>→ 未確定文字列の入力を再開</li> </ul>	一発メール送信を行う
声	未確定文字を音声で出力し、文字入力を再開する。	<p>編集文書を音声で出力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>範囲読上げ</b> → 範囲指定処理</li> <li>全文読上げ → 編集文書の全文音声出力</li> <li>日常使用文 → 日常使用文読み上げ処理</li> <li>戻る</li> </ul> <p>(※読上げ機能の詳細については、P.48～50を参照。)</p>
編	機能なし	<p>編集文書の複写、切り取り、貼り付けを行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>コピー(複写)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>切り取り</li> <li>貼付け</li> <li>戻る</li> </ul> </li> <li>1) <b>コピー(複写)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>コピー範囲指定</b> → 範囲指定処理</li> <li>コピー実行 → クリップボードへコピー</li> <li>戻る</li> </ul> </li> <li>2) <b>切り取り</b> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>切り取り範囲指定</b> → 範囲指定処理</li> <li>切り取り実行 → クリップボードへコピー</li> <li>戻る</li> </ul> </li> <li>3) <b>貼り付け</b> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>貼付け位置指定</b> → <b>移</b> (カーソル移動処理)</li> <li>貼付け実行 → クリップボードにコピーされている文書を、指定されたカーソル位置へ挿入</li> <li>戻る</li> </ul> </li> </ul>
空	<b>漢</b> に同じで、漢字変換を行なう。	半角または全角のスペース（空白）を入力する。
削	未確定文字を削除する。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>1文字削除(前)</b> → 末尾の1文字削除</li> <li>連続削除(前) → 末尾から連続削除し、スイッチ押下で止まる</li> <li>未確定文字削除 → 全文字削除</li> <li>戻る</li> </ul>	文書編集の文字を削除する。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>1文字削除(前)</b> → カーソル前の1文字削除</li> <li><b>1文字削除(後)</b> → カーソル後の1文字削除</li> <li>連続削除(前) → カーソル前の文字連続削除</li> <li>連続削除(後) → カーソル後の文字連続削除</li> <li>戻る</li> </ul>
頁	機能無し	編集文書を改頁する。途中からページを変えて印刷したい時に使う。
戻	<p><b>破棄して戻る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 未確定文字列を破棄して戻る</li> <li>→ 未確定文字列の入力を再開</li> </ul>	<p><b>文字盤入力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 文書編集に戻る</li> <li>文書保存 → 編集文書の保存</li> <li>印刷 → 編集文書の印刷</li> <li>メインメニュー → メインメニューへ戻る</li> <li>文書を閉じる → 編集文書を閉じる</li> </ul>

## 7. 範囲指定の操作方法

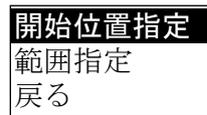
文字の切り取りとコピー（複写）、定型句登録の機能には、範囲指定する作業があります。ここでは、切り取りを例にして範囲指定の方法を説明します。まず、範囲指定したい部分がある文章を画面に表示させておきます。下記の四角の中に入っているような文を例に、下線部分を範囲指定して切り取りしてみましょう。

お子さんの「大人はいいなあ」ということを聞いたことのある、両親も多いと思います。  
今のお子さんたちはTVやシネマを見て、大人の世界をよく知っています。小さなお子さんたちは大人のやっていることに興味をもつのも、あたりまえのことかもしれません。

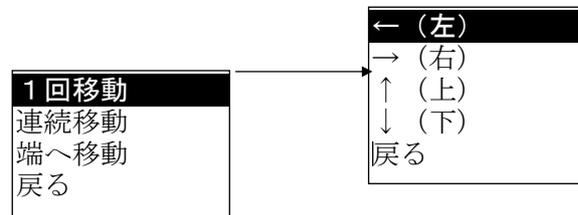
- ① 文字盤の **編** を選びます。「切り取り」を選び、続いて「切り取り範囲指定」を選びます。



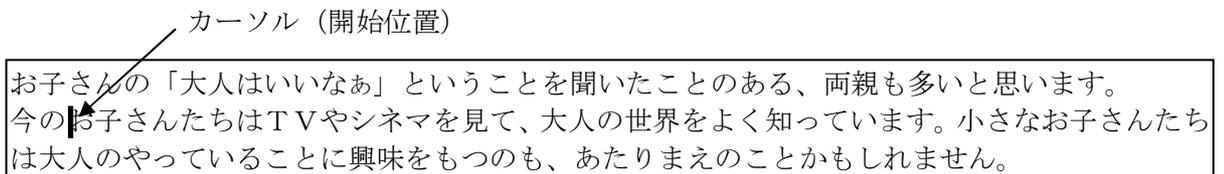
- ② 「開始位置指定」を選びます。



- ③ 「開始位置指定」を選択すると、カーソル移動メニューが表示されます。



- ④ ここで範囲指定の開始位置を指定します。範囲指定したい文字の先頭にカーソルを移動します。



- ⑤ 開始位置の指定が終わったら、今度は終了位置を指定します。各メニューの「戻る」を選び、「開始位置指定」を選んだメニューまで戻ります。そこで、「範囲指定」を選び、「終了位置指定」を選びます。すると、またカーソル移動メニューが表示されます。

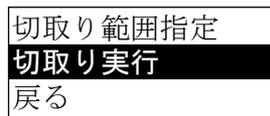


- ⑥ 現在のカーソル位置を開始位置としてカーソル移動操作により範囲を指定します。カーソルの位置は終了位置に移動します。(例では、「→(右)」カーソルを使用)

お子さんの「大人はいいなあ」ということを聞いたことのある、両親も多いと思います。今のお子さんたちはTVやシネマを見て、大人の世界をよく知っています。小さなお子さんたちは大人のやっていることに興味をもつのも、あたりまえのことかもしれません。

カーソル (終了位置)

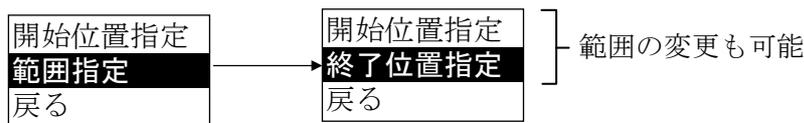
- ⑦ 各メニュー（カーソル移動メニュー、範囲指定メニュー）の「戻る」を選択し、切り取りメニューから「切り取り実行」を選択してください。



- ⑧ 範囲指定された文字は切取られます。

## ■範囲を変更する場合

範囲指定をした後でも、「切り取り実行」を選ぶ前であれば、開始位置や終了位置を変更することができます。「範囲指定」を選ぶと、範囲指定のメニューが表示されるので、それを選んで変更してください。



- ① 「範囲指定」を選び、「終了位置指定」を選ぶと、カーソル移動メニューが表示されます。
- ② 範囲指定された部分の末尾からカーソル移動操作により範囲を指定します。(例では、「→(右)」カーソルを使用)

お子さんの「大人はいいなあ」ということを聞いたことのある、両親も多いと思います。今のお子さんたちはTVやシネマを見て、大人の世界をよく知っています。小さなお子さんたちは大人のやっていることに興味をもつのも、あたりまえのことかもしれません。

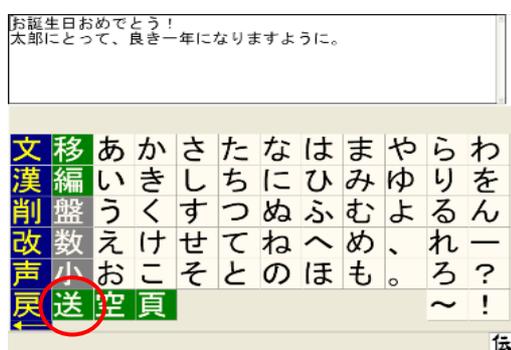
- ③ 開始位置を変更する場合も、「範囲指定」を選び、「開始位置指定」を選んでカーソルを移動してください。

## 8. 一発メール送信機能

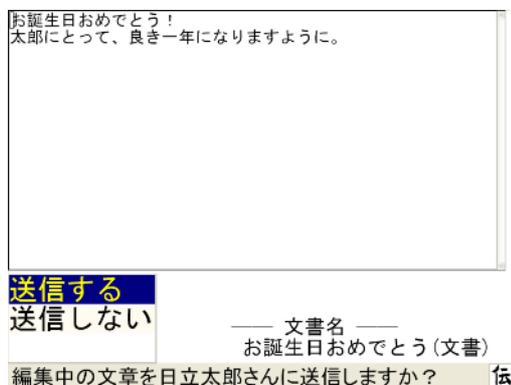
設定された宛先へ、ひらがな文字盤より電子メールを送信することができます。本機能をご使用の際は、あらかじめ宛先を設定する必要があります。(設定方法は、第2編 2.7 その他の機能「一発メール送信設定」をご参照ください。)

正常に送信されたメールは、電子メール機能の「送信箱」内に送信済みメールとして保存されます。送信できなかったとき(送信エラー発生時など)は、「送信箱」には保存されませんので、必要な場合は、文書保存をするようにしてください。

- ① 文書を作成してください。(文書作成方法は、「3. 文字入力の基本操作」をご参照ください。)
- ② 文書作成後、ひらがな文字盤の「送」ボタンを選択します。

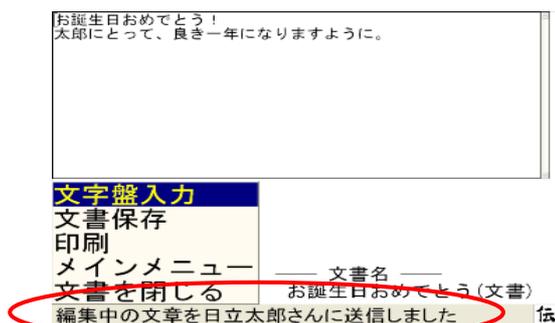


- ③ 続いて、送信確認メッセージが表示されます。「送信する」を選択します。



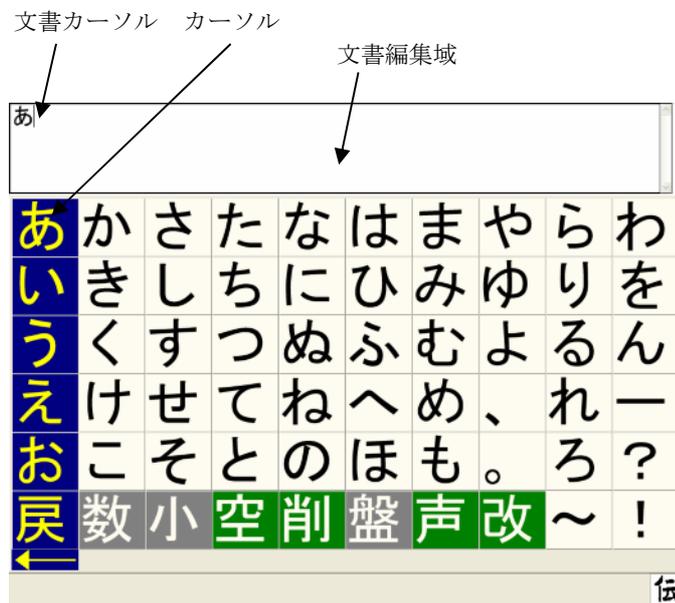
注) 確認メッセージは、表示しない設定にすることができます。一発メール送信設定の際に、選択することができます。)

- ④ 送信後、送信完了メッセージが表示されます。



## 9. 会話文字盤

メインメニューで「会話」の所でスイッチを押すと、次のような画面（会話文字盤）が表示されます。本文字盤は、早く会話をしたいという場合を考えて、ひらがなと数字だけから構成されています。また、文字盤の「声」を選択した場合は、直ちに全文を読み上げます。



ここで、文字の入力方法は「文書文字盤」と同じですが、選択した文字は直接文書編集域へ表示されます。

### 9.1 文書文字盤と会話文字盤の切り替え

- ① 文字盤の「盤」を選択すると、次のメニューが表示されます。



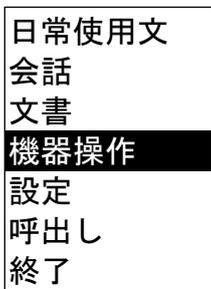
- ② カーソルが上下に移動しますので、「文書文字盤 (大)」または「文書文字盤 (小)」の所でスイッチを押すと「文書文字盤 (大)」または「文書文字盤 (小)」に文字盤が切り替わります。

# 10. 機器のリモコン操作

- ① パソコンの電源スイッチを「入」にします。自動的に「伝の心」が起動します。

注) 機器のリモコン操作を行なう前に、あらかじめ「介護者用設定」で使用するリモコン機器を選択した後、「リモコン登録」ボタンでリモコンデータの転送を行なってください。

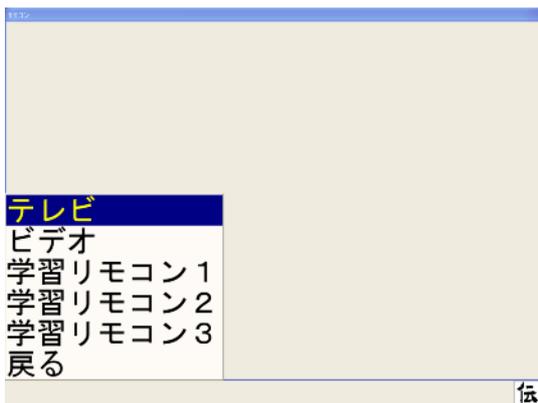
- ② メインメニューから「機器操作」を選択します。



- ①メインメニューが表示され、カーソルが上から下に移動します。  
②カーソルが「機器操作」の上に来たら、スイッチを押してください。

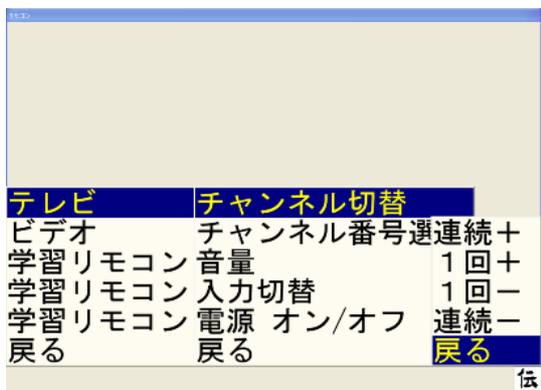
## 10.1 テレビのリモコン操作

- ① 「テレビ」を選択します。



- ① リモコン選択メニューが表示されます。  
② 「テレビ」を選択します。

- ② リモコン操作をします。

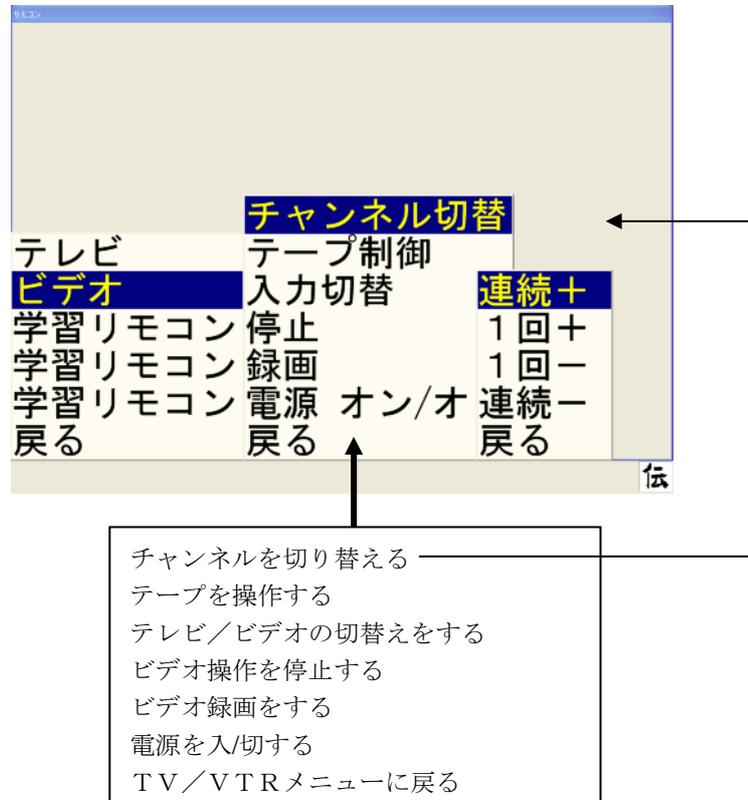


- ①テレビ専用のリモコンメニューが表示されます。  
②操作項目を選択します。
- 「チャンネル切替」または「音量」を選択すると、操作メニューが表示されます。
  - 「チャンネル番号選択」を選択するとチャンネル番号が表示されます。
  - 「入力切替」または「電源 ON/OFF」を選択すると、操作がそのまま実行されます。

チャンネルを切り替える  
チャンネル番号を選ぶ  
音量を操作する  
テレビ/ビデオの切替えをする  
電源を入/切する  
リモコン選択メニューに戻る

## 10.2 ビデオのリモコン操作

- ① リモコン選択メニューで「ビデオ」を選択します。
- ② リモコン操作をします。



- a) ビデオ専用のリモコンメニューが表示されます。
- b) 操作項目を選択します。
  - ・ 「チャンネル切替」または「テープ制御」を選択すると、操作メニューが表示され、チャンネルの切替やテープの再生をすることができます。
  - ・ 「入力切替」、「停止」、「録画」、「電源 ON/OFF」を選択すると、操作がそのまま実行されます。

### 10.3 学習リモコン1のリモコン操作

- ① リモコン選択メニューで「学習リモコン1」を選択します。
- ② リモコン操作をします。



学習リモコン2、学習リモコン3についても学習リモコン1と同じです。

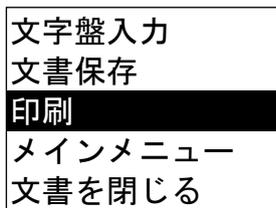
- 注1) 「チャンネル切替」や「音量」の操作メニューには、「連続+」「連続-」という項目があります。これを選ぶとチャンネルや音量が連続的に切り替わりますので、適当なところでスイッチを押して停止させてください。
- 注2) 受信装置によっては、正常に動作しない場合があります。その場合は、リモコンの学習機能を利用して使用してください。
- 注3) リモコンの学習方法については「16. リモコン機能補足説明」を参照してください。

# 11. 印刷

## 11.1 印刷の仕方

入力した文章をプリンタから印字してみましょう。「機器構成」の章を参考に、パソコンとプリンタをつないでください。

- ① 文字盤から文章を入力し終わったら、「戻」を選択します。すると次のようなメニューが表示されます。



- ② この中から「印刷」を選択します。すると次のような設定画面が表示されます。これらの設定項目のうち、用紙、フォント、余白については、次のページからそれぞれ説明していきます。

**用紙**  
印字される用紙の種類を示しています。この場合はA4サイズが設定されています。

**方向**  
用紙を縦長で印刷するという設定です。(変更不可)  
A4 縦

**余白**  
用紙の端から、文字が始まる部分までの空間のことです。数値が大きいほど空間は大きくなります。

**フォント**  
文字の種類と大きさを表示します。文字の大きさは「ポイント」という単位 (pt) で表します。  
★参考:  
1 ポイントは 1/72 インチ(約 0.35 ミリ)、10 ポイントで約 3.5 ミリです。  
<例>  
あ (MSゴシック)  
あ (MS明朝)  
※文字を強調させたい時などは、ゴシックを使います。

**プリンタ名**  
印刷するプリンタの名前が表示されます。

**印刷範囲**  
何ページから何ページまで印字するかを設定します。

**ページ設定**  
用紙: A4  
方向: 縦  
余白(mm): 上 30 左 30  
下 30 右 30  
フォント: MSゴシック 10 pt  
プリンタ名: Canon PIXUS iP1500  
給紙方法:  
印刷範囲: 1 ~ ページ  
( 67 行 × 86 桁 )  
× 全 1 ページ

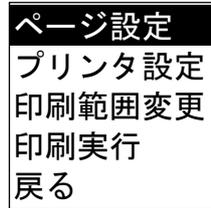
- ③ 「印刷実行」を選択すると印刷がはじまります。

## 11.2 用紙の設定

印刷する用紙の種類を変更します。

始めの設定は、「A4サイズ」の紙を印字するようになっています。これを「B4サイズ」や「A5サイズ」、「はがき」などに変更したいときは、下記の手順でページ設定を行ってください。

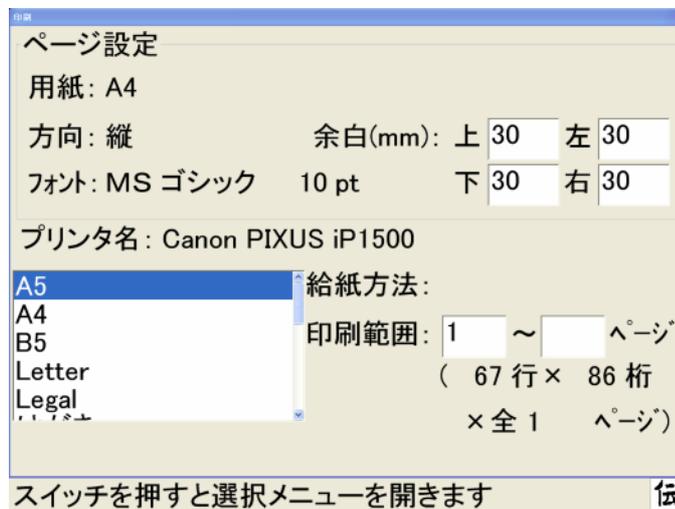
- ① メニューの「ページ設定」を選びます。



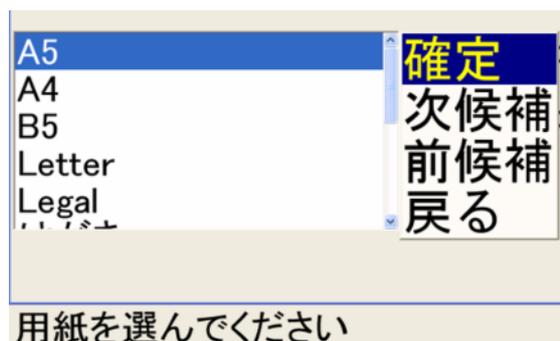
- ② 続いて次のようなメニューが表示されるので、「用紙選択」を選びます。



- ③ 続いて各種用紙サイズの名前の入ったリストが表示され、カーソルが移動し始めます。



- ④ 選択したい用紙サイズの上にカーソルが来たらスイッチを押して選択します。すると選択メニューが表示されます。



- ⑤ 正しい用紙サイズが選択できている場合は、「**確定**」を選択します。  
選択した用紙サイズが設定に反映されます。

誤った用紙サイズを選択したときは、**選択メニュー**の「**次候補**」または「**前候補**」を選択します。再び用紙サイズが選択できる状態に戻ります。用紙サイズメニューのカーソルが、「**次候補**」では下方向（↓）、「**前候補**」では上方向（↑）へと移動します。

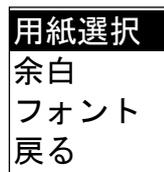
### 11.3 フォントの設定

印刷する文字の種類と大きさを設定します。

#### ■文字の大きさの変更

文字の大きさは「**ポイント (p t)**」という単位で表し、その数が大きいほど文字も大きくなります（36ページ参照）。この数字を変更させる手順は、次のとおりです。

- ① 印字したい文章を入力し終わったら、**文字盤**の「**戻**」を選択し、メインメニューから「**印刷**」を選びます。続いて「**ページ設定**」を選択すると、次のようなメニューが表示されます。このメニューから「**フォント**」を選んでください。

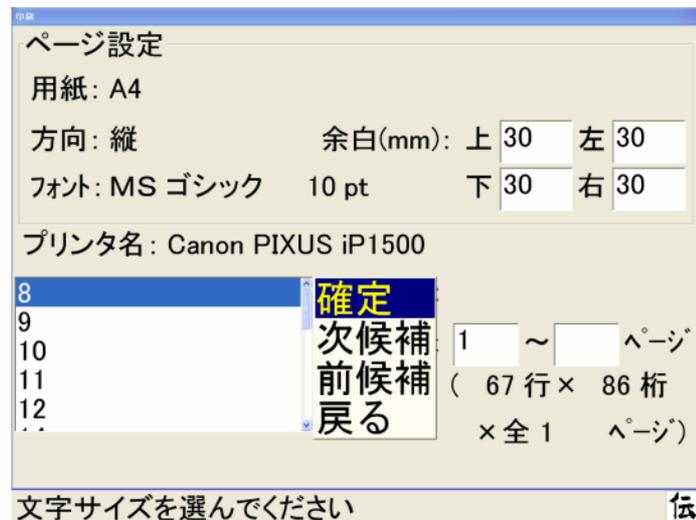


- ② 更にメニューが表示されるので、「**文字サイズ選択**」のところでスイッチを押します。



サイズの候補リストが表示され、カーソルが移動し始めます。

- ③ リストの中の数字が文字サイズ(ポイント)の値です。この中からサイズを選んでください。目的の文字サイズにカーソルが来たらスイッチを押します。選択メニューが表示されるので「確定」を選択すると、そのポイント数が反映されます。



他の文字サイズにしたいときは、選択メニューの「次候補」または「前候補」を選択します。再び文字サイズが選択できる状態に戻ります。文字サイズメニューのカーソルが、「次候補」では下方向(↓)、「前候補」では上方向(↑)へと移動します。

## ■文字サイズについて

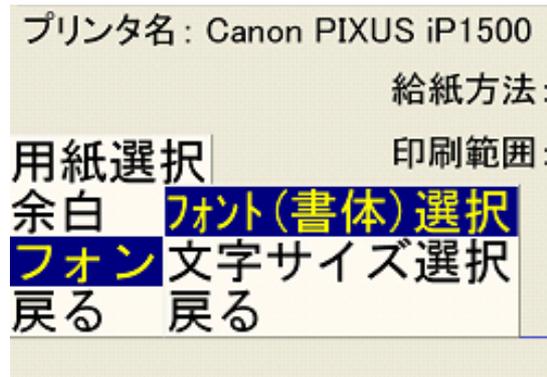
例えば「8ポイントがどのくらいの大きさなのか分からない」という方は、下記見本を参考にしてください。

見本	<明朝>	<ゴシック>
<文字サイズ>		
8ポイント:	あいうえお	あいうえお
10ポイント:	あいうえお	あいうえお
14ポイント:	あいうえお	あいうえお
20ポイント:	あいうえお	あいうえお

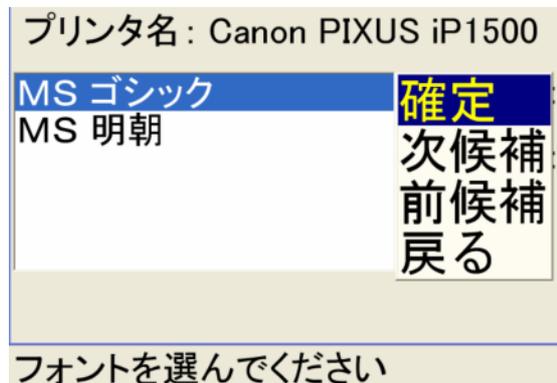
## ■文字の種類の変更

文字の種類には「明朝」と「ゴシック」の2種類があります。これを選択する方法は、次のとおりです。

- ① 手順は、文字サイズの変更の仕方と途中まで同じです。印字したい文章を入力し終わったら、文字盤の「戻」を選択し、メインメニューから「印刷」を選びます。続いて「ページ設定」を選択し、「フォント」を選択してください。



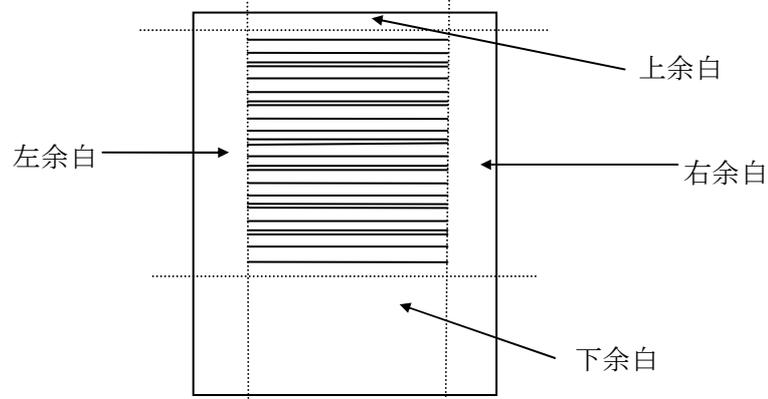
- ③ ここでは文字の種類（書体）を選択したいのですから、「フォント（書体）選択」の所でスイッチを押します。すると、書体選択のメニューが出ますので、目立つ書体にしたらゴシック、そうでない場合は明朝を選択してください。



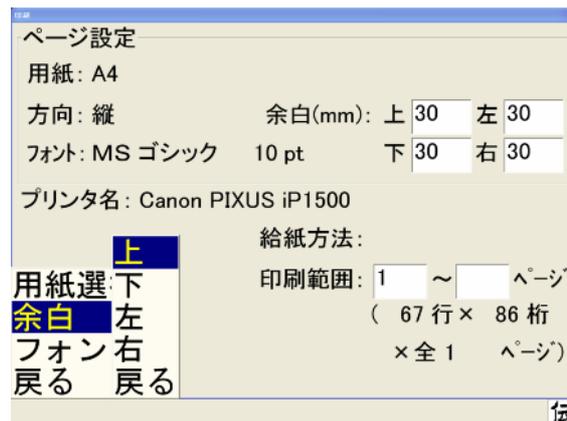
※ここで選択した書体は、入力中の文字の画面表示・印刷の両方に反映されます。

## 11.4 余白の設定

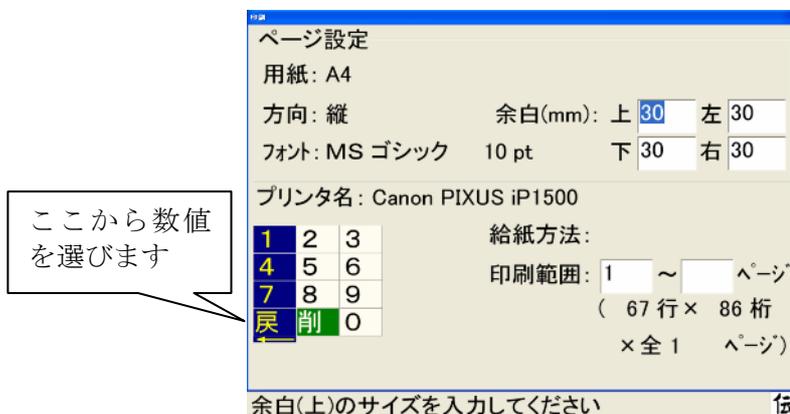
文字は紙の端から端まで印刷するわけではありません。本や雑誌、新聞などを見ると、上下左右に文字がない空間があります。これを「余白」といいます。



- ① 余白の大きさの変更は、文字サイズやフォントの変更の仕方と途中まで同じです。印字したい文章を入力し終わったら、文字盤の「戻」を選択し、メインメニューから「印刷」を選びます。続いて「ページ設定」を選択すると、次のような画面が表示されます。このメニューから「余白」を選んでください。



- ② このメニューから、上下左右それぞれの余白を設定することができます。上下左右どれかを選ぶと、次ページのような余白用数値盤が表示されます。単位はミリメートルですので、余白としたい空間の大きさの数値を入力してください（上下左右1つずつ設定していきます）。

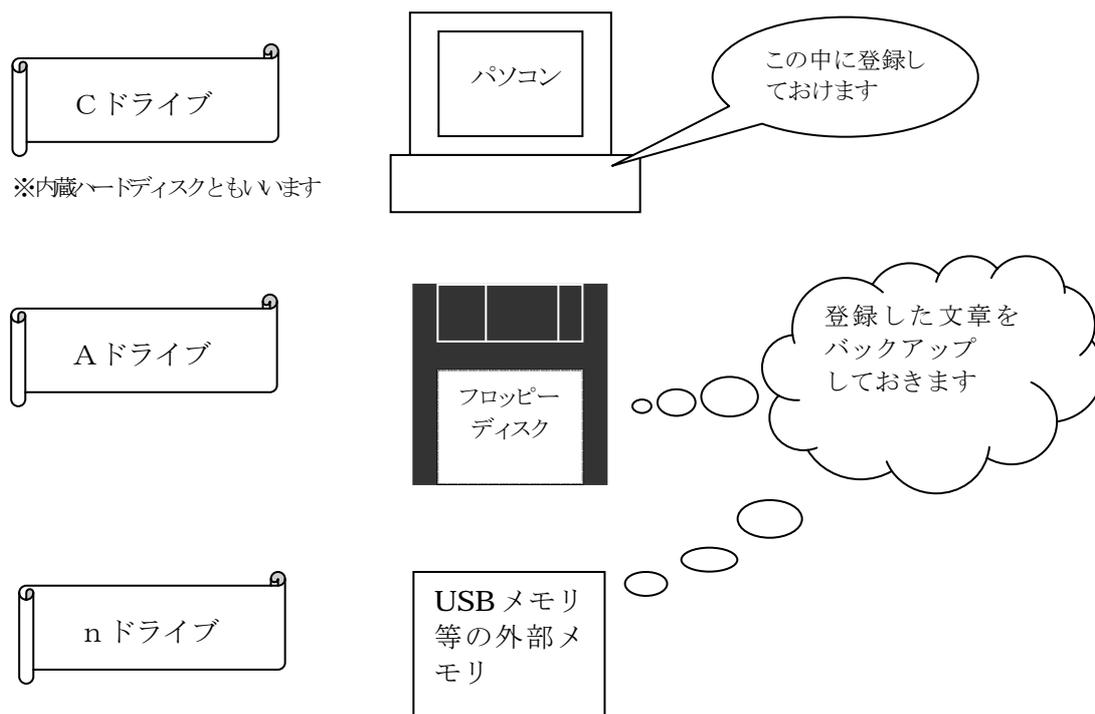


- ③ 数値を入力し終わったら、「戻」を選択します。再び上下左右を選択できるメニューに戻りますので、各部分の数値を設定してください。全ての余白の設定が終わったら再び「戻」を選択し、ページ設定のメニューに戻ります。

## 12. 文書管理

一生懸命入力した文字や文章をとっておけたらうれしいものです。また、その文章を活用して手直しするといったこともできると、非常に便利です。

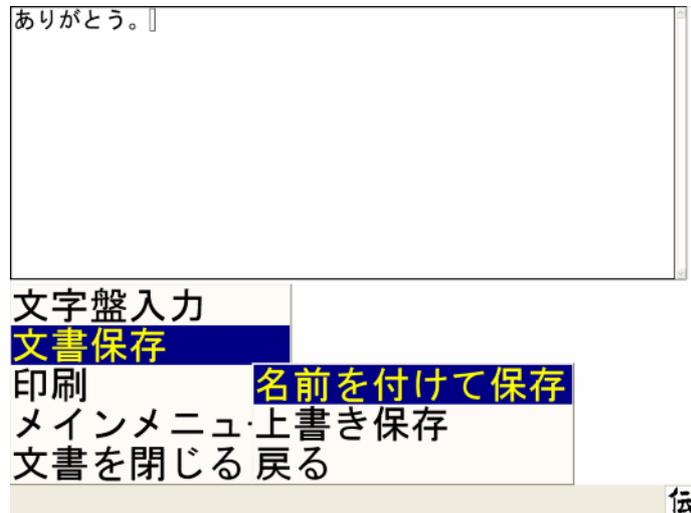
入力した文字または文章は、お使いのパソコンや市販のフロッピー等に登録する（保存する）ことができます。一度登録しておけば、何度でも呼び出して使うことができます。また、文書の保存で格納場所に「メール」に文書を保存すると電子メールで文書を送信することができるようになります。このようなデータの登録・呼出しといった作業を「**文書管理**」といいます。



※機種によってはパソコン本体に、フロッピーディスクドライブがない場合がございます。その場合、フロッピーディスクをご利用の際は、フロッピーディスクドライブを別途ご購入いただく必要がございます。また、USBメモリ等の外部メモリをご利用の際も別途ご購入いただく必要がございます。

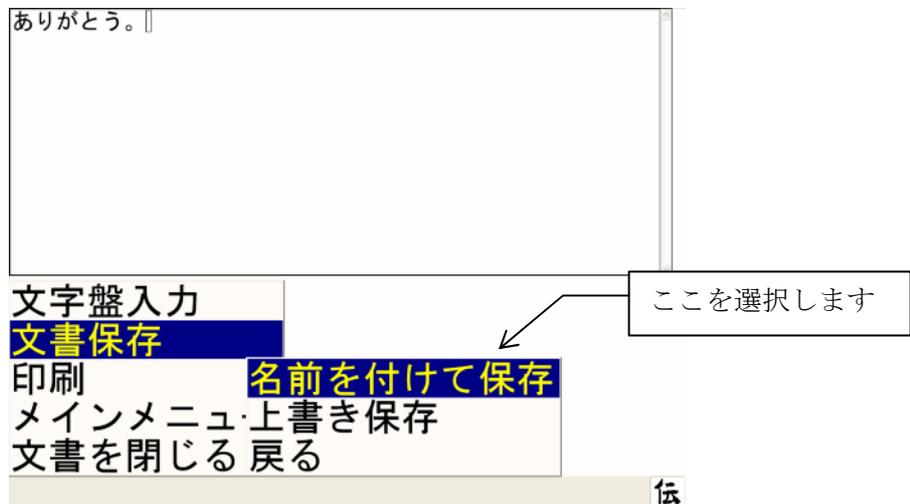
## 12.1 文字・文章の保存の仕方

入力が終わったら、文字盤から「戻」を選択します。すると次のようなメニューが表示されます。保存するには「**文書保存**」を選びます。ここを選択すると、更にメニューが表示されます。文書の保存には次のように2通りの方法があります。

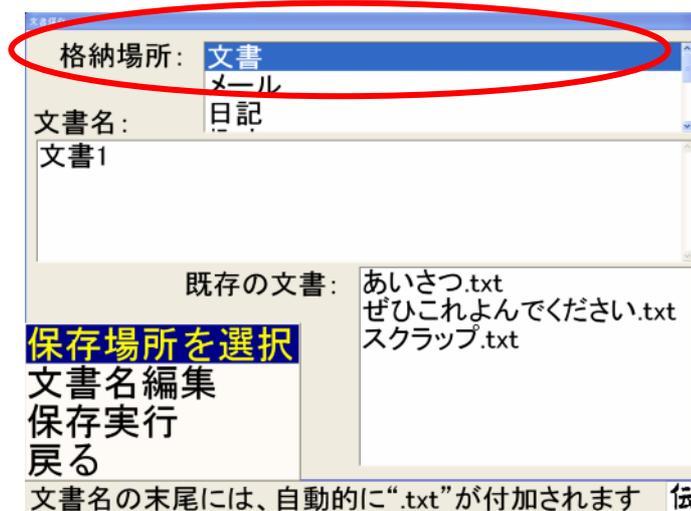


- 名前を付けて保存…新たに名前をつけて登録する
- 上書き保存…以前につけた名前のまま登録する  
※ 新しく作った文書には、自動的に「文書1」などの名前（文書名）が付けられます。

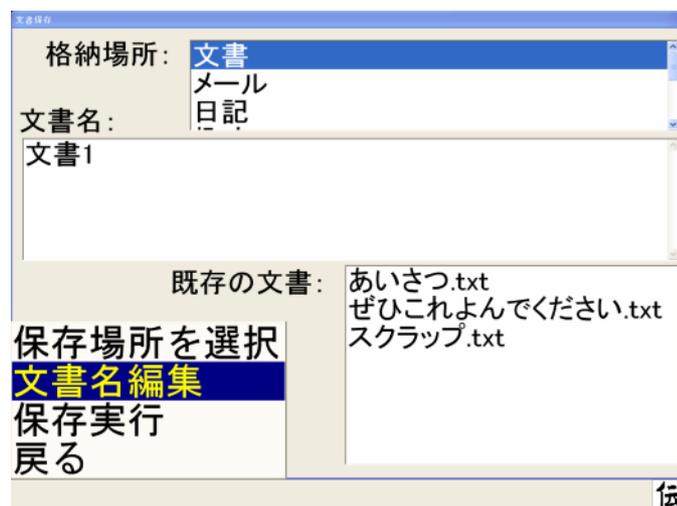
## 12.2 名前を付けて保存



- ① 新たに名前をつけて保存する場合、上の図のような「名前を付けて保存」メニューを選択します。すると画面が切替わり、次のような文書保存用の設定画面になります。



- ② 文書をどこへ保存するかを決めます。「保存場所を選択」を選択します。画面の「格納場所」ではカーソルが移動しているので、保存したい場所にカーソルが来たらスイッチを押して選択します。選択メニューが表示されるので「確定」を選択します。「確定」前に保存先を変更したい時は、「次候補」「前候補」を選択してください。メールとして作成した文書を保存する場合は、メールを選択してください。この場合、文書の先頭行の先頭より100文字までがメールの題名となります。
- ③ 続いて文書の名前を登録します。メニューから「文書名編集」を選ぶと、文書名入力の文字盤が表示されます。



- ④ ここから文字を選択して名前をつけます。どんな文書が入っていたのか後でわかりやすいよう、内容に合った名前をつけましょう。

文書保存

格納場所: 文書  
メール  
日記

文書名:  
文書1

空	移	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
漢		い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を
削	盤	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん
決	数	え	け	せ	て	ね	へ	め	、	れ	一
戻	小	お	こ	そ	と	の	ほ	も	。	ろ	!

伝

- ⑤ 名前が入力できたら文字盤から「戻る」を選択すると保存のメニューへ戻ります。そこで「保存実行」を選ぶと文書の登録が行われ、入力画面に戻ります。

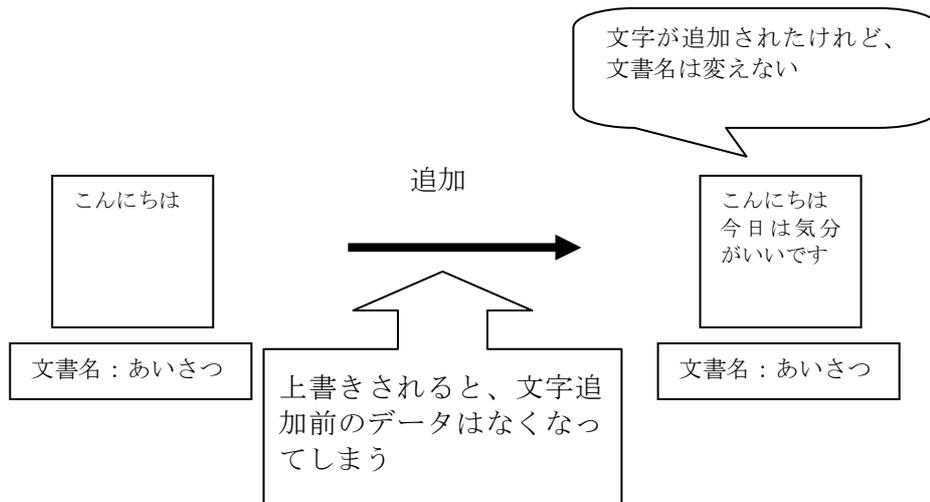
保存場所を選択
文書名編集
<b>保存実行</b>
戻る

### 12.3 上書き保存

パソコンを使っている時に突然停電が起きたり、パソコンが故障したりすると、せっかく入力したデータを失ってしまいます。そんな事態を防ぐため、文書はこまめに登録しておきましょう。一度登録した名前のままどんどん上書きしていくことができるので、操作は簡単です。この保存の仕方を「上書き保存」といいます。

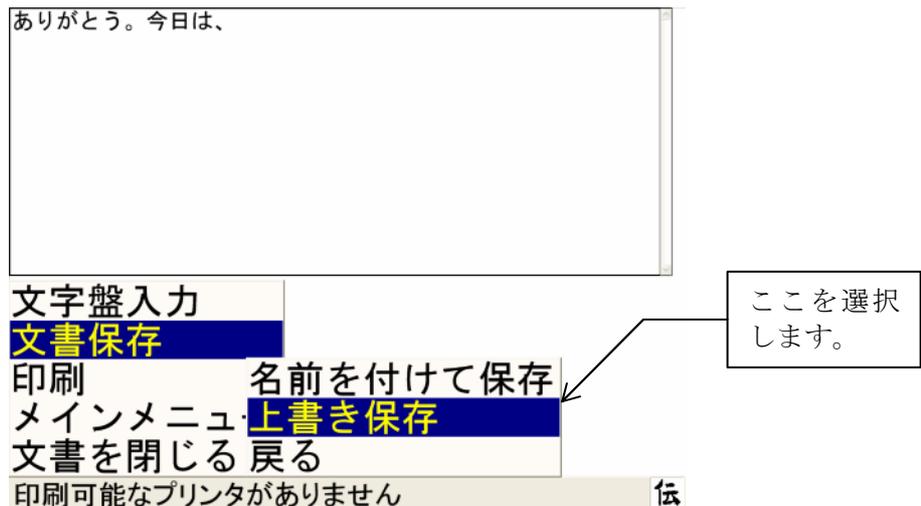
また一度名前をつけて保存した文書に、追加や削除といった修正を加えた後に再び登録する時も、この「上書き保存」を使用します。

上書き保存では文書名を変える手間はなくなりますが、追加や削除を行う前のデータは無くなってしまいますので注意してください。←修正前のデータも残したい時は、上書き保存しないで、別の名前をつけて、保存してください。



#### ■上書き保存の仕方

- ① 「文書保存」の中から「上書き保存」を選択して、スイッチを押します。



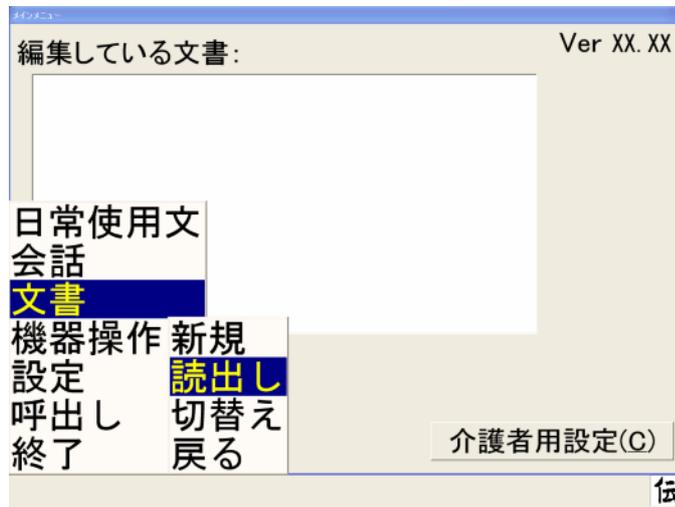
- ② パソコンが自動的に同じ名前で文書を上書き保存します。修正前に保存されていた同じ文書名のデータは、この時点で消えています。

**注)一度上書き保存してしまうと、データは元に戻りませんのでご注意ください。**

## 12.4 保存した文書を読み出す

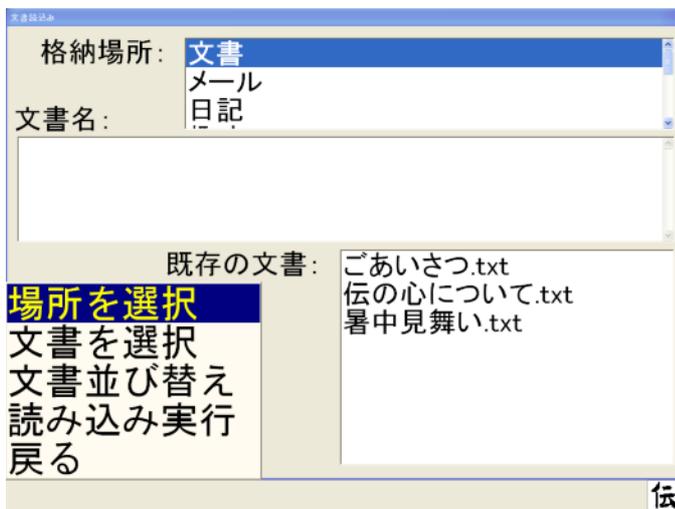
既に保存してある文書を読み出して再び使いたい時、次の手順で読み出し作業を行います。

- ① メインメニューから「文書」を選択後、「読み出し」を選択します。

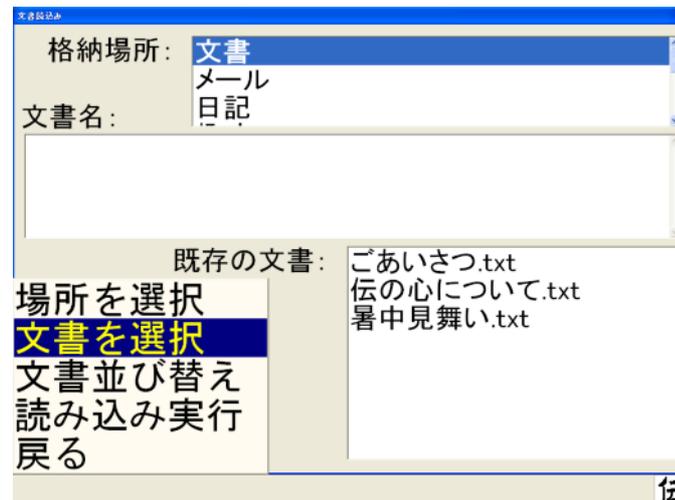


- ② 「場所を選択」を選択し、どこから文書を読み込んでくるのかを指定します。

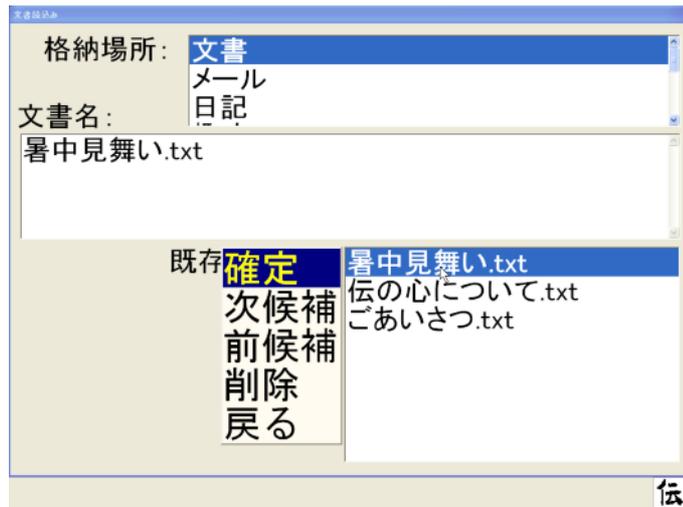
注) フロッピーまたは USB メモリ等の外部メモリから読み込む場合、文書の入ったフロッピーまたは USB メモリ等の外部メモリを必ずセットしておいてください。



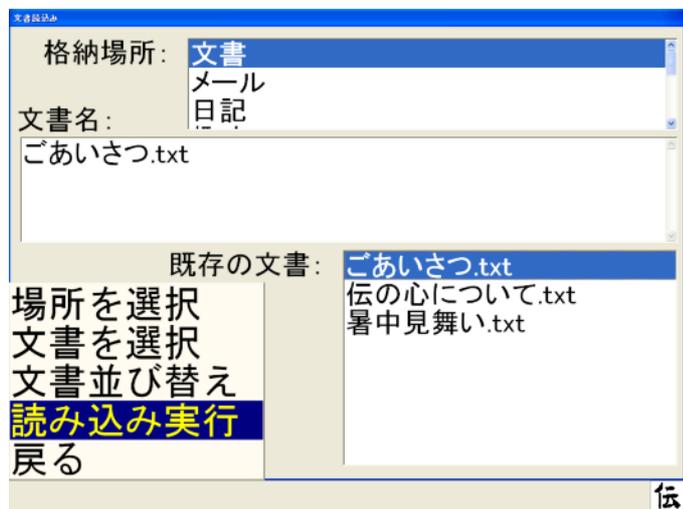
- ③ 続いて「文書を選択」を選択します。



- ④ 既に登録（保存）されている文書名の一覧が、“**既存の文書**”の所に表示されます。この中から読み出したい文書を選びます。



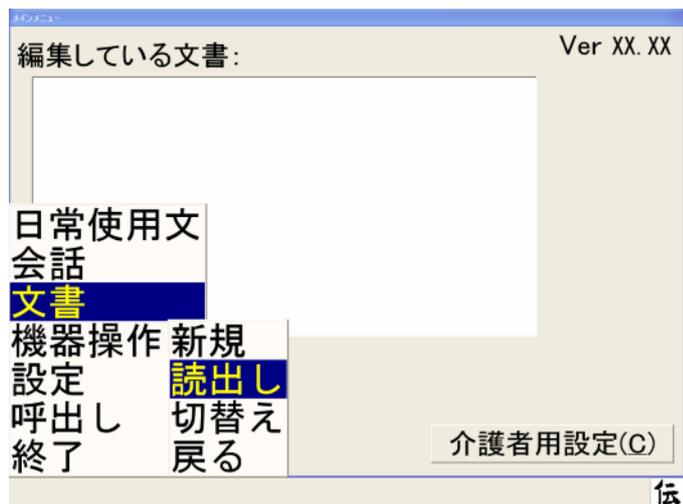
- ④ 読み出したい文書を選択できたら、メニューから「**読み込み実行**」を選択します。すると指定した文書が自動的に読み込まれ、画面に表示されます。



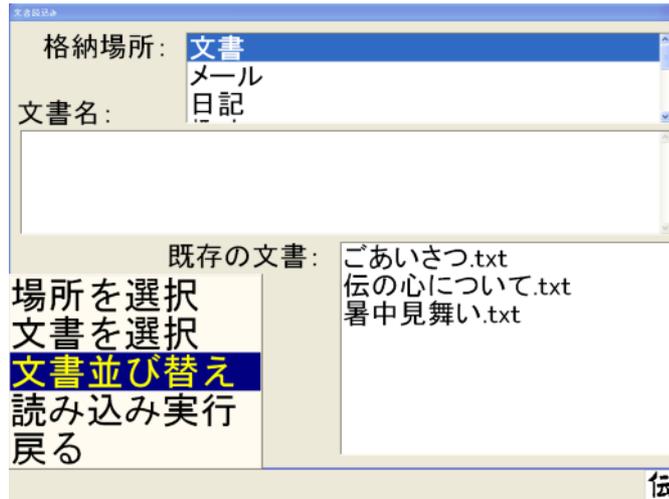
## 12.5 保存した文書の並び替え

既に保存してある文書の並び替えは、次の手順で行います。「名前順」または「日付順」に並び替えることができます。

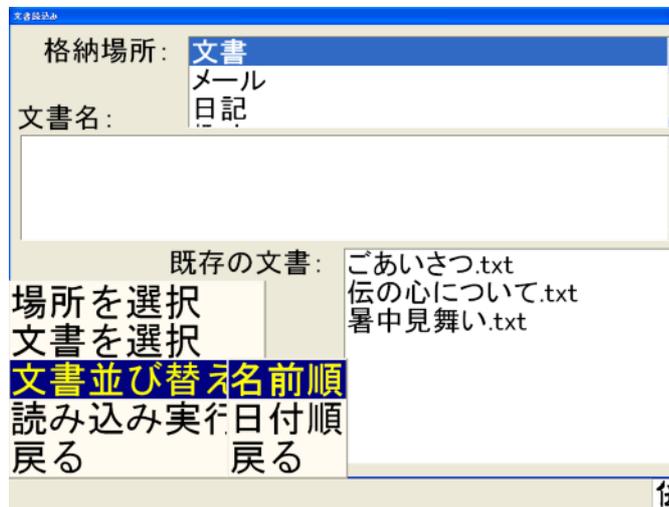
- ① メインメニューから「**文書**」を選択後、「**読出し**」を選択します。



- ② 「文書並び替え」を選択します。



- ③ 「名前順」または「日付順」を選択します（下記は、名前順の場合です）。



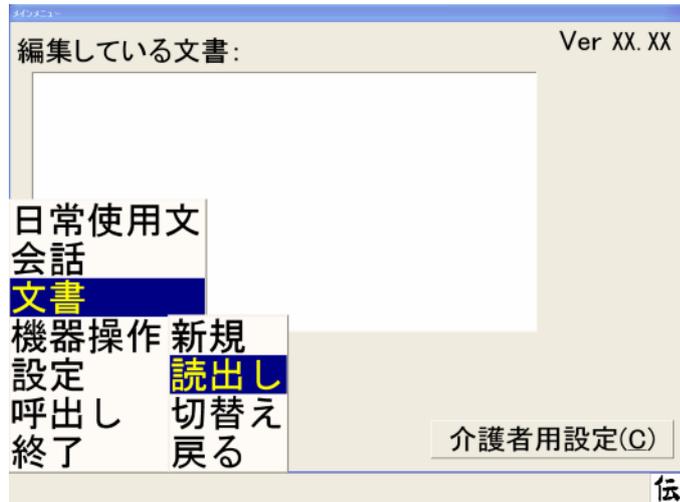
- ④ 続いて「昇順」または「降順」を選択してください。選択後、文書が並び替わります。



## 12.6 保存した文書の削除

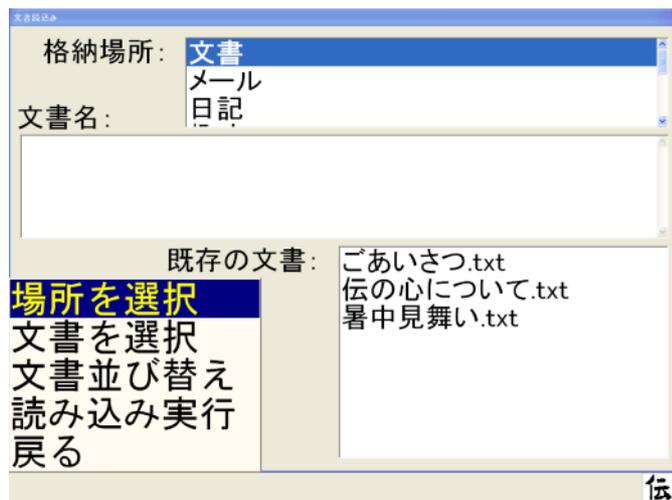
既に保存してある文書の削除は、次の手順で行います。

- ① メインメニューから「文書」を選択後、「読出し」を選択します。

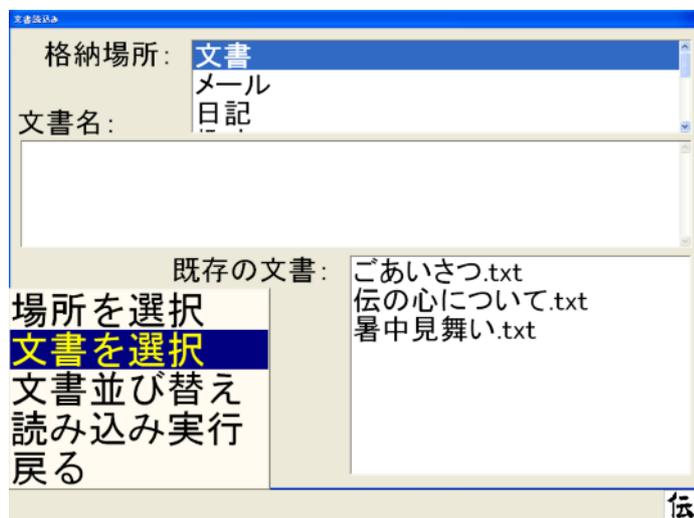


- ② 「場所を選択」を選択します。

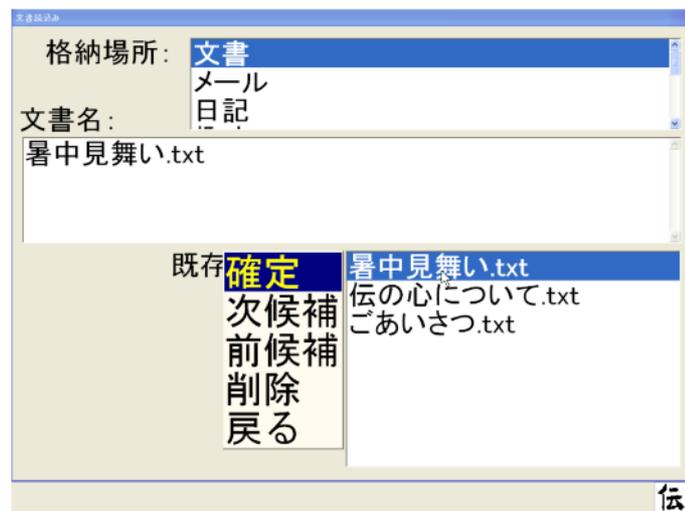
注) フロッピー内の文書または USB メモリ等に格納されている文書を削除する場合、文書の入ったフロッピーまたは USB メモリ等を必ずセットしておいてください。



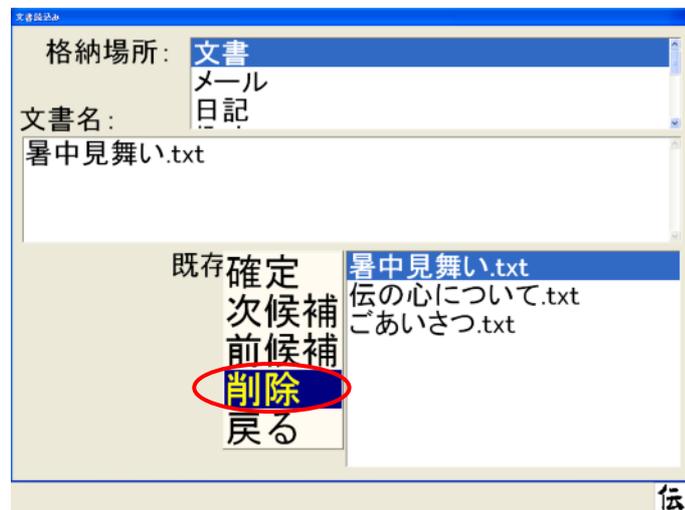
- ③ 続いて「文書を選択」を選択します。



- ④ 既に登録（保存）されている文書名の一覧が、“**既存の文書**”の所に表示されます。この中から削除したい文書を選択し、反転表示（青色表示）になっていることを確認します。



- ⑤ 「**削除**」を選択します。



- ⑥ 次の削除メニューが表示されます。“**削除する**”を選択すると指定した文書が削除されます。



削除した文書は、「ごみ箱」へ移動します。ただし、フロッピーディスクまたはUSBメモリ等の外部メモリから削除を行った場合は、「ごみ箱」へ移動せずに削除されますのでご注意ください。

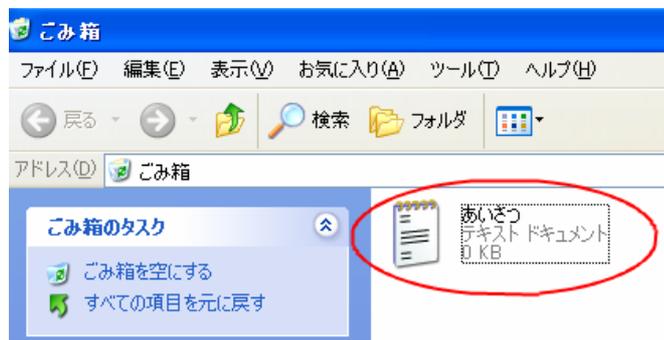
## 12.7 誤って文書を削除した場合

誤って文書を削除してしまった場合は、下記手順で文書を「ごみ箱」から文書の各保存先へ移動させてください。

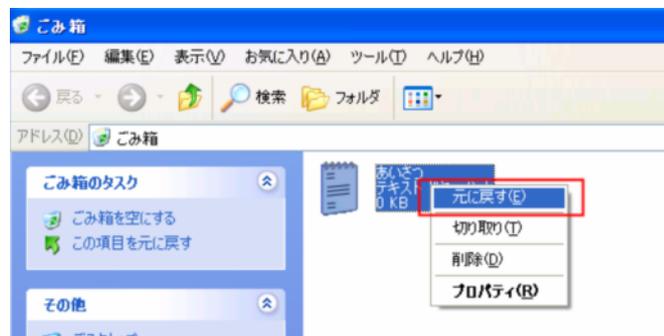
- ① デスクトップ上にあります「ごみ箱」を開きます。



- ② 誤って削除を行った文書にカーソルを合わせます。



- ③ アイコンにカーソルを移動します。アイコン上で「右クリック」→「元に戻す」を選択し、「左クリック」します。



- ④ 文書が「ごみ箱」に移動する前の状態に戻ります。

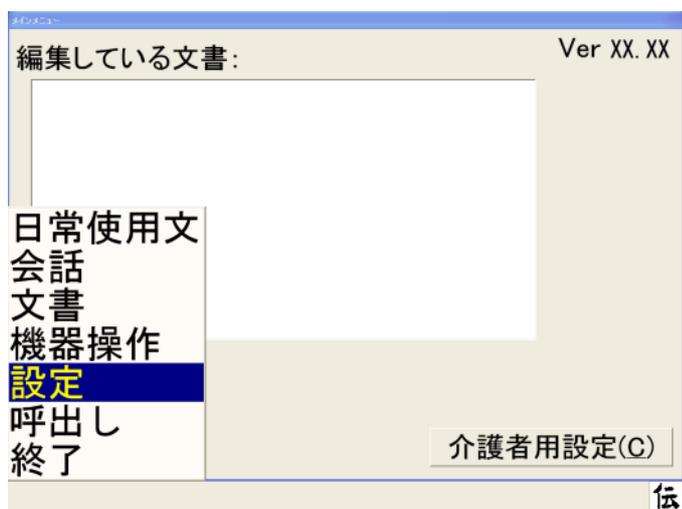
# 13. 音声の設定

音声の設定には次のようなものがあります。

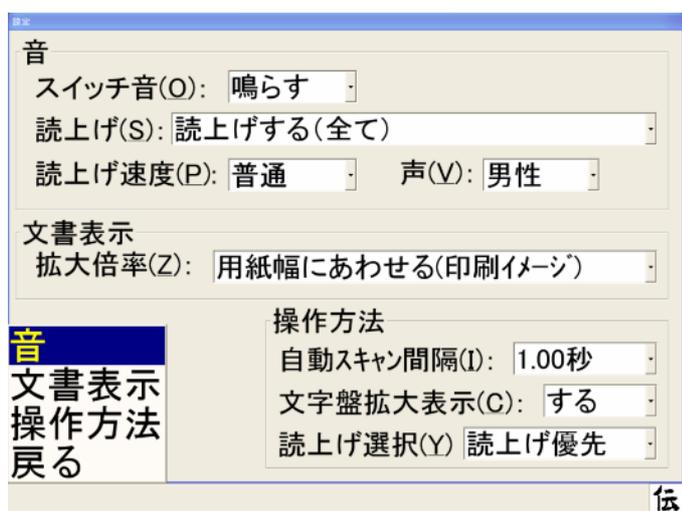
- スイッチ音
- 読上げ
- 読上げ速度
- 声の性別

## 13.1 スイッチ音の設定

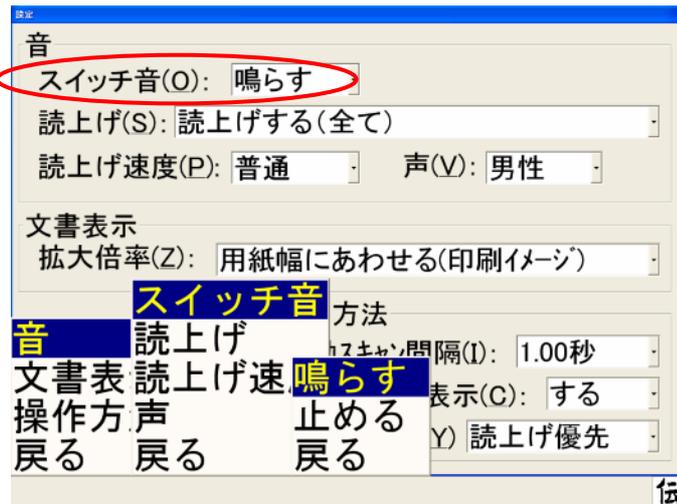
- ① スイッチを押すたびに音が出るようにする、またそれを解除するという設定です。これを行うには、メインメニューから「設定」を選択します。



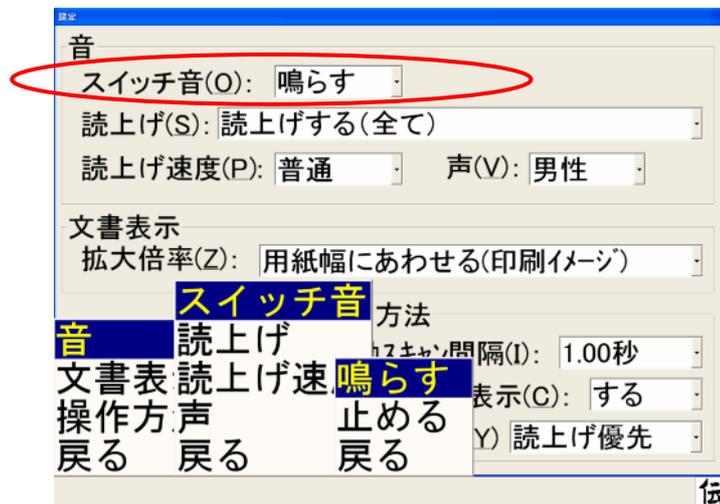
- ② 設定の画面が表示されます。メニューの「音」を選択してください。



- ③ 続いて「スイッチ音」を選択します。音を止めたい時は「止める」、音を鳴らしたい時は「鳴らす」を選択します。



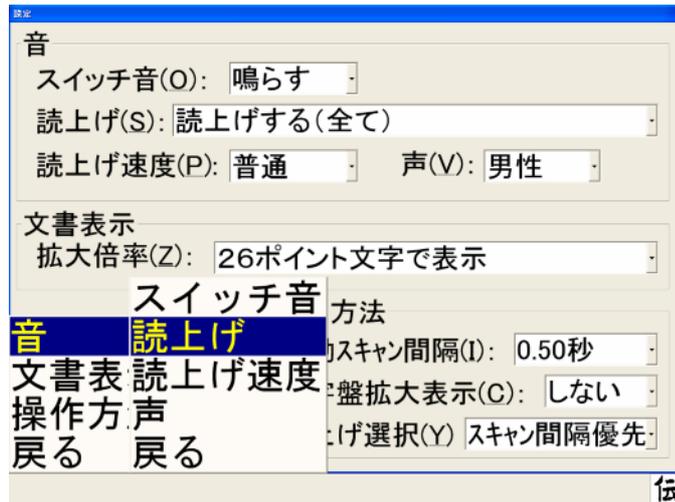
- ④ 設定画面の「スイッチ音」のところを見ると、選択した状態が表示されています。今の音の状態を知りたい時は、ここを見てください。



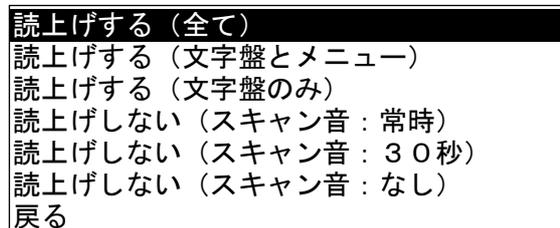
- ⑤ 設定が終了したら「戻る」を押してください。  
注) 出荷時には、あらかじめ「鳴らす」が設定されています。

## 13.2 読上げ

- ① 「伝の心」ではメニューや文字盤の上をカーソルが上下、左右の方向に移動しています。この動きに合わせて文字盤やメニューを読上げる、または止めることができます。音声による読上げではなく、音を鳴らすこともできます。
- ② 設定画面の「読上げ」のところを見ると、選択した状態が表示されています。今の読上げの状態を知りたい時は、ここを見てください。



- ③ 「読上げ」を選択すると、以下のメニューが表示されます。

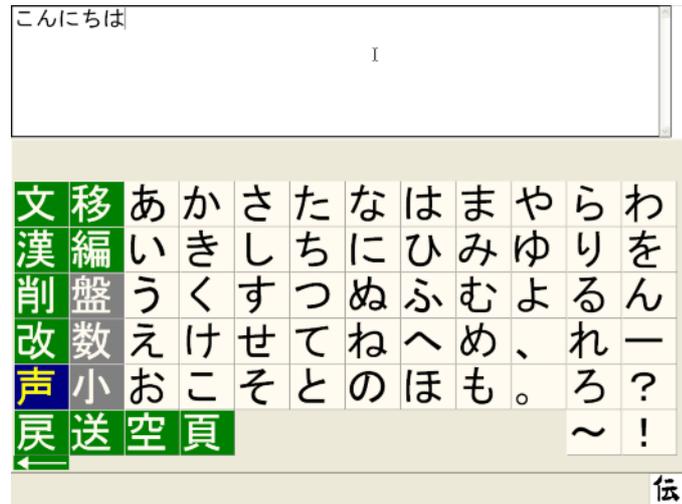


- |                      |  |
|----------------------|--|
| 「読上げする(全て)」          | : 文字盤とメニューを読上げたり、文章読上げの際に詳しい説明を付加して読み上げる「詳細読み」等の機能を使用できます。また、漢字変換時には、漢字リストの詳細読み上げが行われます。 |
| 「読上げする(文字盤とメニュー)」    | : 文字盤とメニューを読上げます。  |
| 「読上げする(文字盤のみ)」       | : 文字盤のみを読上げます。   |
| 「読上げしない(スキャン音: 常時)」  | : スキャン時は常に音が鳴ります。  |
| 「読上げしない(スキャン音: 30秒)」 | : スキャン時に音が鳴り30秒で止まります。   |
| 「読上げしない(スキャン音: なし)」  | : スキャン時に音は鳴りません。   |

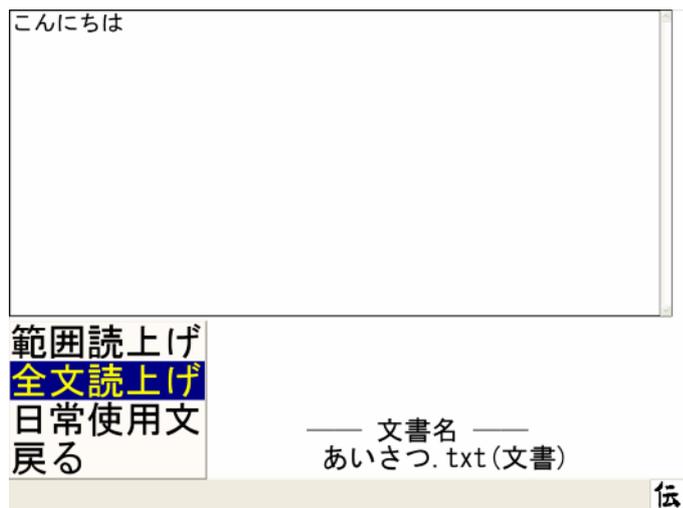
- ④ 設定が終了したら、「戻る」を押してください。

## ■音声で文字や文章を読み上げるには

- ① 文字・文章の入力ができたら、文字盤から「声」を選択します。

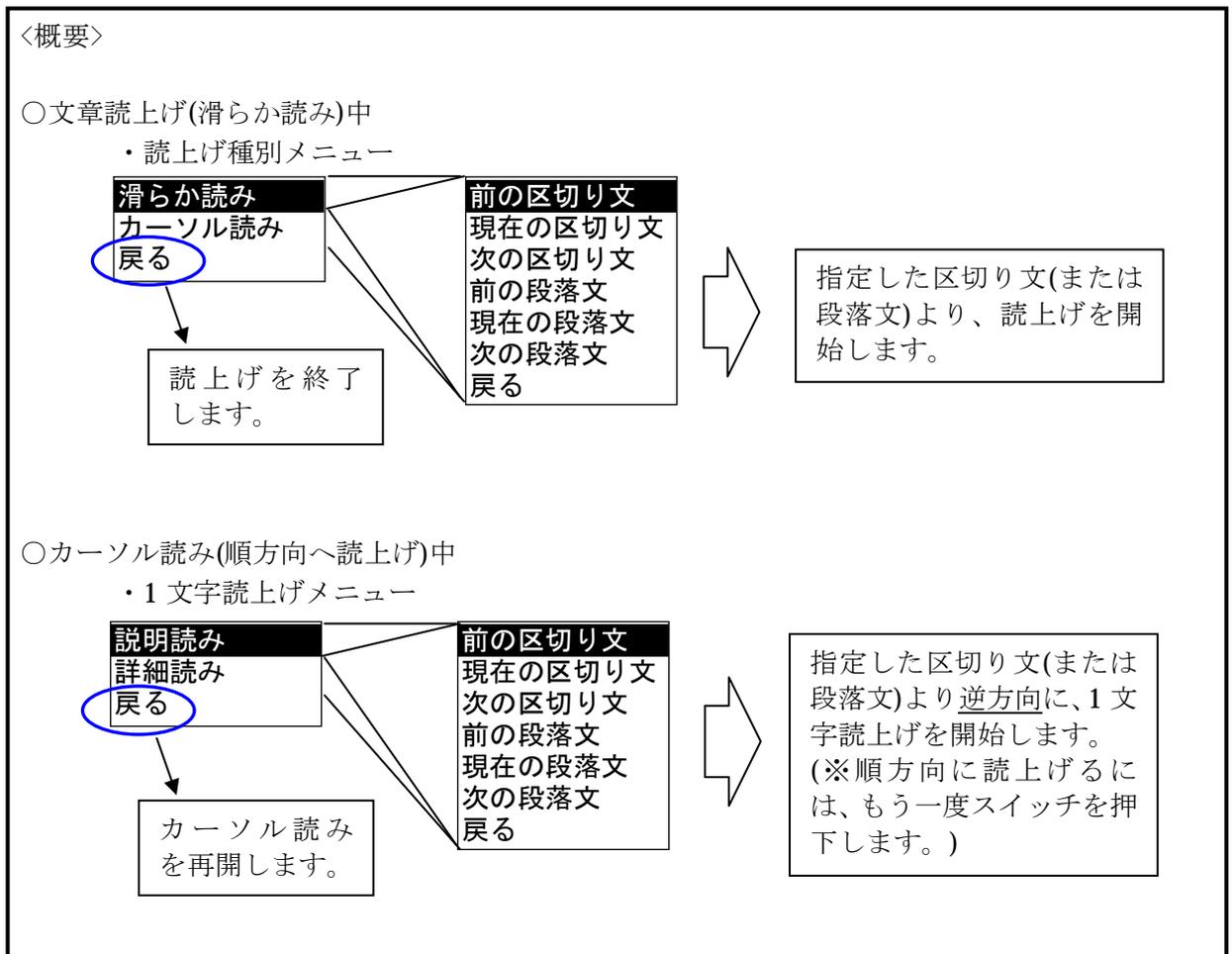


- ② 続いて次のようなメニューが表示されますので、「全文読上げ」を選択します。

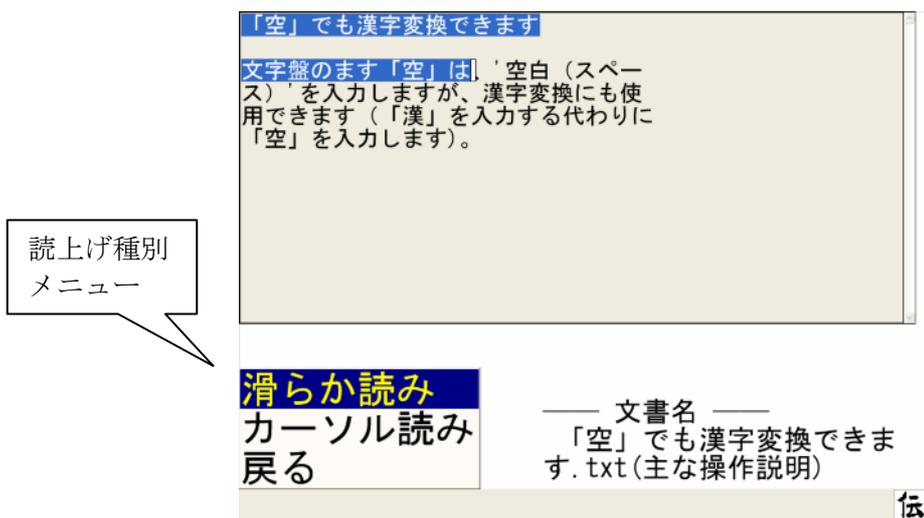


- ③ 読み上げが終了したら「戻る」を選択してください。

## ■文章読上げ機能について



- ① 読上げの設定で「読上げする (全て)」に設定すると、文章読み上げで以下の機能を使用することができます。文章読み上げ中にスイッチを押すと次のメニューが表示されます。

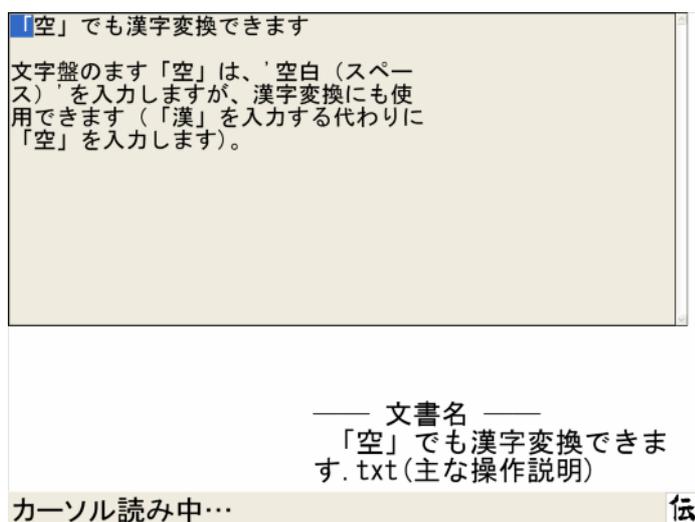


- ② 「滑らか読み」を選択すると次のメニューを表示します。  
ここで、選択された区切り文、または段落文の先頭から読上げます。

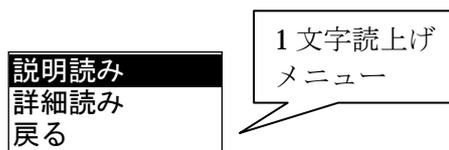


区切り文は、句点、読点、ピリオド、カンマ、スペースを区切り文字として扱います。また段落文は、「先頭の文字が空白の行」または「空行の次の行」を段落の先頭として扱います。

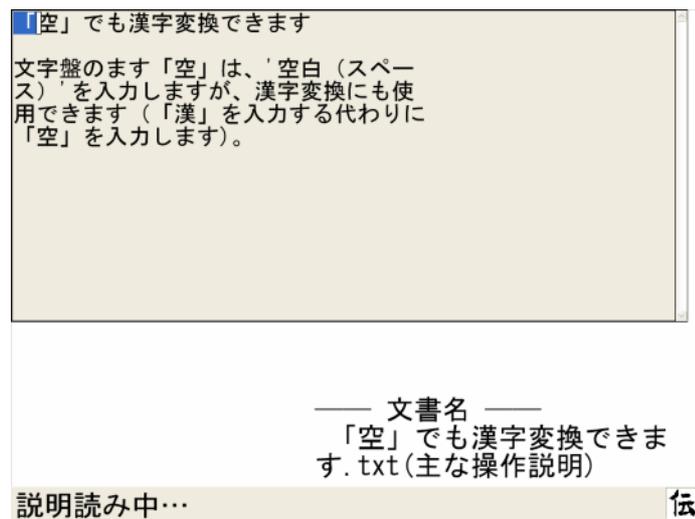
- ③ 「カーソル読み」を選択すると指定された位置から 1 文字ずつ読み上げます。



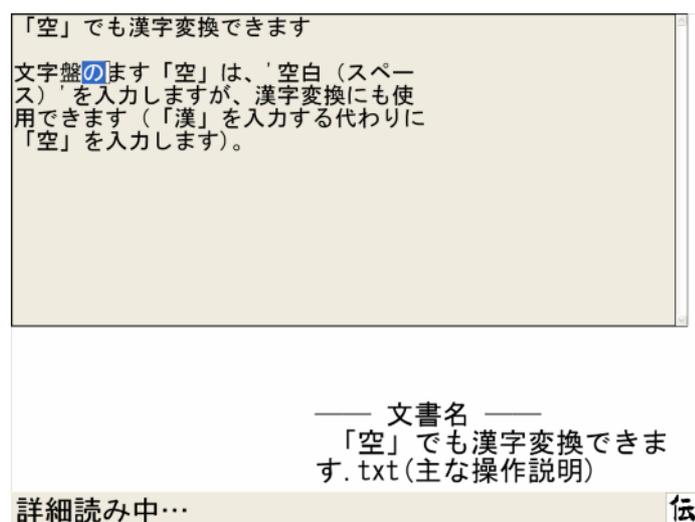
- ④ カーソル読み中にスイッチを 1 回押すと次のメニューが表示されます。



- ⑤ 「説明読み」を選択すると文字の説明を1文字ずつ付加して読み上げます。始めは逆方向に読み上げますが、カーソルが文頭に達するか、スイッチを1回押下すると、順方向に読み上げます。



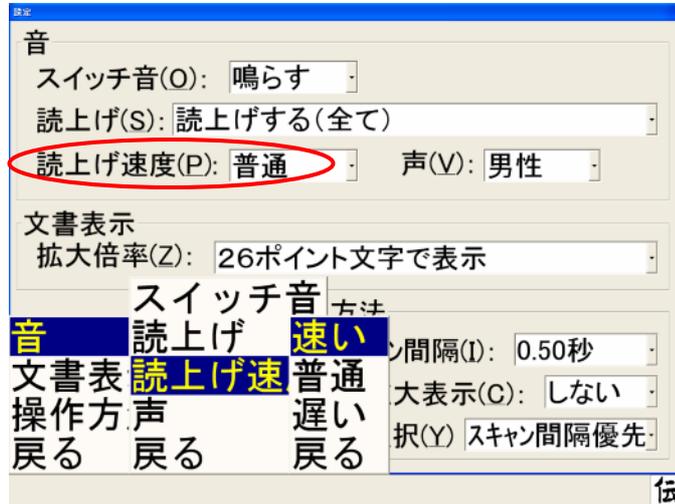
- ⑥ 「詳細読み」を選択すると「説明読み」よりも詳しい説明を1文字ずつ付加して読み上げます。始めは逆方向に読み上げますが、カーソルが文頭に達するか、スイッチを1回押下すると、順方向に読み上げます。



- ⑦ 「説明読み」、「詳細読み」を逆方向へ読み上げているときにスイッチを押下し、順方向への読み上げを始めた後、更にスイッチを1回押すと、読み上げ種別メニューを表示します。
- ⑧ 読み上げを中断するには、⑦の手順で読み上げ種別メニューを呼出し、「戻る」を選択して下さい。

### 13.3 読上げ速度

- ① 「伝の心」では文字や文章の読み上げる速度を変更することができます。
- ② 設定画面の「読上げ速度」のところを見ると、選択した状態が表示されています。今の読み上げ速度の状態を知りたいときは、ここを見てください。



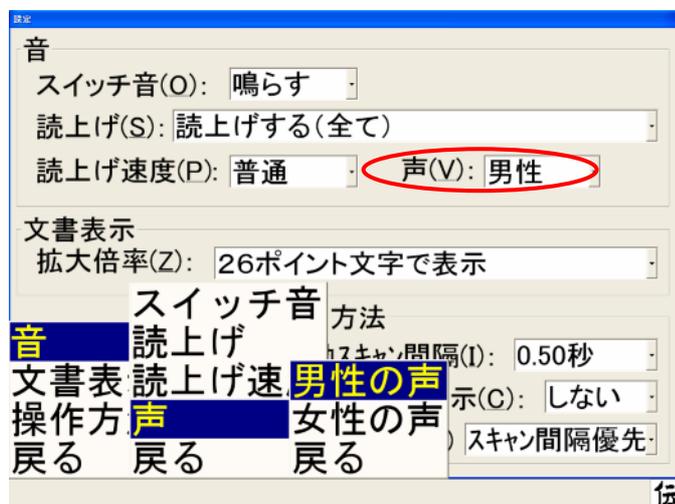
- ③ 設定が終了したら「戻る」を選択してください。

注) 出荷時には、あらかじめ「普通」が設定されています。

---

### 13.4 声の性別

- ① 「伝の心」では、表示されている文字や文章を男性・女性の声で読み上げることができます。
- ② 設定画面の「声」のところを見ると、選択した状態が表示されています。今の声の性別を知りたい時は、ここを見てください。



注) 出荷時には、あらかじめ「男性の声」が設定されています。

# 14. その他の設定

## 14.1 「文書表示」に関するもの

機能の名前	選択肢	説明
文書表示	用紙幅にあわせる (印刷イメージ)	※下記参照
	印字幅にあわせる	※下記参照
	10 ポイント文字で表示	※ポイントに関しては、「印刷」の章の「文字サイズ見本」を参照してください。
	20 ポイント文字で表示	
	26 ポイント文字で表示	
	32 ポイント文字で表示	
40 ポイント文字で表示		

### ※用紙幅に合わせる

この設定を選ぶと、余白部分も含めた用紙の横幅全体が画面に表示されるように、文字の大きさが自動調整されます。印刷結果のイメージを確認することができます。ただし文字はかなり小さく表示されますので、文字の配置や余白の確認をする時のみご使用ください。

### ※印字幅に合わせる

上下左右の余白部分を除いた、実印刷領域の横幅全体が画面に表示されるように、文字の大きさを自動調整します。行中の改行位置などの確認をする場合にご使用ください。

注) 出荷時にはあらかじめ「26 ポイント文字で表示」が設定されています。

---

## 14.2 「操作方法」に関するもの

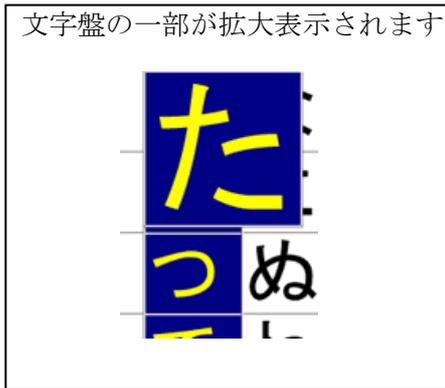
機能の名前	選択肢	説明
自動スキャン間隔	0. 5 0 秒	自動的に上下に動くスキャンカーソルの速さの設定です。
	0. 7 5 秒	
	1. 0 0 秒	
	1. 2 5 秒	
	1. 5 0 秒	
	1. 7 5 秒	
	2. 0 0 秒	
	2. 5 0 秒	
	3. 0 0 秒	
	4. 0 0 秒	

注) 出荷時には、あらかじめ「1. 0 0 秒」が設定されています。

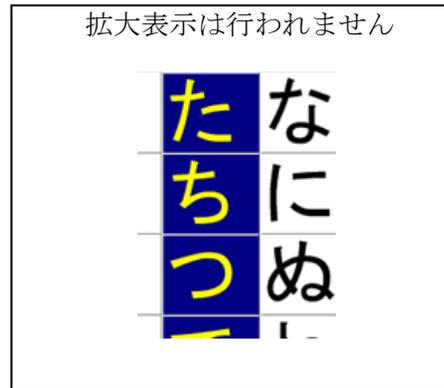
### 14.3 文字盤の拡大について

機能の名前	選択肢	説明
文字盤拡大表示	拡大表示する	※下記参照
	拡大表示しない	

※「拡大表示する」に設定した場合



※「拡大表示しない」に設定した場合




---

### 14.4 読上げ選択について

機能の名前	選択肢	説明
読上げ選択	読み上げ優先モード	※下記参照
	スキャン間隔優先モード	

※読み上げ優先モード

この設定を選ぶと、メニューや文字盤の読み上げ終了後、一時待機します。待機時間が過ぎると、カーソルを次の項目へ進め、読上げを行います。

※スキャン間隔優先モード

メニューや文字盤の読み上げを行うが、「自動スキャン間隔」で設定した時間内に読上げが終わらない場合は、読上げを中断してカーソルを次の項目へ進め、読上げを行います。

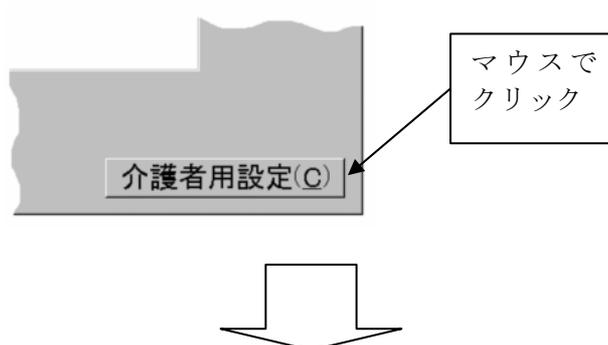
# 15. 介護者用設定

ここでは、介護者の方によるリモコン機器の設定、通信機器の設定および定型句編集、文字盤編集などの高度な設定方法について説明します。

ここでの操作はすべてマウスで行います（スイッチ操作はできません）。

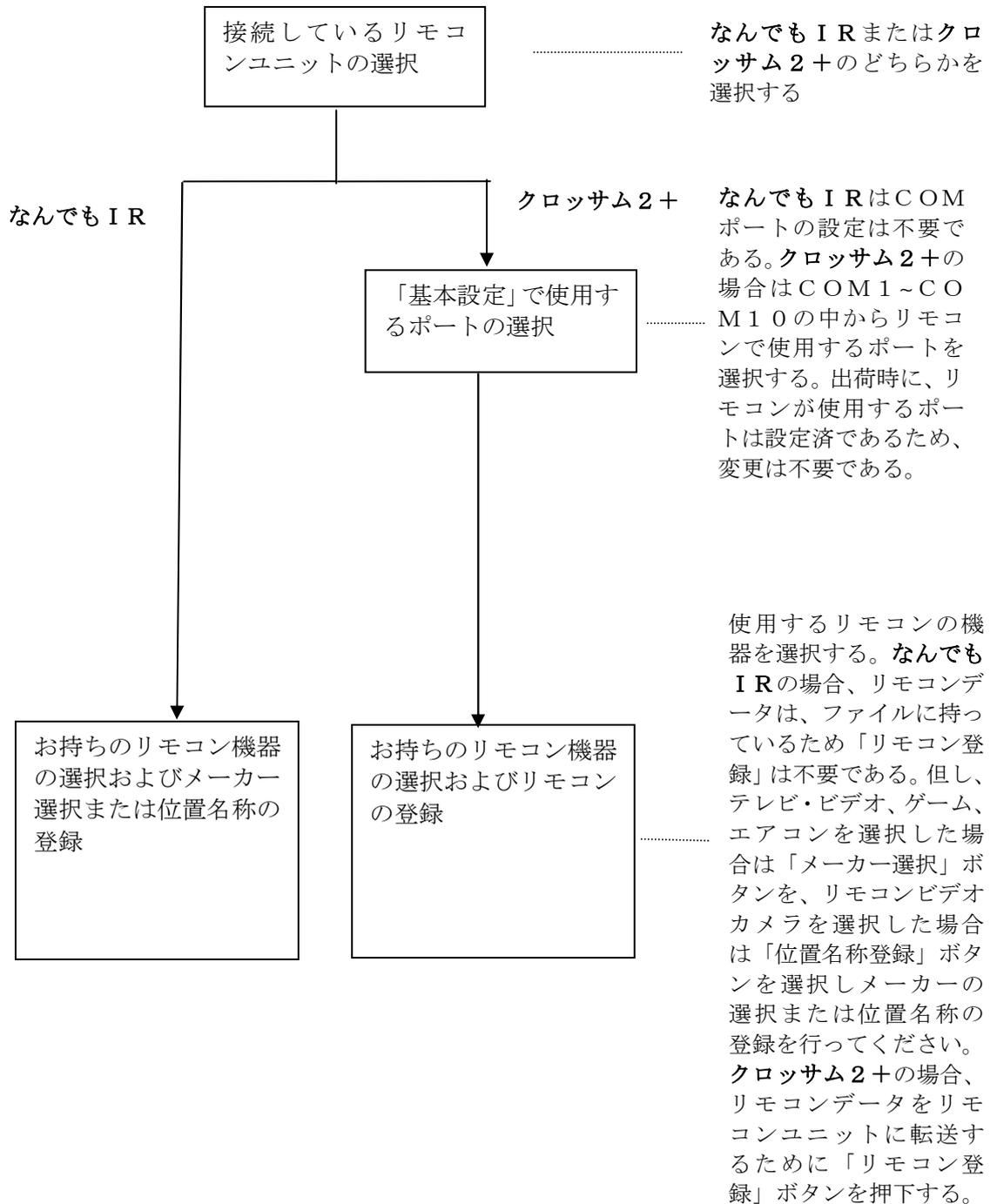
## 15.1 設定方法

マウスで「介護者用設定」と書かれた部分をクリックします。

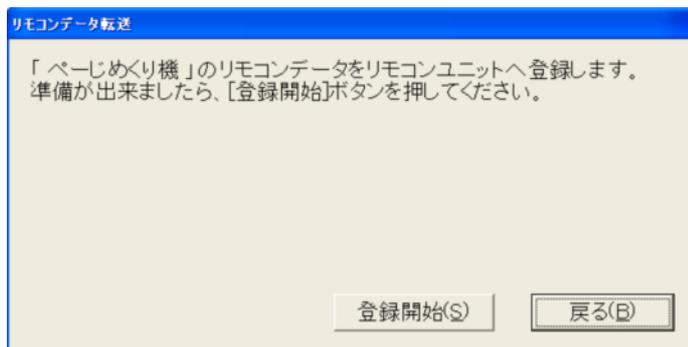


## 15.2 リモコンの設定

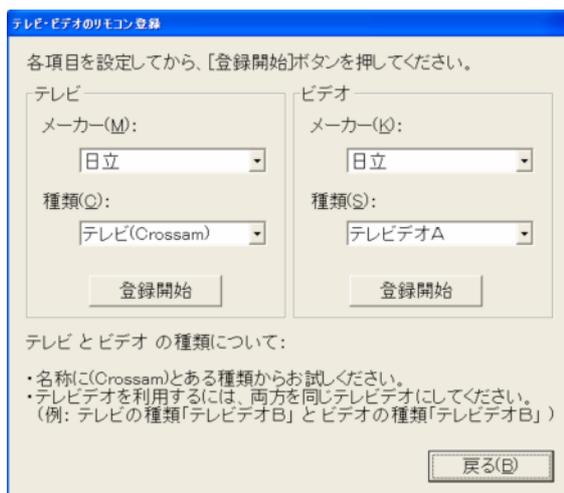
「介護者設定」画面で、「伝の心」に接続されているリモコンユニット、使用するポートおよびお持ちになっているリモコン機器の設定を行ないます。リモコン設定の流れを以下に説明します。なんでも IR を選択した場合は、別冊「意思伝達装置 伝の心リモコン登録説明書」をご参照ください。



リモコンユニットの選択で、クロスサム2+を選択した場合、「リモコン登録」ボタンを押下すると以下のような「リモコンデータ転送画面」が表示されます。「テレビ・ビデオ」および「リモコンビデオカメラ」を指定した場合の画面を次に示します。



<テレビ・ビデオを指定した場合>



<リモコンビデオカメラを選択した場合>

リモコンビデオカメラの登録

・リモコンユニットに登録するには[登録開始]ボタンを押してください。

登録開始(S)

記憶した位置のメニュー名

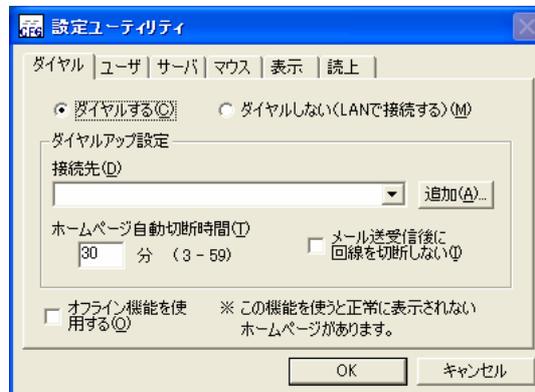
・記憶した位置の名称を入力してください。

ポジション1(1):	<input type="text" value="ポジション1"/>
ポジション2(2):	<input type="text" value="ポジション2"/>
ポジション3(3):	<input type="text" value="ポジション3"/>
ポジション4(4):	<input type="text" value="ポジション4"/>
ポジション5(5):	<input type="text" value="ポジション5"/>
ポジション6(6):	<input type="text" value="ポジション6"/>

戻る(B)

### 15.3 ホームページの設定

ホームページのチェックボックスをチェックするとメインメニューの「呼出し」メニューに「ホームページ」が追加されホームページが閲覧できるようになります。なお、インターネット設定が行われていない場合は、本チェックボックスをチェックするとインターネット設定画面が表示されます。設定内容については、第2編の「インターネット設定」を参照してください。



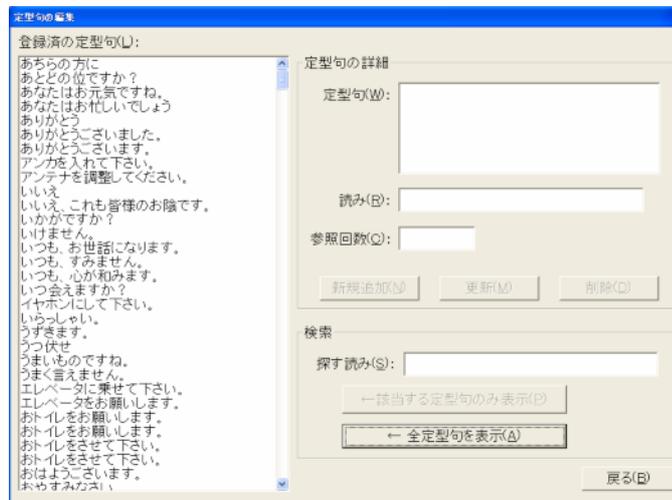
---

### 15.4 電子メールの設定

電子メールのチェックボックスをチェックすると、メインメニューの「呼出し」メニューに「電子メール」が追加され、電子メールが使用できるようになります。なお、インターネット設定が行われていない場合は、本チェックボックスをチェックすると「ホームページの設定」と同様にインターネット設定画面が表示されます。設定内容については、第2編の「インターネット設定」を参照してください。

## 15.5 定型句編集

「介護者用設定」画面で、「定型句編集」選択すると、次の定型句編集画面が表示されます。本画面は「全定型句を表示」のボタンを選択した時の画面の例です。



### [登録済の定型句]

検索で指定した結果に該当する定型句を一覧表示します。

### [定型句の詳細]

「登録済の定型句」からマウスのクリックで選択した定型句の内容を表示します。編集作業を追加、更新、削除の作業はここに表示された項目について行います。

### [定型句]

定型句として入力する文字列を表示、編集します。

### [読み]

検索する際に使用する読みを表示、編集します。

### [参照回数]

定型句の参照回数を表示、編集します。文書作成時に定型句を参照すると参照回数の多い順に表示されます。

### [新規追加]

定型句を新たに追加します。

### [更新]

選択中の定型句を詳細に表示している内容に変更します。

### [削除]

選択している定型句を削除します。

### [検索]

登録されている定型句を探し「登録済の定型句」領域へ表示します。

### [探す読み]

検索する定型句の読みを入力します。

### [該当する定型句のみ表示]

「探す読み」に入力した読みと先頭部分が一致する定型句を検索し、「登録済の定型句」領域へ表示します。

### [全定型句を表示]

既に登録されている全定型句を「登録済の定型句」領域へ表示します。

### [戻る]

「介護者用設定」画面へ戻ります。

## 1) 定型句検索機能

「該当する定型句のみ表示」のボタンを押すと、「探す読み」欄に入力した読みと先頭部分が一致する定型句を検索し、「登録済の定型句」へ該当する定型句を表示します。「全定型句を表示」のボタンを押すと登録されているすべての定型句を登録済の定型句欄へ表示します。

例) 「あ」で始まる定型句の検索例

The screenshot shows the '定型句の編集' (Edit Phrase) window. On the left, a list of registered phrases is shown under '登録済の定型句(L):'. The phrase 'アンテナを調整してください。' is highlighted in blue. On the right, the '定型句の詳細' (Phrase Details) section shows the selected phrase in the '定型句(W):' field. Below it, the '読み(B):' field contains 'あ' and the '参照回数(Q):' field is empty. At the bottom, there are buttons for '新規追加(N)', '更新(U)', and '削除(D)'. A search section at the bottom right has '探す読み(S):' set to 'あ' and buttons for '← 該当する定型句のみ表示(B)' and '← 全定型句を表示(A)'. A '戻る(B)' button is at the bottom right.

## 2) 定型句内容の確認

「登録済の定型句」からクリックで選択した定型句の内容を定型句の詳細枠内に表示する。編集作業の追加、更新、削除の作業はここに表示された項目について行います。

例) 「アンテナを調整してください。」定型句の確認例

The screenshot shows the '定型句の編集' (Edit Phrase) window with the details of the selected phrase. The '登録済の定型句(L):' list on the left has 'アンテナを調整してください。' highlighted. The '定型句の詳細' (Phrase Details) section on the right shows '定型句(W):' as 'アンテナを調整してください。', '読み(B):' as 'あんでなをちようせいしてください', and '参照回数(Q):' as '0'. The buttons for '新規追加(N)', '更新(U)', and '削除(D)' are visible at the bottom.

### [定型句]

定型句として入力する文字列を表示、編集します。半角 32 文字までの文字列を入力できます。改行による複数行を 1 項目として表示することも認めます。

### [読み]

検索する際に使用する読みを表示、編集します。半角 32 文字まで入力できます。改行は入力できません。

### [参照回数]

定型句の参照回数を表示します。

### 3) 定型句追加機能

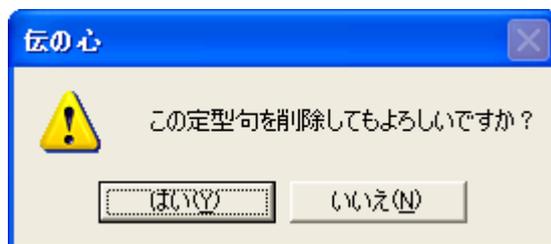
定型句を新たに登録する機能です。新規追加ボタンを押すと、詳細に指定した項目を定型句データベースへ追加します。定型句を追加するには、定型句欄と読み欄の2項目が入力されている必要があります。登録する際、「読み」または「定型句」のいずれかが既に登録されている定型句と同じであっても、追加はできます。ただし、「読み」と「定型句」の両方が同じ場合は、重複登録となるため、追加はできません。また、登録の際、登録済の定型句から項目を選択し、「読み」または「定型句」を変更することにより追加することもできます。

### 4) 定型句更新機能

登録済みの定型句の内容を変更する機能です。登録済の定型句内の指定した項目を選択した状態で更新ボタンを押すと、定型句データベースの内容を詳細に表示されている内容に置き換えます。なお、定型句の更新を実行するには、定型句欄と読み欄の2項目が入力されている必要があります。登録する際、「読み」または「定型句」のいずれかが同じであっても、更新が行なわれます。ただし、「読み」と「定型句」の両方が同じ場合は、重複登録となるため更新はできません。また、更新の際、登録済の定型句から項目を選択していなければ、更新するべき項目が無いため、更新処理は行なわれません。

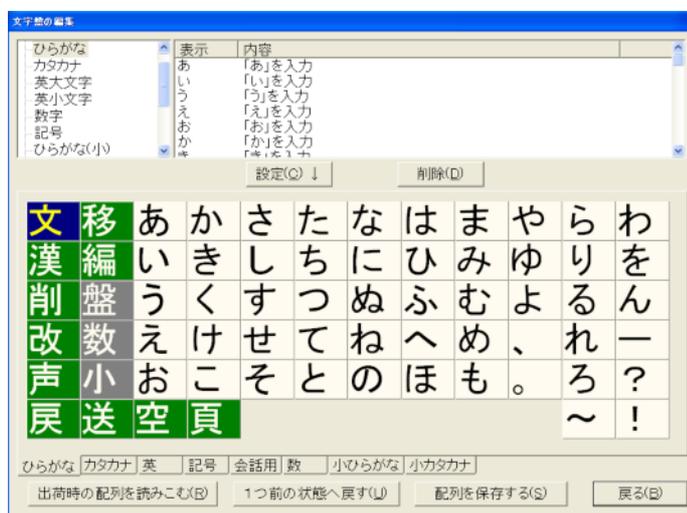
### 5) 定型句削除機能

登録済みの定型句を削除する機能です。登録済の定型句から、指定した項目を選択した状態で削除ボタンを押すと、定型句データベースの内容から該当する定型句を削除します。なお、削除の際、登録済の定型句から項目を選択していなければ、削除すべき項目が無いため、削除処理は行なわれません。また、削除を誤って実行することを防ぐため、実行直前には次のような確認メッセージを出力しデータを保護します。



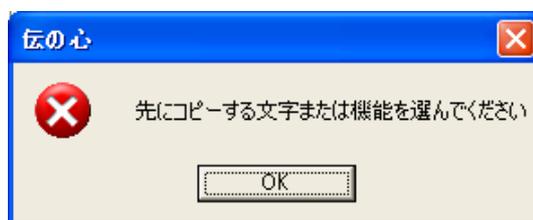
## 15.6 文字盤編集

「介護者用設定」画面で、「文字盤編集」を選択すると、次の文字盤の編集画面が表示されます。本画面で文字盤の編集を行なうことができます。編集は、文字盤の文字または機能を選択した後、画面上部の置き換えを行なう文字または機能を選択し、設定ボタンを押下します。また、文字盤の文字または機能を選択した後、削除ボタンを押下すると文字盤からその文字または機能が削除されます。



### [設定]

文字盤の選択した文字または機能を画面上部で選択した文字または機能に置き替えます。画面上部の文字が選択されていない場合は、次のガイダンスが表示されます。



### [削除]

文字盤の選択した文字または機能を文字盤から削除します。

### [ひらがな・カタカナ・・・・小カタカナ]

編集する文字盤の種類を意味します。この中から編集する文字盤を選択します。

### [出荷時の配列を読みこむ]

全文字盤を「伝の心」出荷時の文字盤に戻します。

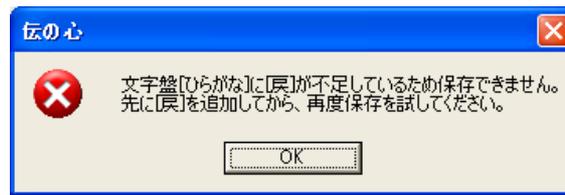
### [1つ前の状態へ戻す]

設定または削除操作を行なったとき、その直前の状態に戻します。

※ [配列の保存]を行った後でも、その直前の状態に戻しますが、この状態で[戻る]ボタンを押下すると保存の有無を問うガイダンスが表示されないので注意願います。

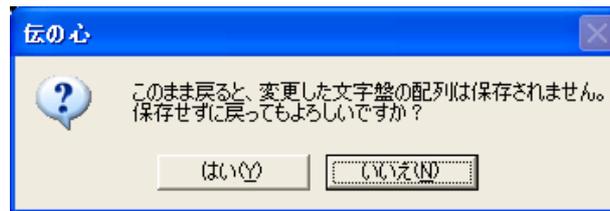
### [配列を保存する]

編集した全文字盤を保存する。編集をした文字盤に1個以上の「戻」がない場合は、次のガイダンスが表示されます。



### [戻る]

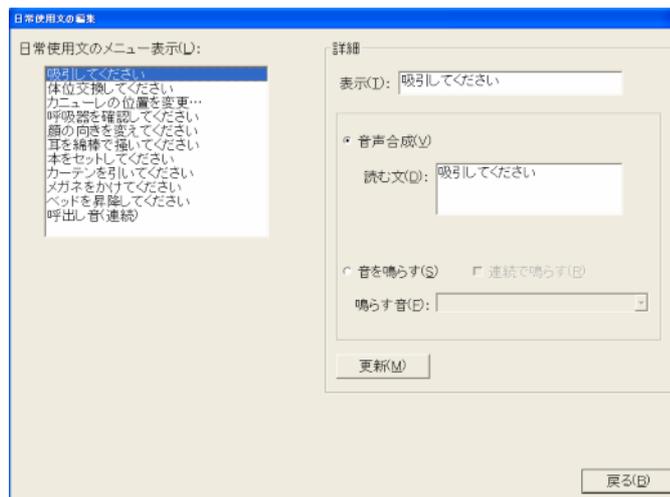
介護者設定画面に戻る。「配列を保存する」を実行しないで本ボタンを押下した場合は、次のガイダンスが表示されます。



※ [配列の保存]を行った後[1つ前の状態へ戻す]を行った場合、[配列を保存する]を実行しないで[戻る]ボタンを押下しても、上記のガイダンスが表示されないの注意願います。

## 15.7 日常使用文編集

「介護者用設定」画面で、「日常使用文編集」選択すると、次の日常使用文の編集画面が表示されます。本画面で日常使用文の編集を行なうことができます。



### [日常使用文のメニュー表示]

登録されている日常使用文を一覧表示します。なお、日常使用文は11個まで登録できます。

### [詳細]

「日常使用文のメニュー表示」から選択した日常使用文の内容を表示します。

### [表示]

日常使用文を表示・編集します。

**[音声合成]**

「表示」領域に表示されている文書を音声合成で読み上げる場合に指定します。

**[読む文]**

「表示」領域に表示されている文書の読み上げ文を表示、編集します。

**[音を鳴らす]**

音声合成で読み上げを行なわないで、音を鳴らす場合に指定します。

**[連続で鳴らす]**

連続で音を鳴らす場合に指定します。本指定をした場合は、画面左下に「音を止める」メニューが表示されます。

**[鳴らす音]**

鳴らす音の種類をリストボックスから選択します。リストボックスにない音を鳴らしたい場合は入力エリアに直接音声ファイル名を入力してください。

**[更新]**

編集した日常使用文を登録します。

**[戻る]**

介護者用設定メニューに戻ります。

上記の詳細設定で、「音声合成」と「音を鳴らす」設定は2者択一でいずれか一方を選択します。なお、「音を鳴らす」を指定した場合、通常は一回だけ鳴らしますが、「連続で鳴らす」も指定した場合は、連続で音が出力されます。このとき、画面左下に次のメニューが表示されますので、音を止める場合は、「音を止める」を選択してください。



## 15.8 リモコン登録・編集

「介護者用設定」画面で、「リモコン登録・編集」選択した場合は、別冊「意思伝達装置 伝の心 リモコン登録説明書」をご参照ください。また、リモコンユニットにクロッサム2+を指定した場合、ボタン名称が「学習リモコン設定」に表示が切替ります。「学習リモコン設定」を選択すると次の学習リモコン設定画面が表示されます。ここで、学習させたリモコンのグループ名および学習内容名の設定を行なうことができます。なお、クロッサム2+のリモコンの学習方法は「リモコン機能補足説明」を参照してください。



### [連続操作指定]

学習させた操作を連続して行なう場合に指定します。本チェックボックスをチェックした場合は、学習内容名に連続操作であることがわかるような名称を入力してください。

### [グループ名]

学習させたリモコンのグループ名称（機器名など）を入力します。

### [学習内容名]

学習させたリモコンの学習内容（操作など）を入力します。

### [連続送信間隔]

連続操作指定が指定された場合、リモコンデータの送信間隔をミリ秒単位で指定します。デフォルトは1200ミリ秒です。

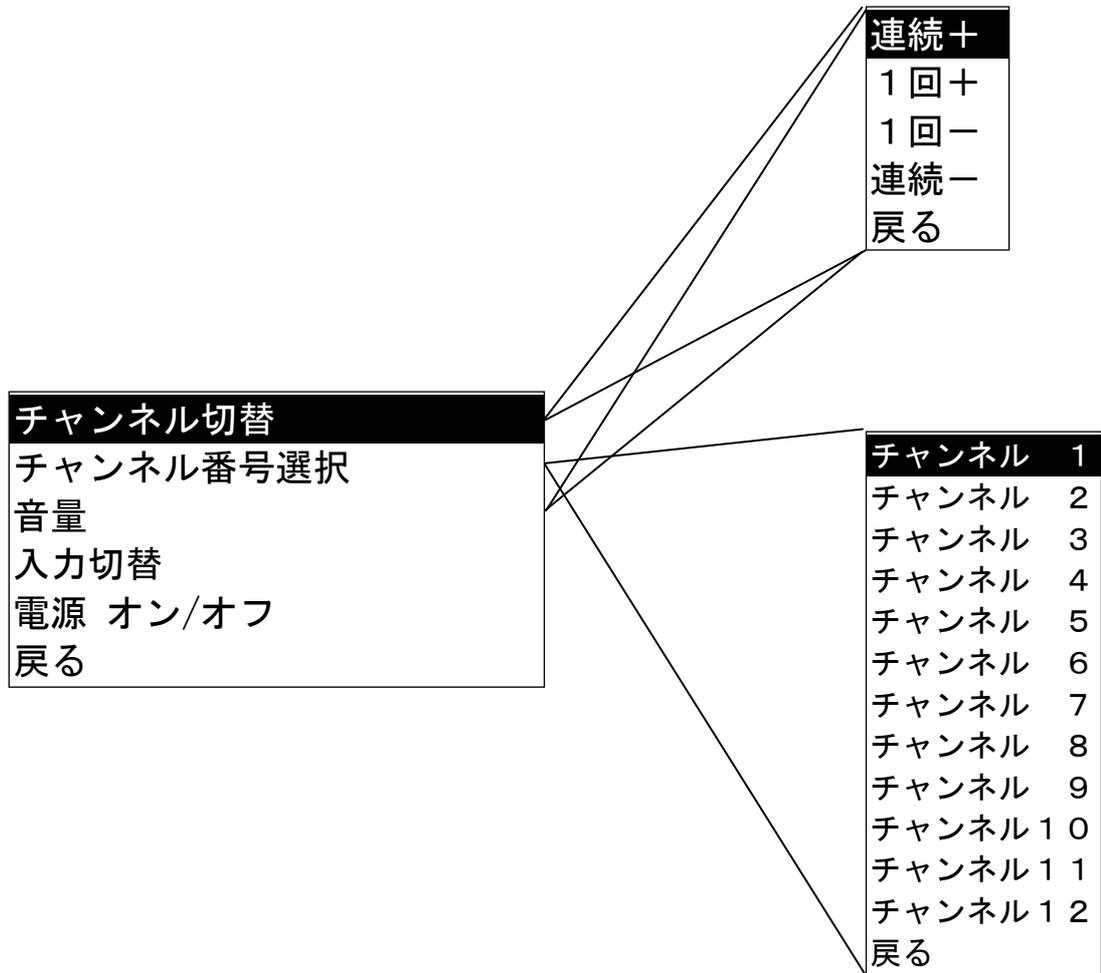
### [戻る]

介護者用設定メニューへ戻ります。

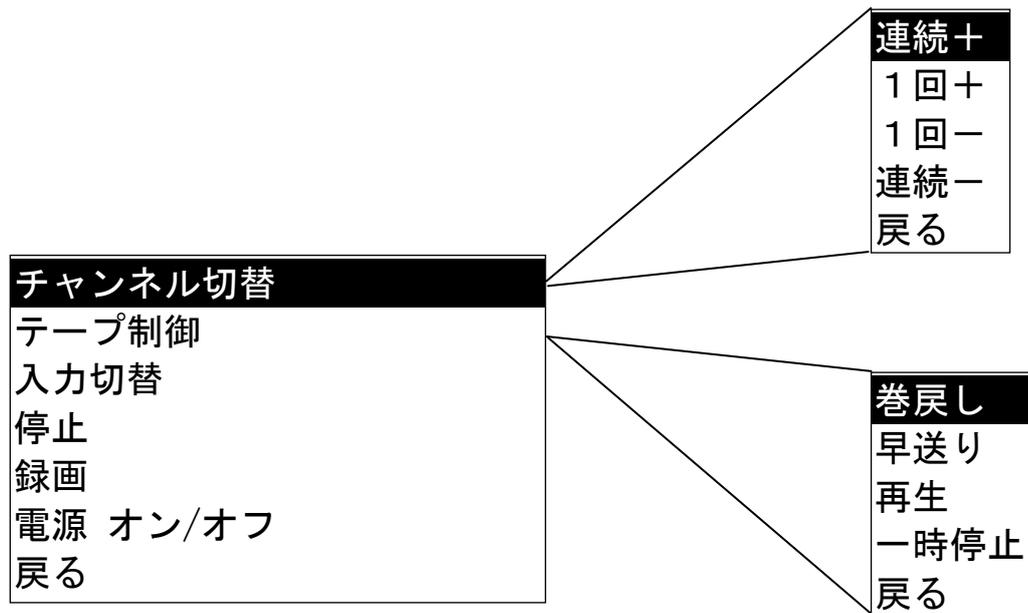
## 15.9 リモコン機器のメニュー一覧

「介護者設定画面」で、お持ちのリモコン機器を指定した場合、「伝の心」のメインメニューの「機器操作」メニューに指定したリモコン機器が追加されます。そして、追加されたリモコン機器を選択するとそのリモコン機器の操作項目が表示されます。各リモコン機器の操作項目一覧を以下に示します。

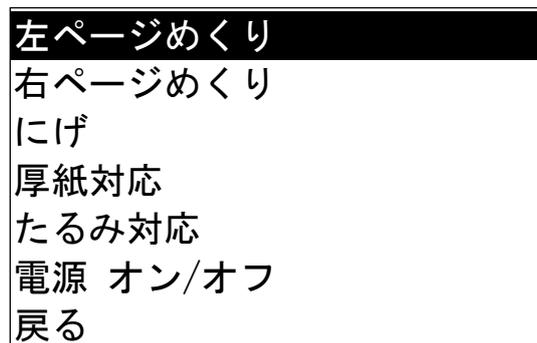
### ① テレビ



② ビデオ



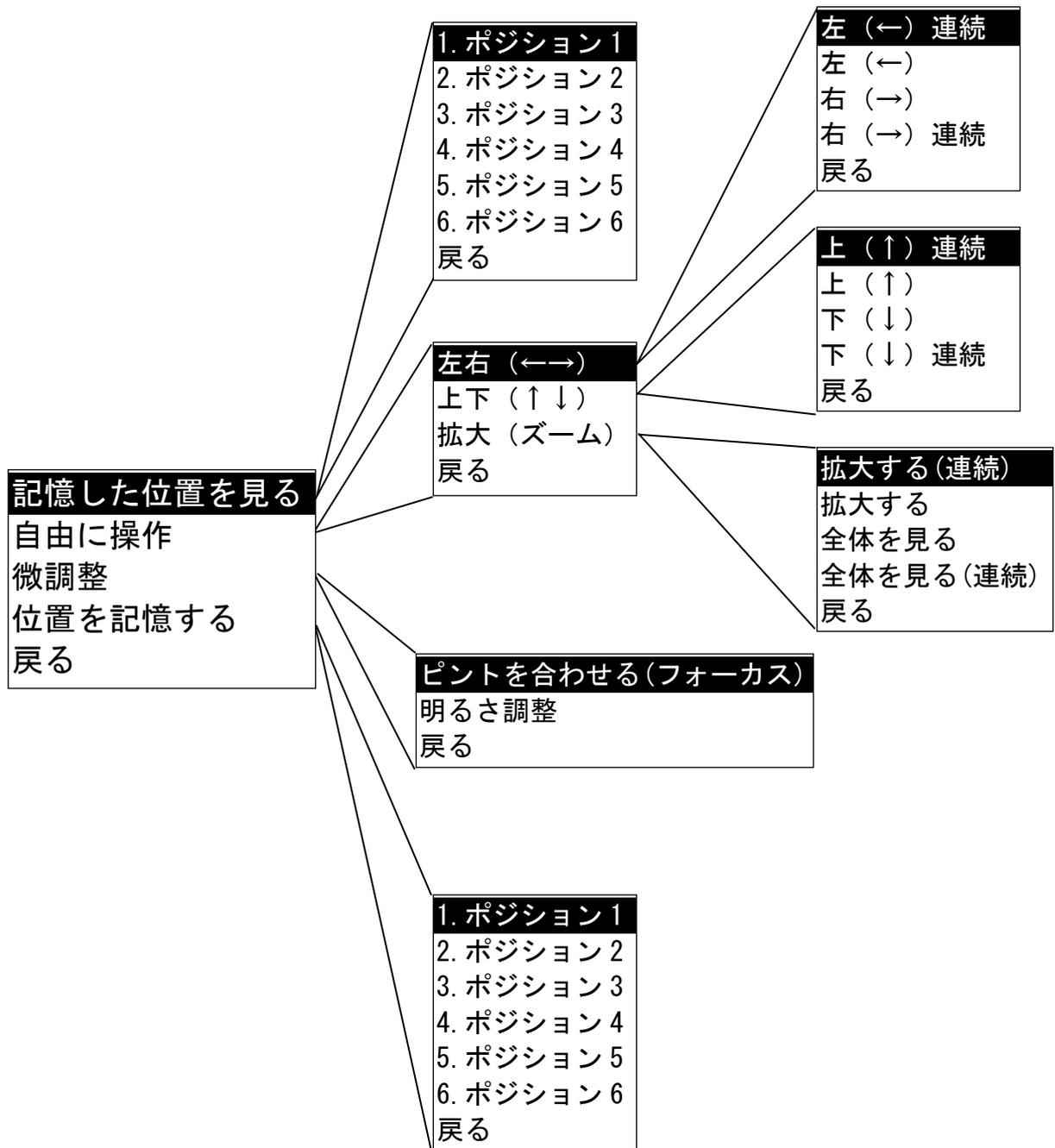
③ ページめくり機



④ 給餌器

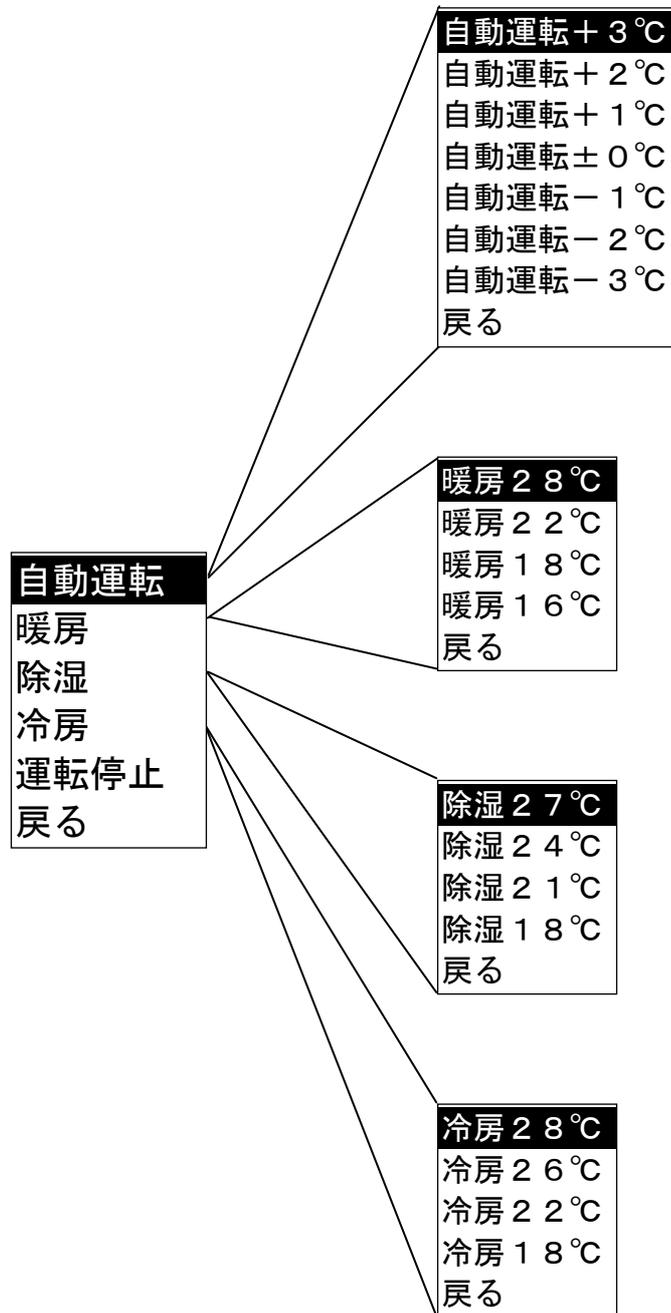


⑤ ビデオカメラ

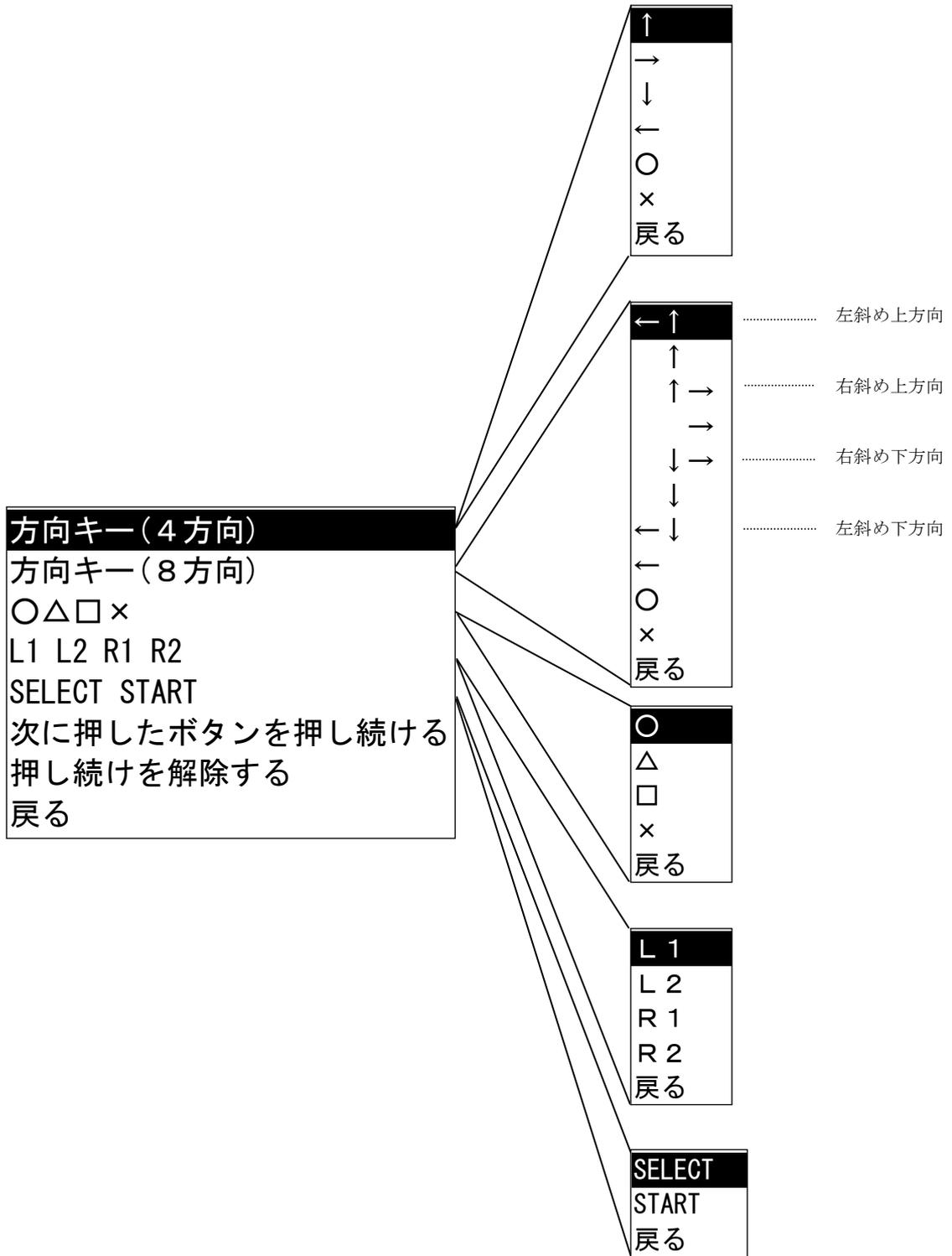


⑥ エアコン

エアコンは、操作メニューの「電源オフ」以外の操作を行なうと自動的に電源が入り運転が開始されます。そして、運転を停止する場合は、「電源オフ」を選択してください。エアコンは「自動運転」での利用を推奨します。



⑦ ゲーム操作



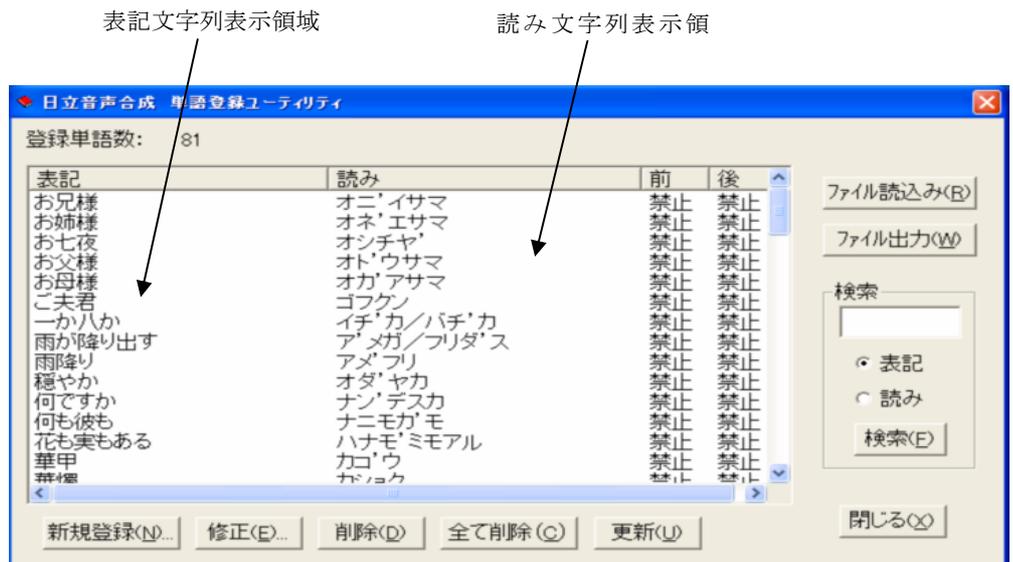
## 15.10 音声合成ユーザ辞書編集

「スタート」メニューより「すべてのプログラム」－「伝の心」－「音声合成ユーザ辞書編集」の順番に選択し実行することにより、ユーザ辞書の編集を行なうことができます。本ユーザ辞書には、表記文字列（単語）、読み文字列（単語の読み）およびアクセント位置（単語のアクセント位置）を登録することができます。本ユーザ辞書に登録した表記文字列を、「伝の心」で読み上げた場合、指定した読み文字列を指定したアクセント位置で読み上げることができます。「伝の心」で作成した文章で特殊な読み方をする文字列などを本ユーザ辞書に登録しておくくと便利です。



### 〈ユーザ辞書登録画面〉

「音声合成ユーザ辞書編集」を起動すると次のようなユーザ辞書編集を行なう画面が表示されます。ここで、表記文字列、読み文字列をユーザ辞書へ登録します。セットアップ直後は、81単語が登録されています。



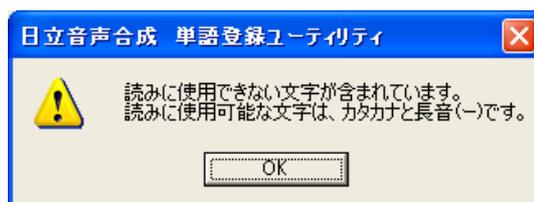
## [新規登録]

表記文字列、読み文字列およびアクセント位置を新規にユーザ辞書に登録します。本ボタンを選択すると次のような画面が表示されます。「合成音再生」ボタンを押すと、文字列の読上げが行われ、その波形が表示されます。波形に表示された点をマウスで上下にドラッグすることにより、アクセント位置の調整が可能です。

登録可能な「表記文字列」および「読み文字列」の最大は15文字です。



「読み」に使用できる文字はカタカナと長音(ー)です。ひらがな等が入力されている場合は次のような画面が出て登録できません。



また、次のような文字は、長音を用いることでより自然な読上げになります。

- ・「お」段の音に続く「う」
- ・「え」段の音に続く「い」

例) れいぞうこ → レーザーコ

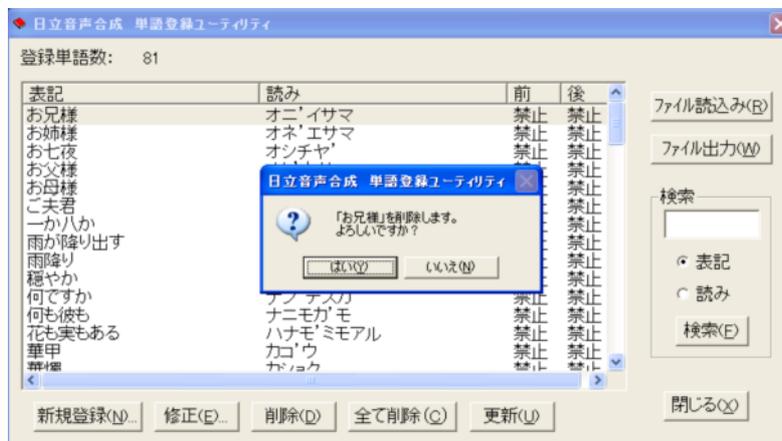
## [修正]

既に登録してある表記文字列、読み文字列またはアクセント位置の変更を行ないます。本ボタンを選択する前に修正を行なう表記文字列を選択してください。本ボタンを選択すると次のような画面が表示されます。



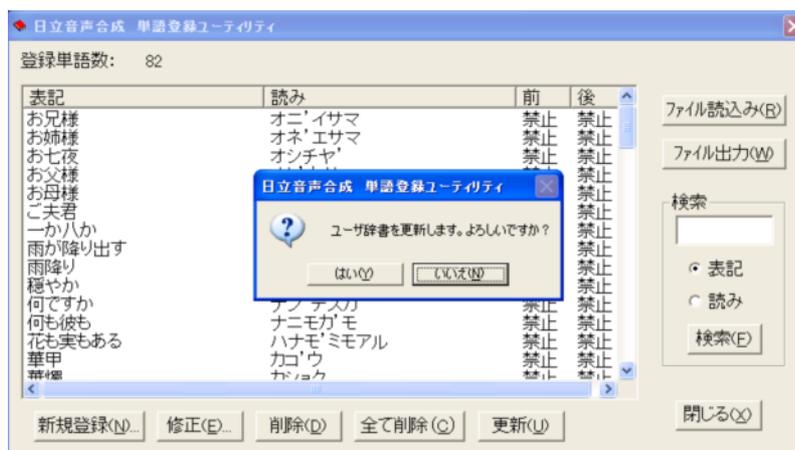
## [削除]

既に登録してある表記文字列、読み文字列およびアクセント位置をユーザ辞書から削除します。本ボタンを選択する前に、削除する表記文字を選択してください。本ボタンを選択すると次のような画面が表示されます。ここで、「はい」を選択すると削除されます。



## [閉じる]

音声合成ユーザ辞書編集処理を終了します。終了時に、ユーザ辞書の編集を行なった場合は次のようなユーザ辞書更新の確認画面が表示されます。ここで、「はい」を選択すると編集した内容がユーザ辞書に反映されます。



## 15.11 スイッチ入力テスト

伝の心でスイッチ入力が入らない場合は、下記手順でスイッチ入力の動作確認を行ってください。

- ① 同梱されている『接続の仕方』を参照して、入力スイッチが接続されていることを確認してください（下図はノート型の接続の例で、デスク型も同様です）。

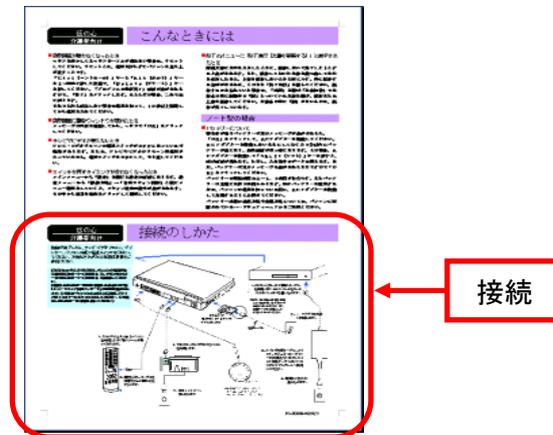
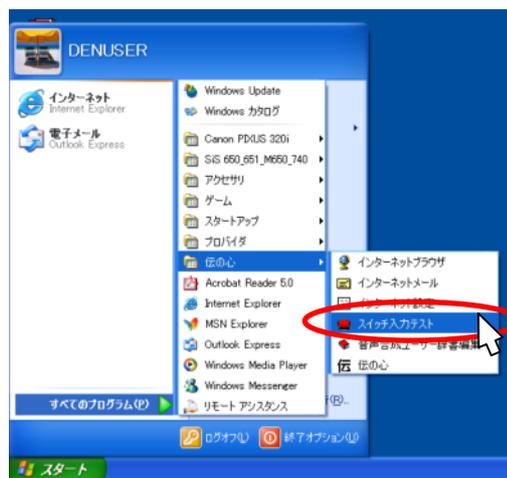


図 1 伝の心 接続図

- ② 「スタート」メニューより「すべてのプログラム」-「伝の心」-[スイッチ入力テスト]を選択してください。



- ③ スイッチを入力し、ランプが点灯することを確認してください。下記画面で、スイッチを入力した場合、ランプが点灯します。

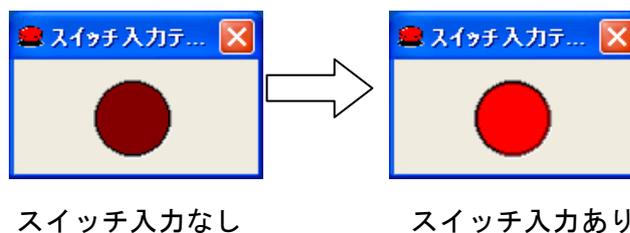


図 3 スイッチ入力テスト

- ④ スイッチを入力してもランプが点灯しない場合は、スイッチのコネクタ部分の接続を確認してください。接続に異常が無いことが確認された場合、お手数ですが販売会社にお問い合わせください。

## 16. リモコン機能補足説明

本章ではリモコンユニット（クロッサム2+）の取り付けまでを説明します。以下の手順に従い、導入を行ってください。なんでも IR の取り付け等については、別冊「**意思伝達装置 伝の心リモコン登録説明書**」をご参照ください。

### 16.1 準備

#### (1) 電池を入れる

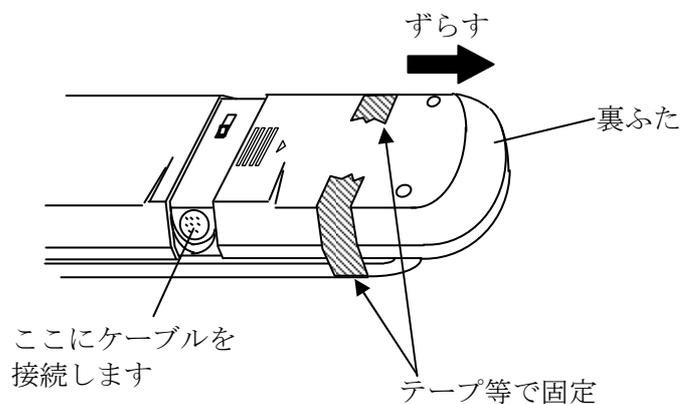
- ①リモコンユニットの裏側にある電池ケースのふたを▼の方向に押し下げます。
- ②ケース内に表示してある+-に従って、付属の単4アルカリ電池4本を入れます。
- ③電池ケースのふたを閉めます。

### 乾電池の寿命は約1ヶ月です。

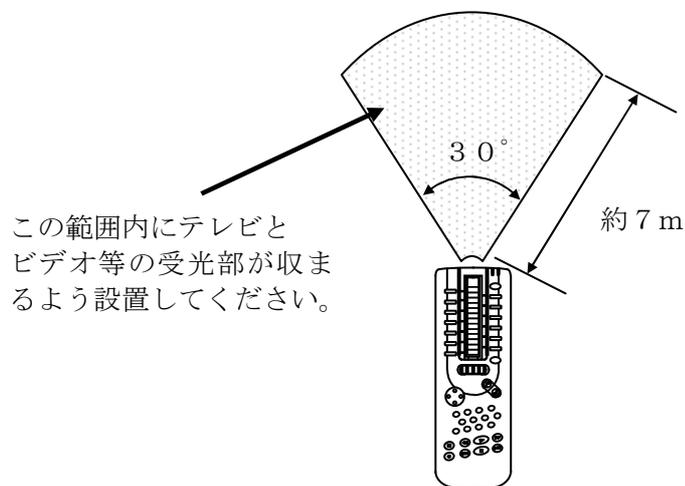
クロッサム2+取扱説明書に電池寿命は半年から1年と書かれていますが、「伝の心」と接続する場合には1ヶ月前後と想定されます。利用状況によっても寿命は変わりますが、電池切れ表示（パイロットランプの赤だけが点灯）にならなくても、電池が消耗してくると「伝の心」から入力してもリモコン操作ができない、といった現象が起こる場合もあります。これら、電池切れの状態から起こる様々な現象と、電池交換の目安を「リモコン使用上の注意」にまとめましたので、必ずお読みください。

## (2) 取り付け

同梱されている接続図に従って、パソコン本体と接続してください。なお、裏ふたを半分ずらした状態でケーブルを接続することになります。通常の使用では問題無いと思われませんが、念のため下図の位置付近をテープ等で固定してください。



リモコンユニットの赤外線は先端から $30^\circ$ 程度の範囲、最大7m以内の範囲に照射されます。使用するテレビまたはビデオ等がこの範囲内に収まるよう設置してください。なお、テレビやビデオ等により、受光部の感度が異なります。電池が消耗すると届く距離が短くなる場合がありますので、設置位置を調節してみてください。



## 16.2 リモコン使用上の注意

### 学習リモコン機能の使い方

起動直後に表示されるメニューより、「リモコン」→「学習リモコン」の順に選択することで、利用できます。

使用状況にもよりますが、**電池寿命は1ヶ月前後**です。

#### リモコンユニット先端のLEDのうち、赤だけが点灯した場合：

電池が消耗しています。電池交換を行なってください。

※電池交換によって、テレビ・ビデオ・学習した設定等が消えることは有りません。

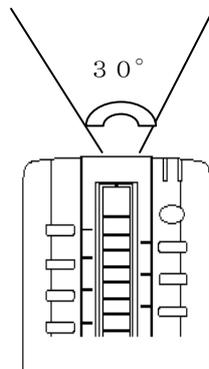
#### 「リモコンユニットにエラーが発生しています」が表示された場合：

次の手順で確認をお願いします。

- ① パソコンとリモコンユニットが接続されているか確認してください。
- ② リモコンユニットのボタンを直接押して対象とする機器の制御（電源ON/OFFなど）ができるか確認してください。
- ③ ①と②のいずれにも問題なければ、リモコンユニットの電池を交換してください。

#### メッセージは表示されないがリモコン操作が反応しない場合：

- ・リモコンユニットの赤外線は先端から30°程度の範囲に懐中電灯の明かりのように照射します。操作する機器の受光部がこの範囲に収まるように設置してください。

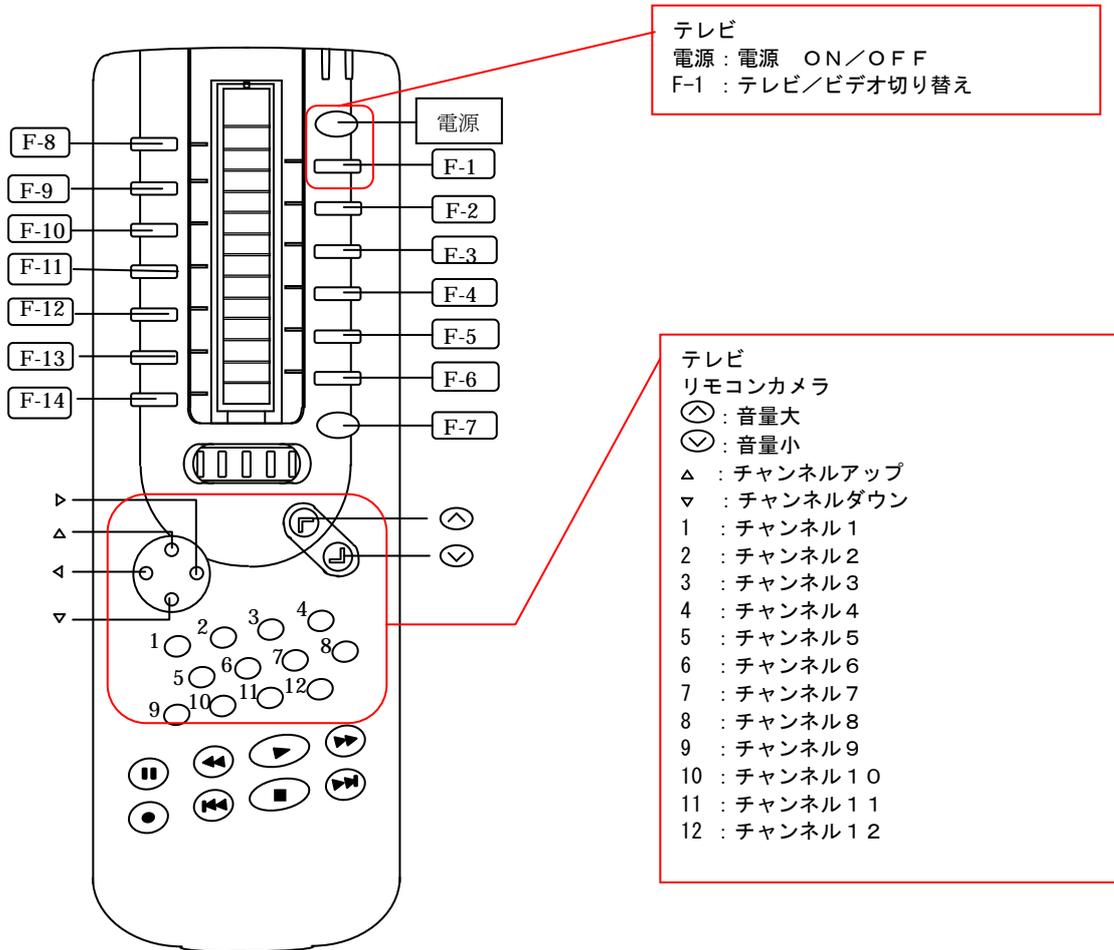


- ・機器によって受光感度が異なります。仕様上は7mまで届くようになっておりますが、反応しない場合は距離等を調節してみてください。
- ・なお、前述の電池交換をあらわす症状が出ていなくても、電池が消耗してくると赤外線の到達距離が短くなります。御自信の判断にて電池交換をお願い致します。
- ・赤外線リモコンは、屋外光や光度の高い照明器具などにより誤動作や操作不能の原因になる場合がありますので、リモコン操作・学習をする際は室内の環境にご注意ください。

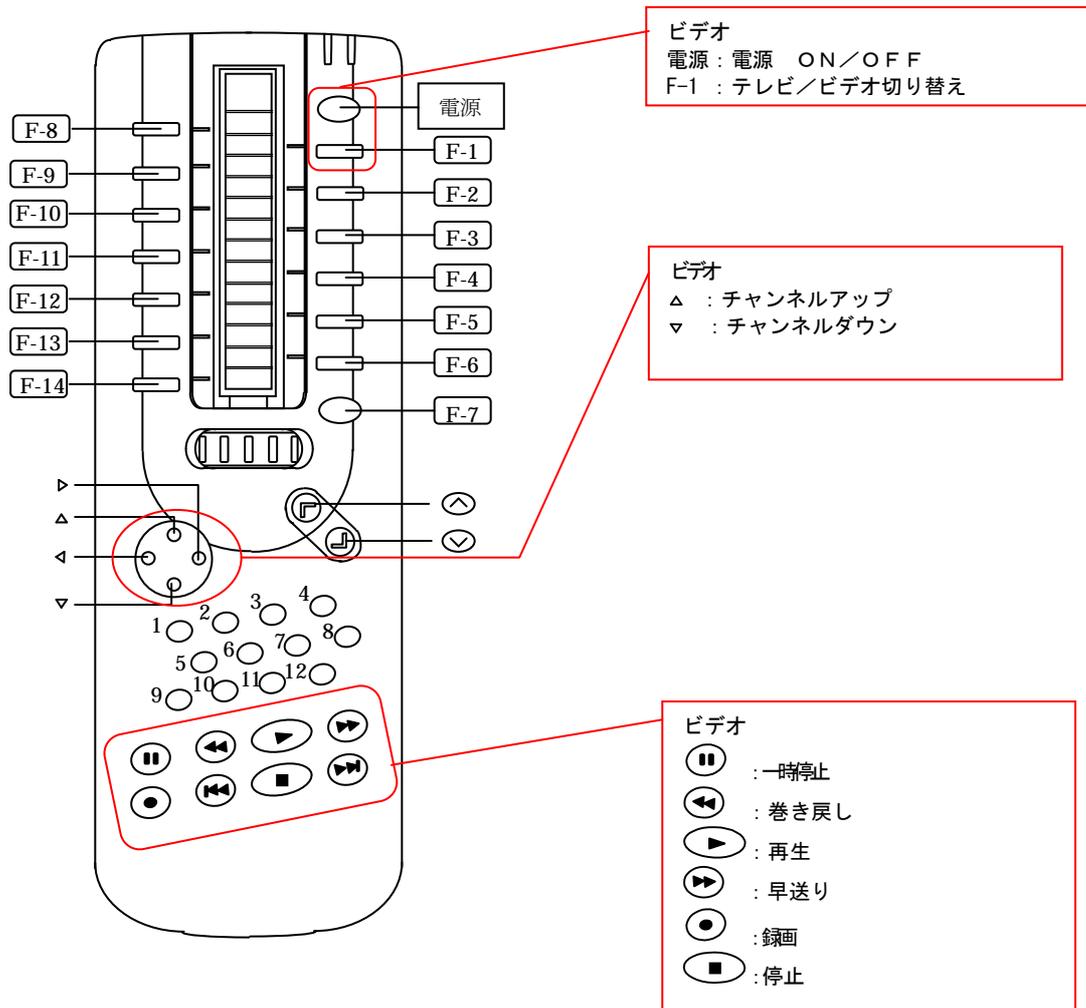
### 16.3 リモコン装置のボタンと機能の対応

「伝の心」の介護者設定からリモコン登録でリモコンデータのダウンロードを行なうと、次のようにクロスサム2+のボタンに機能が割り当てられます。

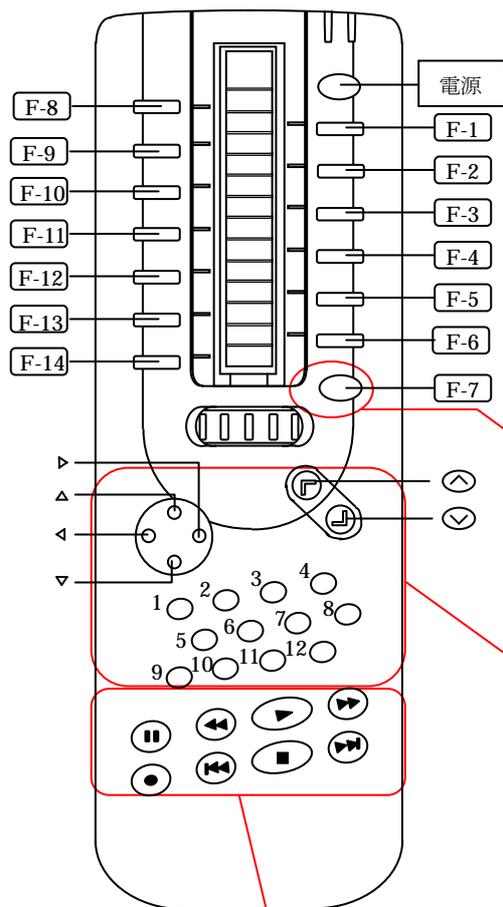
(1) ダイヤル1面



(2) ダイヤル2面



(3) ダイヤル3面



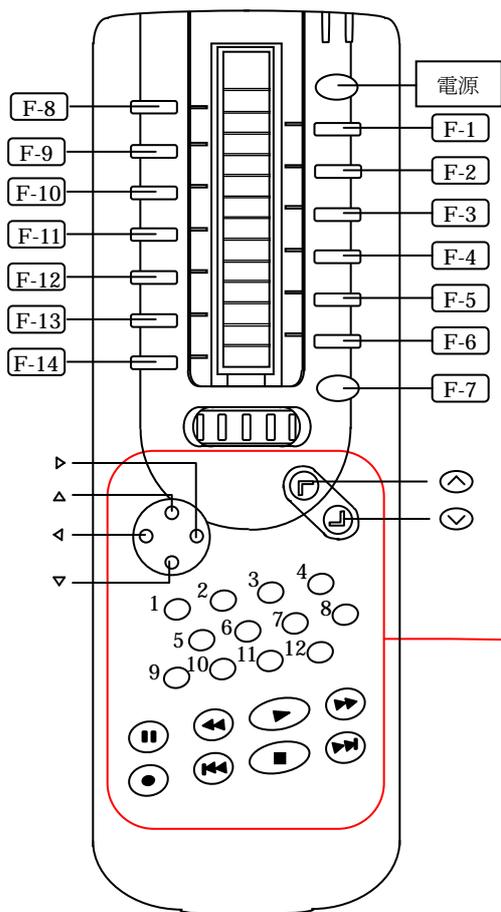
- 学習リモコン 1
- F-8 : 学習 1
  - F-1 : 学習 2
  - F-9 : 学習 3
  - F-2 : 学習 4
  - F-10 : 学習 5
  - F-3 : 学習 6
  - F-11 : 学習 7
  - F-4 : 学習 8
  - F-12 : 学習 9

- 給餌機
- F-7 : 餌をあげる

- リモコンカメラ
- ⊙ : TELE
  - ⊖ : WIDE
  - ▷ : 右に動かす
  - △ : 上に動かす
  - ◁ : 左に動かす
  - ▽ : 下に動かす
  - 1 : ポジション 1 に動かす
  - 2 : ポジション 2 に動かす
  - 3 : ポジション 3 に動かす
  - 4 : ポジション 4 に動かす
  - 5 : ポジション 5 に動かす
  - 6 : ポジション 6 に動かす
  - 7 : 位置を記録
  - 8 : 明るさ
  - 9 : 自動に設定
  - 10 : 手動に設定
  - 11 : 近くに合わせる
  - 12 : 遠くに合わせる

- ページめくり機
- ◀ : 左ページめくり
  - ▶ : 右ページめくり
  - : にげ
  - ⏸ : 厚紙対応
  - ▶ : たるみ対応
  - ⏻ : 電源

(4) ダイヤル4面



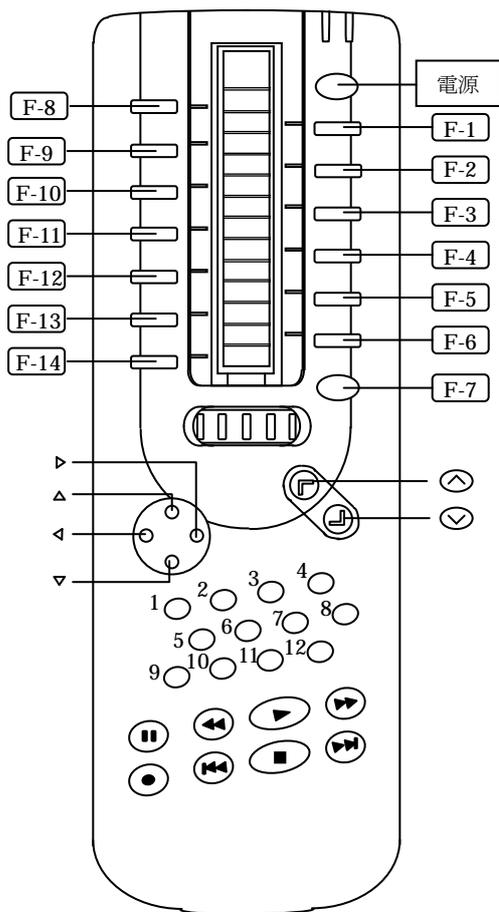
学習リモコン2

- F-8 : 学習 1
- F-1 : 学習 2
- F-9 : 学習 3
- F-2 : 学習 4
- F-10 : 学習 5
- F-3 : 学習 6
- F-11 : 学習 7
- F-4 : 学習 8
- F-12 : 学習 9

ゲーム

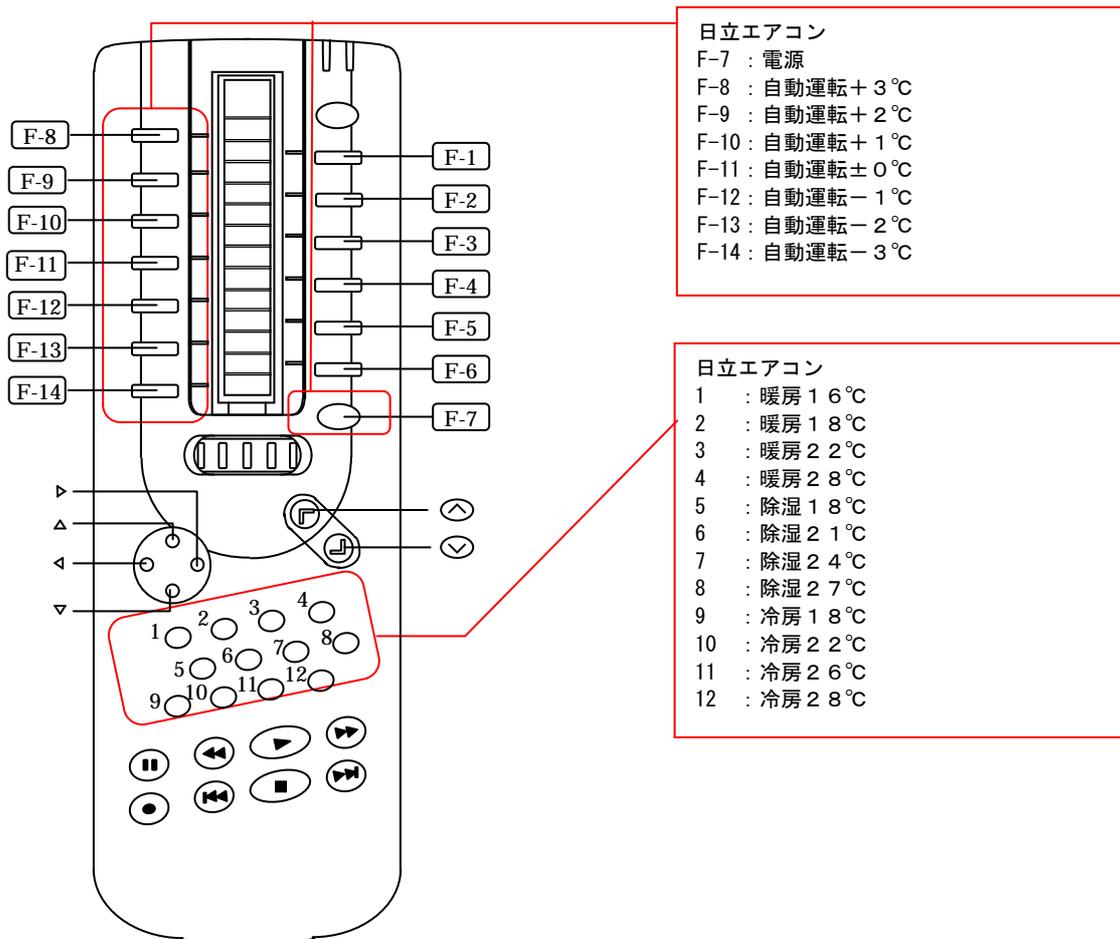
- ▷ : →
- △ : ↑
- ◁ : ←
- ▽ : ↓
- ⤴ : Select
- ⤵ : Start
- 1 : ○
- 2 : △
- 3 : □
- 4 : ×
- 5 : L1
- 6 : L2
- 7 : R1
- 8 : R2
- 9 : 次に押したボタンを押し続ける
- 10 : ←↑
- 11 : ↑
- 12 : ↑→
- ⏸ : 押し続けを解除する
- ◀ : ←
- ▶ : 押し続けを解除する
- ▶ : →
- ⏪ : ←↓
- : ↓
- ▶ : ↓→

(5) ダイヤル5面



- 学習リモコン3
- F-8 : 学習 1
  - F-1 : 学習 2
  - F-9 : 学習 3
  - F-2 : 学習 4
  - F-10 : 学習 5
  - F-3 : 学習 6
  - F-11 : 学習 7
  - F-4 : 学習 8
  - F-12 : 学習 9

(6) ダイヤル6面



注)リモコンをマニュアルで操作する場合は、操作ボタンを少し長めに押してください。

## 16.4 リモコン装置へのリモコンデータの登録方法

学習リモコン1～3にリモコンデータを登録する例として、学習リモコン1の学習1にリモコン式ラジオの電源ボタンを学習させる例を示します。

- (1) 裏面の電池ケース蓋を押し下げ、スイッチを **LEARN** (右側) にセットする。
- (2) ロータリーダイヤルを3にセットする。  
一旦ロータリーダイヤルをテレビのシールが見える位置まで回転させる。それからさらに左に2回転かす。
- (3) ラジオのリモコンと向かい合わせにクロッサム2+を置く。  
登録しようとするラジオリモコンとクロッサム2+を向かい合わせに約5cm離して置く。クロッサム2+の受光部は右側のパイロットランプ付近にあるので、ラジオのリモコンの発行部に合わせる。
- (4) ボタンを指定する。  
クロッサム2+の学習1のボタンを押すと、緑と赤のパイロット信号が点滅して、任意登録モードを示す。
- (5) リモコンから受信する。  
登録しようとするラジオのリモコンの **POWER** ボタンを、クロッサム2+のパイロットランプが完全に消えるまで押し続ける (音量等、ボタンの長押しにより動作するボタンでは、ボタンを押し続けると正常に動作しないことがあります。その際は、ボタンを短く押ししてください)。
- (6) 裏のスイッチを **USE** ポジションにセットする。  
(1) で **LEARN** (右側) にしたスイッチを **USE** (左側) に戻す。
- (7) 登録したボタンを確認する。  
クロッサム2+の学習1のボタンを押して、ラジオの電源が **ON/OFF** することを確認する。  
正常に登録されていない場合は、再度登録し直す ((1)～(6)を実行)。
- (8) クロッサム2+とパソコンを接続する。  
接続ケーブルを用いて、クロッサム2+とパソコンを接続する。「伝の心」で「学習リモコン1」の「学習1」を選択して、ラジオの電源が **ON/OFF** することを確認する。

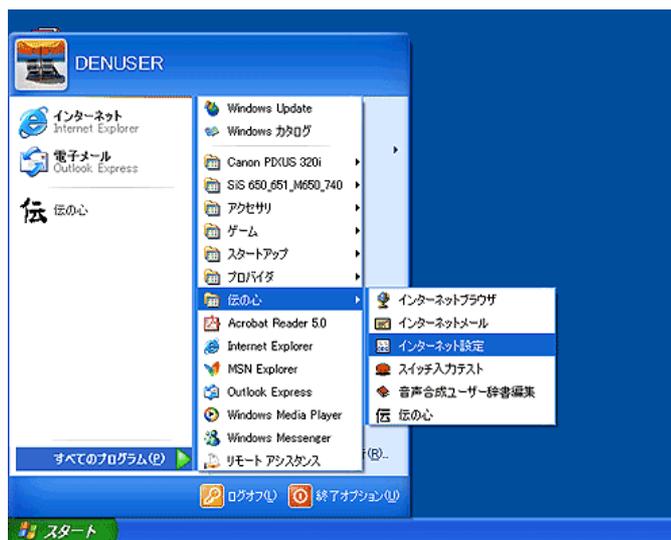
登録方法の詳細についてはクロッサム2+の取扱説明書13、14ページをご参照ください。

## 第 2 編 「電子メール・ホームページ閲覧」

# 1. はじめに

電子メールおよびホームページを利用するために、まず、最初に次の手順でインターネットの設定を行ないます。

- ① 「インターネット接続ウィザード」等を利用して、インターネットに接続可能な環境を構築します。
- ② 電子メールとホームページのインターネットの設定を行ないます。電子メールとホームページのインターネットの設定は、スタートメニューから「すべてのプログラム」→「伝の心」→「インターネット設定」の順に選択し設定を行ないます。



注1) 「ホームページ閲覧」機能を利用するためには、OSはWindows98SE、XP、インターネットエクスプローラー（以下IEと略します）は、バージョン5.5以降がインストールされていることが前提となります。

注2) 「ホームページ閲覧」で表示される文字サイズは、IEの文字サイズ、および設定ユーティリティー表示タブの設定に従いますので、IEの文字サイズを変更することにより表示文字サイズを変えることができます。また、IEのエンコードは「日本語（自動選択）」を選択します。

注3) 「ホームページ閲覧」で表示されるマウスポインタは、コントロールパネルの「マウス」で、サイズを変えることができます。

注4) IEのダイアルアップの設定は「ダイヤルしない」にします。

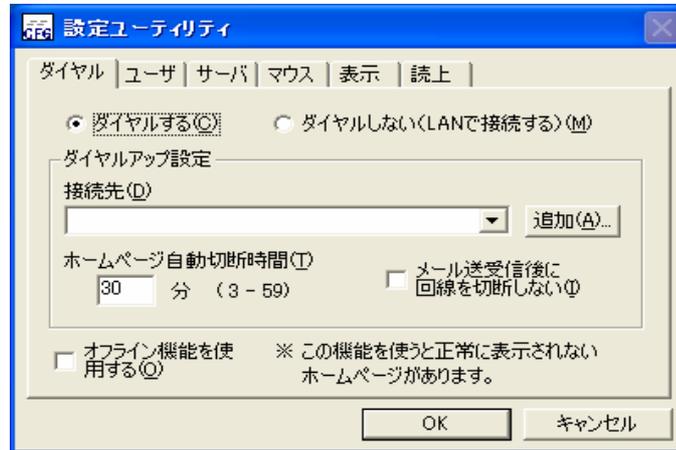
注5) MS-IMEの入力モードは「かな入力」モードに設定します（ローマ字入力の場合、正常に漢字入力できません）。

注6) ホームページによっては、閲覧できないページがあります。その場合は、第3編「ウィンドウズ操作」より、IEをご利用ください。また、ホームページによっては、音声出力するページもあるため、「ホームページ閲覧」では、スキャン音は出力されません。

## 1.1 インターネット設定

「インターネット設定」を実行すると「設定ユーティリティ」が起動します。ここで、「ダイヤル」、「ユーザ」、「サーバ」、「マウス」、「表示」および「読上」の各項目を設定します。

### ① 「ダイヤル」の設定



#### 【ダイヤル】

インターネット接続サービス業者（プロバイダ）へダイヤルして接続を行なう場合は、「ダイヤルする」を選択します。

ADSL 等で LAN 回線による接続を行う場合は、「ダイヤルしない(LAN で接続する)」を選択します。

#### 【接続先】

インターネットプロバイダへの接続先を選択します。本接続先には、ダイヤルアップネットワークフォルダ内に作成されたダイヤルアップ設定をリスト表示します。

#### 【追加】

新しい接続先を追加する場合に選択します。本ボタンを押下すると、「新しい接続」のウィザードが表示されますので、追加する接続先の情報を設定します。

#### 【自動切断時間】

画面表示操作をしなかった場合、自動的に回線切断を行なう時間を設定します（無通信時間監視を行ないます）。デフォルトは30分で、3分～59分まで設定できます。

#### 【メール送受信後に回線を切断しない】

チェックを入れると、ダイヤルアップ接続でメールの送受信後に回線を切断しません。回線の切断は、メールを終了したときに行います。

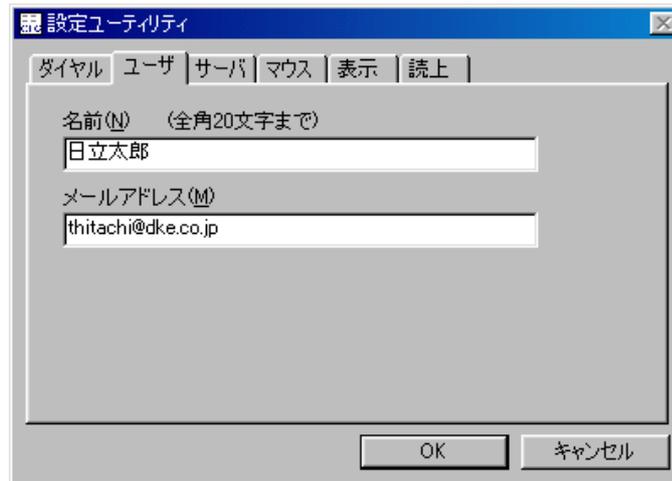
#### 【オフライン機能】

チェックを入れると、「ホームページ閲覧」の切替メニューに切断処理／接続処理のメニューを表示することが出来ます(27 ページ参照)。

#### ＜制限事項＞

「オフライン機能」を使用すると、「ホームページ閲覧」機能において、JavaScript 等を使用した一部のホームページは正しく閲覧できません。その際は、「ウィンドウズ操作」機能を使用して IE からご覧頂くか、「オフライン機能を使用する」のチェックを外して下さい。

② 「ユーザ」の設定



**[名前]**

メールヘッダの送信元として設定されるユーザ名を設定します。

**[メールアドレス]**

メールヘッダの送信元として設定されるメールアドレスを設定します。

③ 「サーバ」の設定



**[SMTP サーバ]**

メールの送信を行なう際に使用する SMTP サーバ名を設定します。

**[POP3 サーバ]**

メールの受信を行なっている POP3 サーバ名を設定します。

**[メールアドレス]**

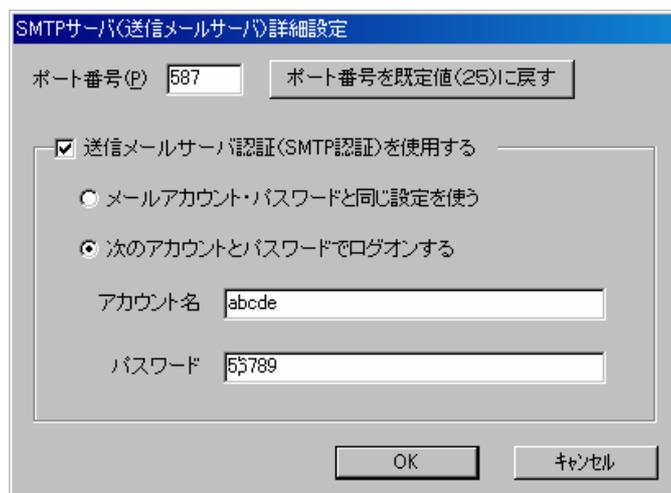
POP 3 サーバログオン時に使用するアカウント名を設定します。

**[メールパスワード]**

POP 3 サーバログオン時に使用するアカウント名に対応するパスワードを設定します。

**[詳細設定]**

SMTP サーバのポート番号の設定および SMTP サーバの認証の有無を設定します。



#### [ポート番号]

SMTP サーバのポート番号を設定します。通常は‘25’です。

#### [送信メールサーバ認証 (SMTP 認証) を使用する]

SMTP サーバの認証を行なう場合にチェックします。通常は使用しません。SMTP サーバの認証を行なう場合、アカウントとパスワードはメールと同じ設定値を使用するか、指定したアカウントとパスワードを使用するかを選択します。指定したアカウントとパスワードを使用する場合は、それぞれアカウントとパスワードを入力します。

### ④ 「マウス」の設定



#### [マウスカーソルが画面両端に達した時自動移動を停止する]

マウスカーソルが画面の端に達した時に、マウスカーソルを停止させる場合に設定します。

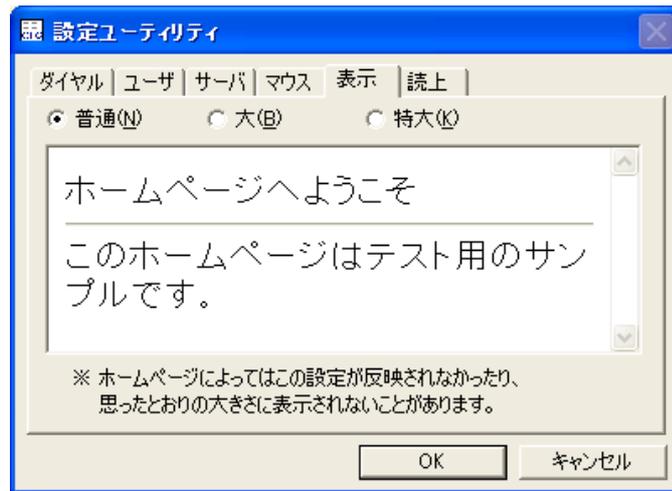
#### [自動移動をリンクの上で停止する]

リンクの上でマウスカーソルの自動移動を停止させる場合に設定します。

#### [移動速度]

マウスカーソルの移動速度を設定します。初期値は100ミリ秒です。10ミリ秒～1000ミリ秒まで設定できます。

⑤ 「表示」の設定



**[表示]**

ホームページ閲覧機能で表示する文字の大きさを選択します。ここでの設定は表示するホームページの構造によって反映されないことや、意図しない大きさで表示されることがあります。

⑥ 「読上」の設定



**[メール本文 読上げ中断 押下間隔]**

電子メールで、受信メールの読上げを中断するために2回連続でスイッチ入力を行う間隔を設定します。

**[電子メールのメニュー読上げ(一部)]**

電子メールで一部のメニューの読上げを行うか設定します。

**[マウスカーソル位置の読上げ]**

インターネット閲覧内で、マウスカーソルがある位置の文書の読上げを行うか設定します。

**[OK]**

ダイヤル、ユーザ、サーバ、マウス、表示および読上の設定を登録する場合は、本ボタンを押下します。

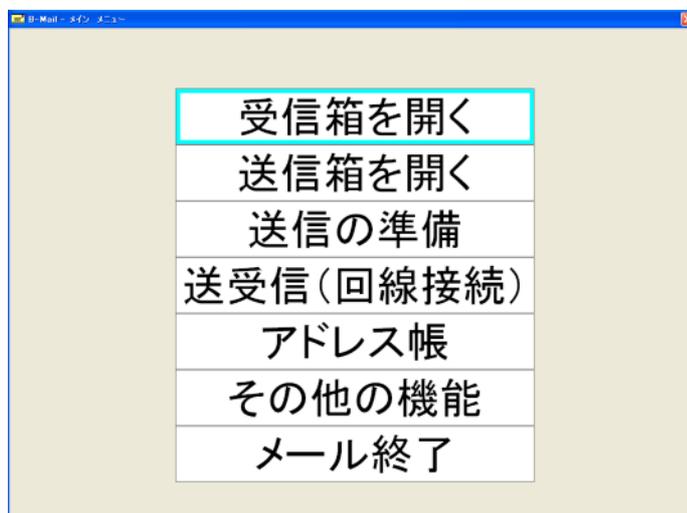
**[キャンセル]**

ダイヤル、ユーザ、サーバ、マウス、表示および読上の設定を無効にする場合は、キャンセルボタンを押下します。

## 2. 電子メール

### 2.1 メインメニュー

「伝の心」の「呼出し」メニューから「電子メール」を選択すると次のような電子メールのメインメニューが表示されます。そして、カーソルが上から下へ自動的に移動しますので、実行したいメニュー項目にカーソルが移動した時にスイッチを押下します。



#### [受信箱を開く]

受信箱を開いて、受信メールの一覧および内容を表示します。

#### [送信箱を開く]

送信箱を開いて、送信メールの一覧および内容を表示します。

#### [送信の準備]

「伝の心」で作成した文書「メールに格納した文書」に宛先を付け、送信箱へ送ります。

#### [送受信(回線接続)]

メールの受信および送信を行ないます。

#### [アドレス帳]

メールアドレスの編集を行ないます。

#### [その他の機能]

アドレス帳の読み込み、保存および出力メールの整理などを行ないます。

#### [メール終了]

電子メールを終了し、「伝の心」へ戻ります。

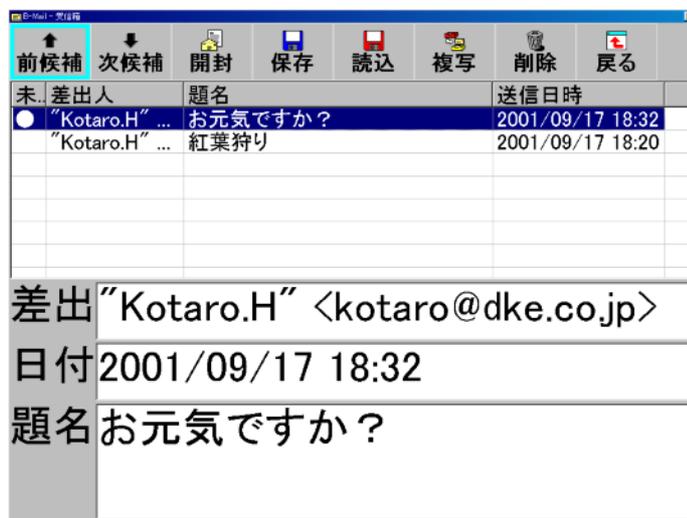
機種によってはパソコン本体に、フロッピーディスクドライブがない場合がございます。その場合、USBメモリ等の外部メモリをご用意いただくか、または、フロッピーディスクドライブを別途をご用意いただく必要がございます。

注)「伝の心」電子メール内でメールおよびアドレス帳の保存・読み込みを行う場合、USBメモリ等の外部メモリまたはフロッピーディスクドライブが必要です。

## 2.2 受信箱を開く

### ■ 受信箱

メインメニューで「受信箱を開く」を選択すると、受信メール一覧画面が表示されます。ここで、「前候補」、「次候補」で受信メールを選択後、「開封」を選択すると受信したメールの内容が表示されます。「開封」を実行すると画面の「未」（未開封）の項目覧の「●」が空欄になります。また、画面下には現在選択されている受信メールの差出人、日付および題名が拡大表示されます。



#### 【前候補】

選択カーソルがひとつずつ、前のメール（上方向）に移動します。スイッチを押下することにより移動が止まります。

#### 【次候補】

選択カーソルがひとつずつ、次のメール（下方向）に移動します。スイッチを押下することにより移動が止まります。

#### 【開封】

選択した受信メールを開いて、その内容を画面に表示します。

#### 【保存】

選択した受信メールをUSBメモリ等の外部メモリに保存します。USBメモリ等の外部メモリが接続されていない場合は、フロッピーディスクに保存します（外部メモリが複数接続されていた場合は最初に認識された外部メモリに保存します）。

#### 【読込】

USBメモリ等の外部メモリから保存していたメールを受信箱に取り込みます。USBメモリ等外部メモリが接続されていない場合は、フロッピーディスクから保存していたメール受信箱に取り込みます（外部メモリが複数接続されていた場合は最初に認識された外部メモリから取り込みます）。

#### 【複写】

選択した受信メールを「伝の心」の文書「メール」へ、差出人のアドレスをアドレス帳へ保存します。保存した受信メールは、返信メールを作成するときに利用できます。

#### 【削除】

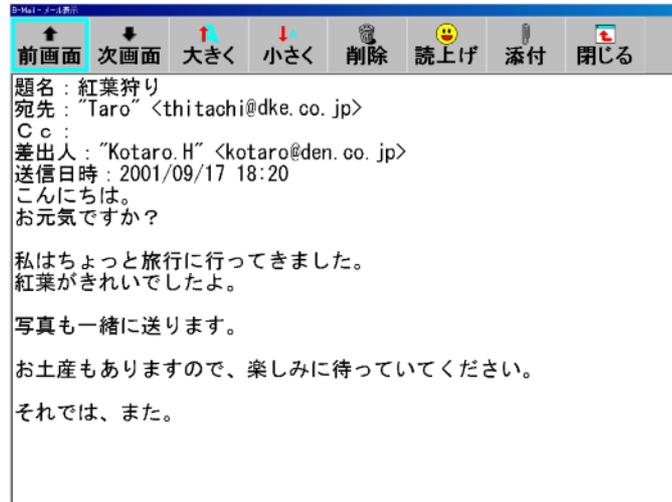
選択した受信メールを受信箱から削除し、ごみ箱へ移動します。

#### 【戻る】

メインメニューへ戻ります。

## ■ 開封

受信メール一覧画面で「開封」を選択すると、受信メールの内容が表示されます。ここで、カーソルが「前画面」、「次画面」に位置したときにスイッチを押下することにより、表示画面をスクロールすることができます。



### 【前画面】

前の画面を表示します。

### 【次画面】

次の画面を表示します。

### 【大きく】

画面の文字サイズを自動的に少しずつ大きくします。スイッチを押下すると停止します。なお、最大文字サイズ（64ポイント）に達した場合は、文字サイズの変更は自動的に停止します。

### 【小さく】

画面の文字サイズを自動的に少しずつ小さくします。スイッチを押下すると停止します。なお、最小文字サイズ（12ポイント）に達した場合は、文字サイズの変更は自動的に停止します。

### 【削除】

現在表示されているメールを受信箱から削除し、ごみ箱へ移動します。

### 【読上】

現在表示されているメールを音声合成で読み上げます。読み上げ中は、読み上げている箇所を白黒反転表示しています。読み上げ中スイッチを1回押下すると現在読み上げている文をスキップして次の文を読み上げ始めます。2回続けて押下すると、読み上げを中止します。

### 【添付】

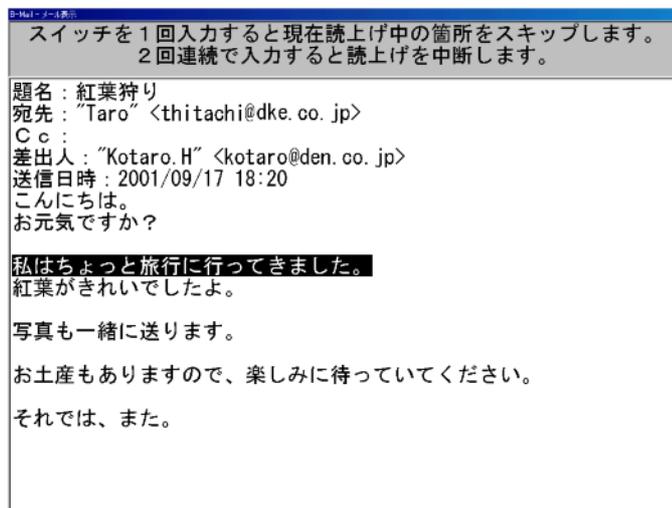
表示中のメールに添付されている画像を表示します。表示可能な添付ファイルは、拡張子が gif、bmp、jpg、jpe および jpeg ファイルです。

### 【閉じる】

表示を閉じて、「受信箱を開く」画面に戻ります。

## ■ 読上

メール表示画面で「読上」を選択すると、次のようにメール文書の読み上げ画面に切り替わります。



メールの文書読み上げ中に、スイッチを1回入力すると、現在読み上げている文（反転表示している文）の読み上げをスキップして次の文を読上げます。

スイッチを2回連続で入力すると、メール文書の読み上げを中断し、通常のメール表示画面に戻ります。読み上げ中断の2回連続スイッチ入力の間隔は、「設定ユーティリティ」-「読上げ」タブの「メール本文 読上げ中断 押下間隔」で設定を行います。詳しくは、90 ページの「読上」の設定を参照してください。

## ■添付

メール表示画面で「添付」を選択すると、次のように添付された画像が表示されます。添付画像が複数ある場合は、「次候補」、「前候補」ボタンを選択することにより他の画像を表示することができます。



### 【前候補】

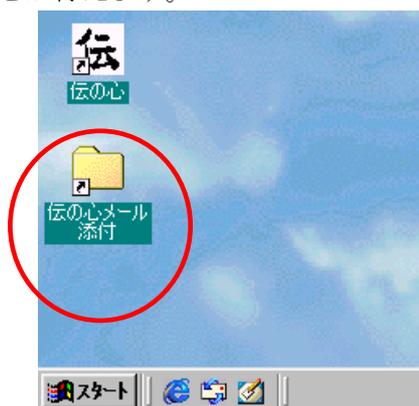
前の添付画像を表示します。

### 【次候補】

次の添付画像を表示します。

### 【保存】

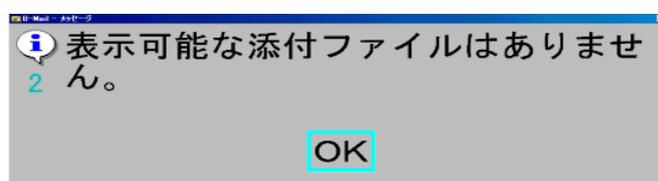
現在表示している画像を、マイドキュメント フォルダの「伝の心データ」⇒「メールボックス」⇒「添付」⇒「メールの題名」の中に保存します。また、デスクトップ上に「添付」フォルダのショートカット（「伝の心メール添付」）を作成しますので、“ウィンドウズ操作”機能で操作していただければ、ウィンドウズの機能を使用して、画像の印刷などが行えます。



### 【閉じる】

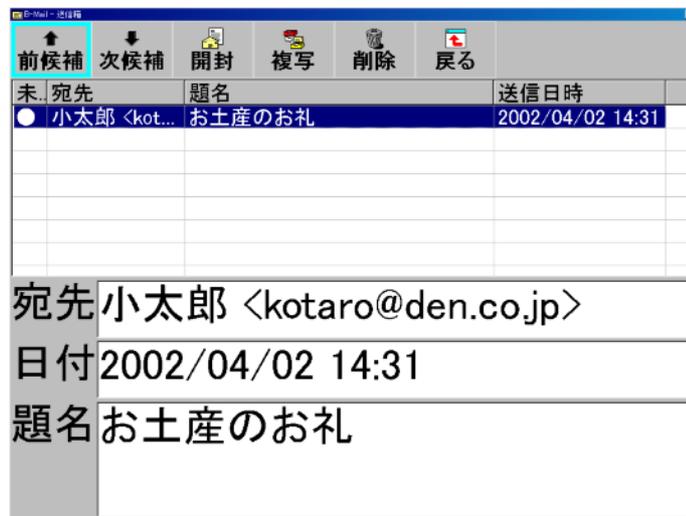
添付画像表示画面を閉じて、メール表示画面に戻ります。

また、添付画像が無いときに「添付」ボタンを選択した時は次のようなメッセージが表示されます。ここで、「OK」ボタンを選択すると、前の画面に戻ります。



## 2.3 送信箱を開く

メインメニューで「送信箱を開く」を選択すると、送信メール一覧画面が表示されます。ここで、「前候補」、「次候補」で、送信メールを選択後、「開封」ボタンを選択すると送信メールの内容が表示されます。画面の「未」（未送信）の項目覧の「●」は送信箱のメールが未送信であることを示し、送信を行なった場合は空欄になります。また、画面下には現在選択されている送信メールの宛先、日付および題名が拡大表示されます。



### 【前候補】

選択カーソルがひとつずつ、前メール（上方向）に移動します。スイッチを押下することにより移動が止まります。

### 【次候補】

選択カーソルがひとつずつ、次メール（下方向）に移動します。スイッチを押下することにより移動が止まります。

### 【開封】

選択した送信メールを開いて、その内容を画面に表示します。表示画面は受信箱の「開封」と同じです。

### 【複写】

選択した送信メールを「伝の心」の文書「メール」へ保存します。

### 【削除】

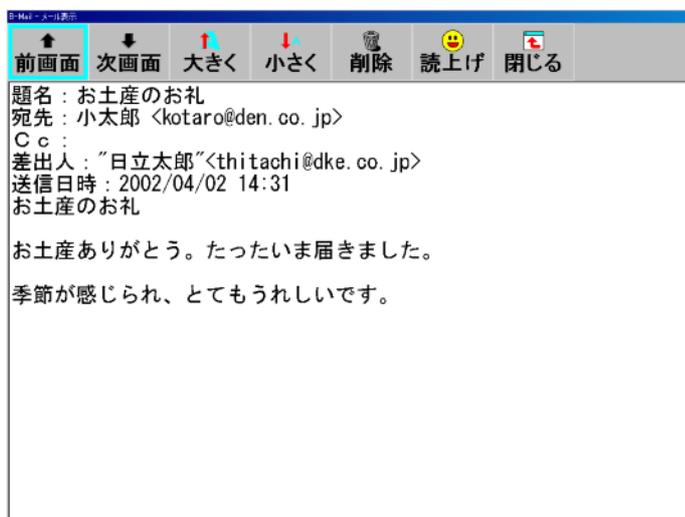
選択した送信メールを送信箱から削除し、ごみ箱へ移動します。

### 【戻る】

メインメニューへ戻ります。

## ■ 開封

送信メール一覧画面で「開封」を選択すると、送信メールの内容が表示されます。ここで、カーソルが「前画面」、「次画面」に位置したときにスイッチを押下することにより、表示画面をスクロールすることができます。



### 【前画面】

前の画面を表示します。

### 【次画面】

次の画面を表示します。

### 【大きく】

画面の文字サイズを自動的に少しずつ大きくします。スイッチを押下すると停止します。なお、最大文字サイズ（64ポイント）に達した場合は、文字サイズの変更は自動的に停止します。

### 【小さく】

画面の文字サイズを自動的に少しずつ小さくします。スイッチを押下すると停止します。なお、最小文字サイズ（12ポイント）に達した場合は、文字サイズの変更は自動的に停止します。

### 【読上】

現在表示されているメールを音声合成で読み上げます。読み上げ中は、読み上げている箇所を白黒反転表示しています。読み上げ中スイッチを1回押下すると現在読み上げている箇所をスキップして次の箇所を読み上げ始めます。2回続けて押下すると、読み上げを中止します。

### 【削除】

現在表示されているメールを送信箱から削除し、ごみ箱へ移動します。

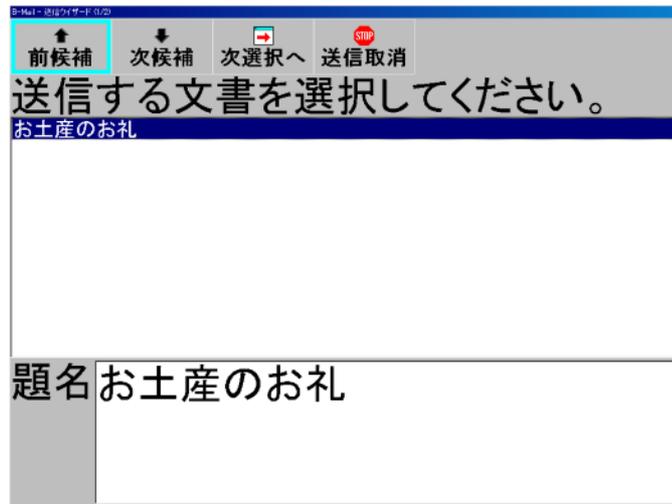
### 【閉じる】

表示を閉じて、「送信箱を開く」画面に戻ります。

## 2.4 送信の準備

### ■ 送信メール選択

メインメニューで「送信の準備」を選択すると、送信する文書一覧が表示されます。ここで、「前候補」、「次候補」ボタンで、送信するメールを選択後、「次選択」で宛先を選択します。なお、本画面には、「伝の心」で作成した文書（「メール」へ保存した文書）の先頭行が題名として一覧表示されます。この題名は、先頭行の先頭より最大100文字までが題名として表示されます。また、画面下には現在選択されている送信文書の題名が拡大表示されます。



#### 【前候補】

選択カーソルがひとつずつ前の文書（上方向）へ移動します。スイッチを押下することにより移動が止まります。

#### 【次候補】

選択カーソルがひとつずつ次の文書（下方向）へ移動します。スイッチを押下することにより移動が止まります。

#### 【次選択】

送信する文書の宛先を選択する画面に移ります。

#### 【送信取消】

送信メール作成を中止し、メインメニューへ戻ります。

## ■ 宛先選択

送信メール選択画面で、「次選択」を選択すると次のような宛先選択画面が表示されます。ここで、「前候補」、「次候補」ボタンで、送信メールの宛先を選択します。宛先一覧には、アドレス帳ファイルに登録されているメールの宛先一覧が、氏名の読みの文字コード順に並び変えられて表示されます。また、画面下には現在選択されている宛先の名前とメールアドレスが拡大表示されます。

### 【前候補】

選択カーソルがひとつずつ前の宛先（上方向）へ移動します。スイッチを押すことにより移動が止まります。

### 【次候補】

選択カーソルがひとつずつ次の宛先（下方向）へ移動します。スイッチ押下により移動が止まります。

### 【選択切替】

宛先の選択と非選択を切替えます。そして、送信先として選択されている場合は、左側にあるチェックボックスがチェック状態となります。

### 【前選択へ】

送信メールの選択画面へ戻ります。

### 【送信箱へ】

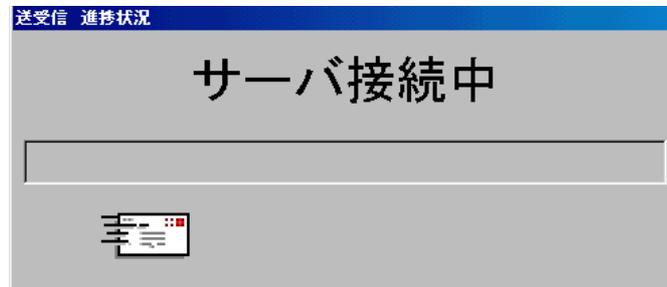
送信メールに宛先を付けて、送信箱に入れます。

### 【送信取消】

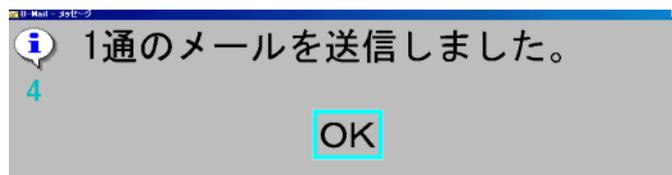
送信メール作成を中止し、メインメニューへ戻ります。

## 2.5 送受信(回線接続)

メインメニューで「送受信 (回線接続)」を選択すると、メールサーバに接続し、自分宛のメールを受信し受信箱に格納した後、送信箱にあるメールの送信を行います。メールサーバに接続中は次のような画面が表示されます。



また、メールの受信と送信終了後、次のような画面が表示されます。ここで、OKボタンを選択するとメインメニューに戻ります。



## 2.6 アドレス帳の編集

### ■ アドレス帳編集

メインメニューで「アドレス帳」を選択すると、次のようなアドレス帳編集画面が表示されます。ここで、アドレス帳の新規作成と変更を行ないます。「前候補」、「次候補」ボタンでアドレスを選択後、「名前」、「読み」および「メール」の各ボタンを選択し変更を行ないます。新規にアドレスを作成する場合は、「新規」ボタンでアドレスエントリを作成した後、変更と同様に「名前」、「読み」および「メール」ボタンを選択し、新規アドレスを作成します。



#### 【前候補】

選択カーソルがひとつずつ、前の宛先（上方向）に移動します。スイッチを押下することにより移動が止まります。

#### 【次候補】

選択カーソルがひとつずつ、次の宛先（下方向）に移動します。スイッチを押下することにより移動が止まります。

#### 【名前】

宛先の名前を入力します。本メニュー項目を選択すると名前を入力するための漢字変換可能なキーボード画面が表示されます。このキーボードで名前を入力します。入力可能な文字数は漢字で最大20文字までです。

#### 【読み】

宛先の名前の読みを入力します。本メニュー項目を選択すると読みを入力するためのキーボード画面が表示されます。このキーボードで読みを入力します。

#### 【メール】

宛先のメールアドレスを入力します。本メニュー項目を選択するとアドレスを入力するためのキーボード画面が表示されます。このキーボードでメールアドレスを入力します。

#### 【新規】

新規アドレスエントリ（内容が空の新規宛先）を作成します。この後、「名前」、「読み」および「メール」ボタンを選択し、新規アドレスを作成します。

#### 【削除】

選択した宛先をアドレス帳から削除します。本ボタンを選択した場合は、削除確認の画面が表示されます。ここで、肯定応答した場合に削除が実行されます。

## 【戻る】

メインメニュー画面に戻ります。アドレスの新規作成、変更を行なった場合はアドレス帳更新の確認画面が表示されます。ここで、肯定応答した場合、アドレス帳が更新されます。

## ■ 「名前」の入力

「名前」のボタンを選択すると次のような名前を入力するキーボード画面が表示されます。ここで、自動的にカーソルが移動しますので、入力したい文字上にカーソルがきた時にスイッチを押します。カーソルは最初、列単位で横方向に移動しますが、スイッチを押すことにより1文字単位で縦方向に移動します。



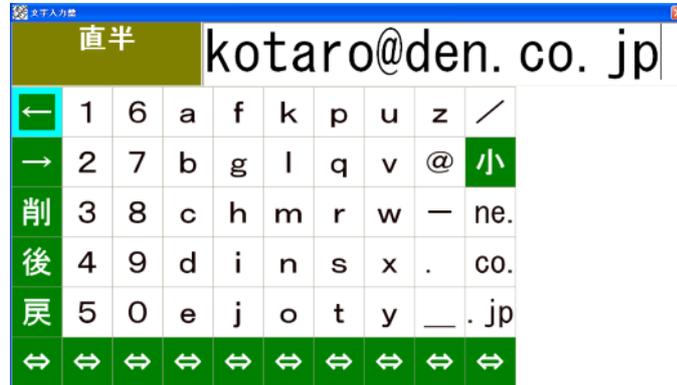
## ■ 「読み」の入力

「読み」のボタンを選択すると次のような読みを入力するキーボード画面が表示されます。ここで、自動的にカーソルが移動しますので、入力したい文字上にカーソルがきた時にスイッチを押します。カーソルは最初、列単位で横方向に移動しますが、スイッチを押すことにより1文字単位で縦方向に移動します。



## ■ 「メール」アドレスの入力

「メール」のボタンを選択すると次のようなメールアドレスを入力するキーボード画面が表示されます。ここで、自動的にカーソルが移動しますので、入力したい文字上にカーソルがきた時にスイッチを押します。カーソルは最初、列単位で横方向に移動しますが、スイッチを押すことにより1文字単位で縦方向に移動します。



## ■ 文字盤表示キーの機能

文字盤に表示されている文字の機能は次の通りです。

文字盤表示	機 能
盤	文字盤を切り替えるメニューを表示します。
貼	クリップボードにコピーされた文字列を貼付けます。
写	選択した文字列をクリップボードにコピーします。
戻	文字盤を閉じて元の画面に戻ります。
⇄	カーソルの移動方向の切り替えを行ないます。
漢	「変換」キー処理を行ないます。
←	「←」処理を行ないます。
→	「→」キー処理を行ないます。
↑	「↑」キー処理を行ないます。
《	「Shift」キー+「←」キー処理を行ないます。
》	「Shift」キー+「→」キー処理を行ないます。
決	「Enter」キー処理を行ないます。
取	「Esc」キー処理を行ないます。
削	「削除」キー処理を行ないます。
後	「Back Space」キー処理を行ないます。
空	空白を入力します。
小	文字盤のアルファベットを大文字（A～Z）または小文字（a～z）に切り替えま す。大文字に切り替わった場合、本ボタンの表示は「大」になります。
ne.	「. ne. jp」が入力されます
co.	「. co. jp」が入力されます。
. jp	「. jp」が入力されます。

## ■ 「新規」宛先作成

「新規」ボタンを選択すると次の画面のように、名前、読みおよびメールアドレスの入力されていない空の宛先が入力されますので、この後、「名前」、「読み」および「メール」ボタンを選択し、名前と読みとメールアドレスを入力します。

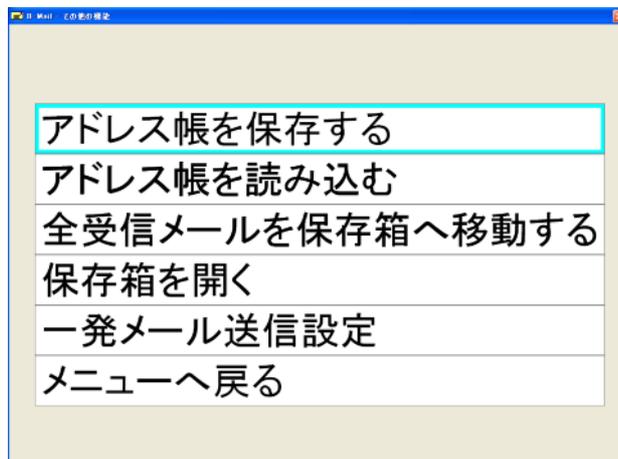
新規アドレス	
日立小太郎	kotaro@den.co.jp きたろう
日立太郎	t.hitachi@den.co.jp ひたちたろう
日立桃子	momo.hitachi@den.co.jp ひたちももこ

名前	<input type="text"/>
読み	<input type="text"/>
メール	<input type="text"/>

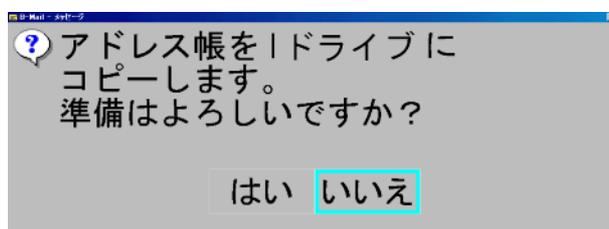
## 2.7 その他の機能

メインメニューで「その他の機能」を選択すると、次のような画面が表示されます。ここで、各機能を選択します。



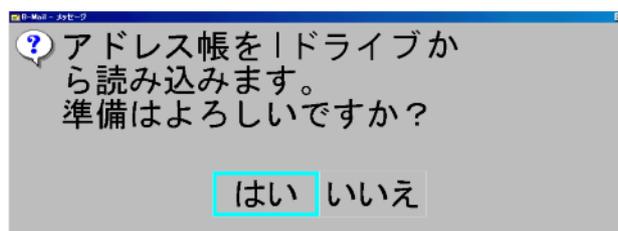
### ■ アドレス帳を保存する

アドレス帳を USB メモリ等の外部メモリに「ADDRBAK.CSV」という名前でバックアップします。本メニュー項目を選択すると次のような画面が表示されます。ここで、「はい」を選択するとアドレス帳を USB メモリ等の外部メモリ（複数の外部メモリが接続されていた場合は、最初に見つけた外部メモリへバックアップします。下記画面はアドレス帳が I ドライブにバックアップする場合の画面です。）へバックアップします。USB メモリ等の外部メモリが接続されていない場合は、フロッピーディスクにバックアップします。



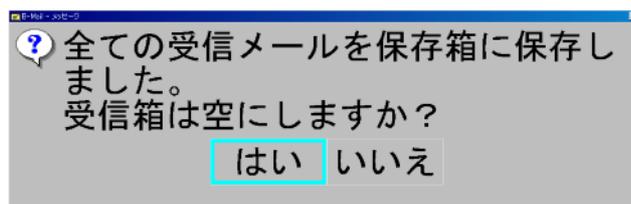
### ■ アドレス帳を読み込む

USB メモリ等の外部メモリにバックアップされているアドレス帳を読み込みます。既に、メールに読み込まれているアドレス帳は上書きされます。本メニューを選択すると次のような画面が表示されます。ここで、「はい」を選択すると USB メモリ等の外部メモリ（複数の外部メモリが接続されていた場合は、最初に見つけた外部メモリからアドレス帳が読み込まれます。下記画面は I ドライブにバックアップされているアドレス帳が読み込まれる場合の画面です）からアドレス帳が読み込まれます。USB メモリ等の外部メモリが接続されていない場合は、フロッピーディスクにバックアップされているからアドレス帳が読み込まれます。



全受信メールを保存箱へ移動する

受信箱にあるメールをすべて保存箱にコピーします。コピーが完了すると、削除確認のための画面が表示されます。ここで、「はい」を選択すると受信箱内のメールがすべて削除されます。



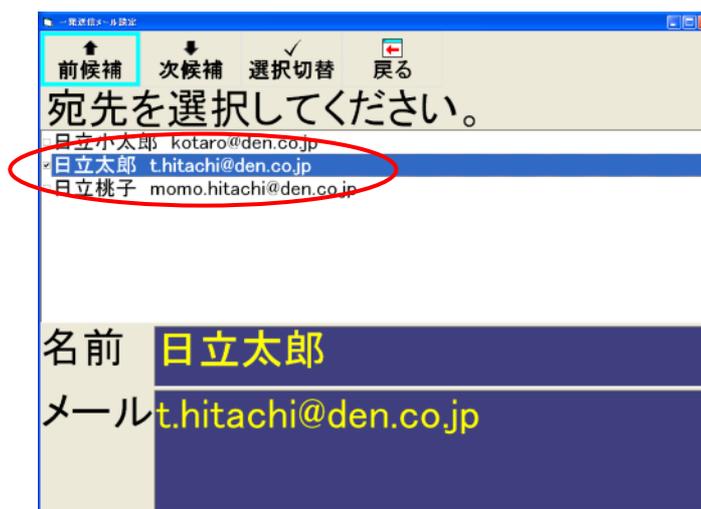
## ■ 保存箱を開く

保存箱を開いて、保存されている受信メールの一覧を表示します。操作は受信メール一覧と同様です。詳しい操作方法などは、「2. 2 受信箱を開く」を参照してください。

## ■ 一発メール送信設定

「一発メール送信設定」を選択すると次のような宛先選択画面が表示されます。ここで、「前候補」、「次候補」ボタンで、メール送信の宛先を選択します。宛先一覧には、アドレス帳ファイルに登録されているメールの宛先一覧が、氏名の読みの文字コード順に並び変えられて表示されています。また、画面下には現在選択されている宛先の名前とメールアドレスが拡大表示されます。

一発メール送信の宛先が設定されている場合は、設定画面を表示した際に、設定された宛先の項目にチェックが表示されます。(下図は、“日立太郎”が設定されている場合です。)



### 【前候補】

選択カーソルがひとつずつ、前の宛先（上方向）に移動します。スイッチを押下することにより移動が止まります。

### 【次候補】

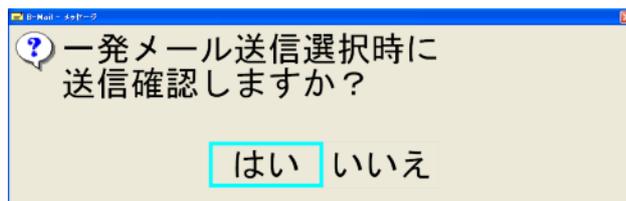
選択カーソルがひとつずつ、次の宛先（下方向）に移動します。スイッチを押下することにより移動が止まります。

### 【選択切替】

宛先の選択と非選択を切替えます。そして、送信先として選択されている場合は、左側にあるチェックボックスがチェック状態となります。設定できる宛先は、一件のみです。現在選択されている項目以外の宛先を選択した場合、新たに選択した項目がチェック状態になります。

### 【戻る】

メインメニュー画面に戻ります。宛先設定を行なった場合は、一発メール送信時の送信確認の有無設定画面が表示されます。ここで、「はい」を選択すると、一発メール送信の際に、確認メッセージが表示されます。



## ■ メニューへ戻る

メインメニューへ戻ります。

## 2.8 電子メールの送受信手順

電子メールの送信および受信の操作手順の概略を下記に示します。

### ■ 送信操作手順

- ① 「伝の心」で文書を作成し、文書保存で「メール」へ文書を保存する。
- ② メールメインメニュー画面の「アドレス帳」を選択し、送信先の電子メールアドレスを登録する。
- ③ メールメインメニュー画面の「送信の準備」を選択し、送信する文書を選択した後、「次選択」ボタンを押下し、送信する宛先を選択する。
- ④ メールメインメニュー画面の「送信箱を開く」を選択し、「送信の準備」で作成した送信メールが画面に表示され、画面の「未」（未送信）の項目覧に「●」が表示されていることを確認します。
- ⑤ メールメインメニュー画面の「送受信（回線接続）」を選択し、メールを送信します。そして、送信終了後に表示されるガイダンスでメールが送信されたことを確認します。

### ■ 受信操作手順

- ① メールメインメニュー画面の「送受信（回線接続）」を選択し、メールを受信します。そして、受信終了後に表示されるガイダンスで受信メールの有無を確認します。
- ② メールメインメニュー画面の「受信箱を開く」を選択した後、「開封」で受信したメールの内容を画面に表示します。

## 2.9 送受信データ形式

電子メールの送信データ形式および受信データ形式を次に示します。

### ■ 送信データ形式

- ① メッセージ形式 : MIME 形式
- ② メールヘッダ部
  - キャラクタセット : ISO-2022-JP
  - エンコードタイプ : BASE64
- ③ メール本文部
  - 形式 : text / plain
  - キャラクタセット : ISO-2022-JP
  - エンコードタイプ : 7 bits

### ■ 受信データ形式

- ① メッセージ形式 : MIME 形式
- ② メールヘッダ部
  - キャラクタセット : ISO-2022-JP, Shift-JIS
  - エンコードタイプ : BASE64 or 7 bits
- ③ メール本文部
  - 形式 : text / plain
  - キャラクタセット : ISO-2022-JP, Shift-JIS
  - エンコードタイプ : BASE64 or 7 bits
- ④ 添付ファイル部
  - 形式 : image / gif, image / bmp, image / jpeg  
上記以外の形式も受け付けるが、その場合は、ファイル名の拡張子部分が gif, bmp, jpe, jpg, jpeg のいずれかである必要がある。
  - エンコードタイプ : BASE64

## 3. ホームページ閲覧

### 3.1 起動画面

「伝の心」の「呼出し」メニューで「ホームページ」を選択すると次のような画面が表示されます。ここで、インターネット接続業者（プロバイダ）への回線の接続が始まります。回線が接続されずインターネットエクスプローラで設定されているホームページが表示されます。なお、回線の接続を中止する場合は、スイッチを押下してください。



## 3.2 よく使う機能

回線が接続されると「よく使う機能」の画面が表示され、ホームページの内容が表示されます。ここで、各機能のボタンを選択し、ホームページを閲覧することができます。



### 【切替】

機能の切替メニューを表示します。

### 【頁下】

頁の最後を表示します。頁により、機能しない場合（最後を表示しない）があります。

### 【頁上】

頁の先頭を表示します。頁により、機能しない場合（先頭を表示しない）があります。

### 【次項】

順次、画面下方向のリンク先へカーソルが移動します。

### 【前項】

順次、画面上方向のリンク先へカーソルが移動します。

### 【次文】

直後の頁を表示します。次に表示した頁がなければ表示は変わりません。

### 【前文】

直前の頁を表示します。前に表示した頁がなければ表示は変わりません。

### 【決定】

現在カーソルのあるリンク先へ移動し、その頁を表示します。

### 【アクセスマーク】

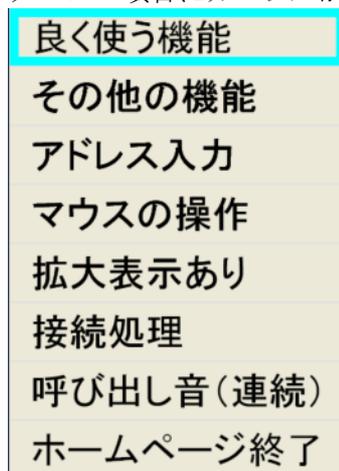
インターネットへアクセスした時に点滅します。

#### ＜「次項」、「前項」をご利用の際の注意＞

Macromedia Flash Player をインストールしている場合、ページのリンク項目によっては、「次項」と「前項」がそこで止まってしまい、機能しないことがあります。そのときは、一度マウス操作で別の領域をクリックした後、「次項」または「前項」を選択してください。また、ページによっては、リンク項目の移動する順番が左上からとならない場合もあります。

## ■ 切替

「よく使う機能」で「切替」を選択すると次のような機能の切り替えメニュー画面が表示されます。ここで、実行したいメニュー項目にカーソルが移動したときにスイッチを押下します。



### [よく使う機能]

リンク先への移動、頁アップ、頁ダウンなどのよく使われる機能の画面に移ります。

### [その他の機能]

検索、更新、お気に入りへの追加などの機能の画面に移ります。

### [アドレス入力]

アドレス (URL) 入力の画面に移ります。

### [マウスの操作]

マウス操作の画面に移ります。

### [拡大表示あり／拡大表示なし]

画面下に拡大表示エリアを表示させることができます。拡大表示エリアは、マウスポインターの位置する周辺領域を拡大表示します。下図で「+」がマウスポインターの現在の位置です。

(下記は、「拡大表示あり」の場合です。)



拡大表示エリア

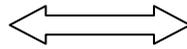
### **【切断処理／接続処理】**

インターネットへの回線を接続したり、切断したりします。なお、この機能は「インターネット設定」で「オフライン機能を使用する」にチェックを入れたときのみ使用できます。

表示が「接続処理」の場合は回線が接続されておらず、プロバイダや電話回線の回線接続料がかかりませんが、今まで表示したことがある画面しか表示できなくなります。回線の接続状態はメニューのほかに、マウスカーソル位置に表示されている状態表示でもわかります。



回線接続状態



回線切断状態

### **【呼び出し音（連続）】**

ブザー音を鳴らします。

### **【ホームページ終了】**

ホームページ閲覧を終了し、「伝の心」へ戻ります。

### 3.3 その他の機能

「切替」メニュー画面で、「その他の機能」を選択すると次のような画面が表示されます。ここで、スキャンカーソルが左から右へ移動しますので、実行したい項目にスキャンカーソルが移動した時にスイッチを押します。



#### 【切替】

機能の切替メニューを表示します。

#### 【中止】

新しいページの読み込み処理を中止します。

#### 【更新】

現在表示されているページの画面表示を更新します。

#### 【先頭】

インターネットエクスプローラの「インターネットのプロパティ」の全般タブで設定されているアドレスが表示されます。デフォルトは <http://www.hke.co.jp> が設定されています。

#### 【検索】

検索エンジン Yahoo! (<http://www.yahoo.co.jp>) へ移動し、検索を行うことができます。

#### 【一覧】

お気に入りリストからページを選択します。

#### 【追加】

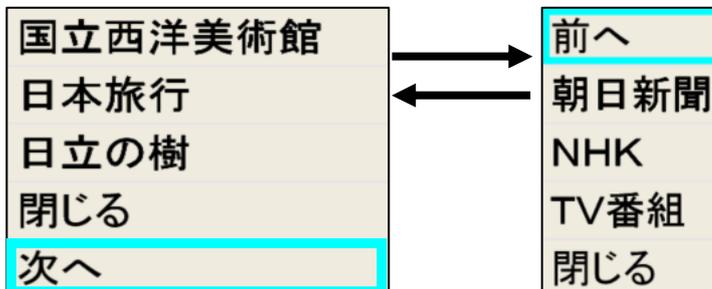
お気に入りリストに現在のページを追加します。最大30件までのページを登録することができます。

#### 【削除】

お気に入りリストから選択したページを削除します。

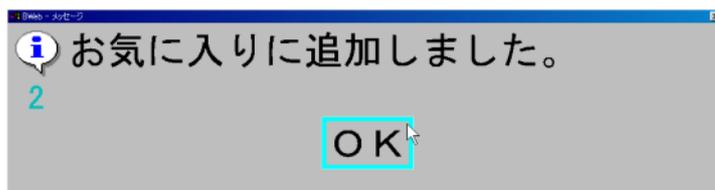
## ■ 一覧

「その他の機能」の画面で「一覧」を選択すると、お気に入りリストに登録されているページが表示されます。ここで、表示させたいページにスクアンカーソルが移動した時にスイッチを押すとそのページを画面に表示させることができます。一度に表示されるお気に入りリストは10件です。それ以上登録したときは、「次へ」「前へ」のメニューで、前後のリストを表示することができます。



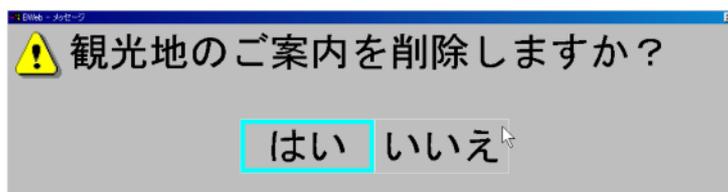
## ■ 追加

「その他の機能」の画面で「追加」を選択すると、次の画面が表示され、現在表示されているページがお気に入りリストに追加されます。最大30件まで登録することができます。



## ■ 削除

「その他の機能」の画面で「削除」を選択すると、お気に入りリストが表示されます。ここで、削除したい項目にスクアンカーソルが移動したときにスイッチを押します。すると次のような画面が表示されます。ここで、「はい」を選択した場合は、お気に入りリストから選択したページが削除され、「いいえ」を選択すると削除処理はキャンセルされます。



### 3.4 アドレス入力

「切替」メニュー画面で、「アドレス入力」を選択すると、ページのアドレスを入力するためのキーボード画面が表示されます。ここで、自動的にカーソルが移動しますので、入力したい文字上にカーソルが移動したときにスイッチを押します。カーソルは最初、左から右へ横方向に移動しますが、スイッチを押すことにより縦方向に移動し、入力したい文字を選択することができます。アドレスの入力終了後は、**戻** ボタンを押下することによりページが表示されます。



#### ■ 文字盤表示キーの機能

文字盤に表示されている文字の機能は次の通りです。本文字盤は、アドレス（URL）編集専用の文字盤で、アドレス入力で使用するキャラクタとカーソル移動、削除および後退の編集キーで構成されます。そして、入力できる文字は半角のみです。

文字盤表示	機能
URL 1	英字小文字の文字盤に切り替えます。
URL 2	英字大文字と数字の文字盤に切り替えます。
貼	クリップボードにコピーされた文字列を貼り付けます。
戻	文字盤を閉じて元の画面に戻ります。
⇄	カーソルの移動方向の切り替えを行ないます。
←	「←」処理を行ないます。
→	「→」処理を行ないます。
削	「削除」キー処理を行ないます。
後	「Back Space」キー処理を行ないます。
登	入力したアドレスとお気に入りに登録します。
. j p	「. j p」が入力されます。
h t t p	「h t t p : / /」が入力されます。
w w w .	「w w w .」が入力されます。
. c o .	「. c o . j p」が入力されます。
. n e .	「. n e . j p」が入力されます。
. c o m	「. c o m」が入力されます。

### 3.5 マウスの操作

「切替」メニュー画面で、「マウス操作」を選択すると次のような画面が表示されます。ここで、各ボタンを選択することによりマウスカーソルを移動させることができます。



#### 【切替】

切替メニューを表示します。

#### 【頁下】

頁の最後を表示します。頁により、機能しない場合（最後を表示しない）があります。

#### 【頁上】

頁の先頭を表示します。頁により、機能しない場合（先頭を表示しない）があります。

#### 【巡回】

マウスカーソルが右廻りで画面を移動します。

#### 【上へ】

現在のマウスカーソルの位置からマウスカーソルを上方向に移動します。

#### 【下へ】

現在のマウスカーソルの位置からマウスカーソルを下方向に移動します。

#### 【左へ】

現在のマウスカーソルの位置からマウスカーソルを左方向へ移動します。

#### 【右へ】

現在のマウスカーソルの位置からマウスカーソルを右方向へ移動します。

#### 【決定】

マウスカーソルの位置にあるリンクページを選択し、そのページを表示します。

#### 【文字】

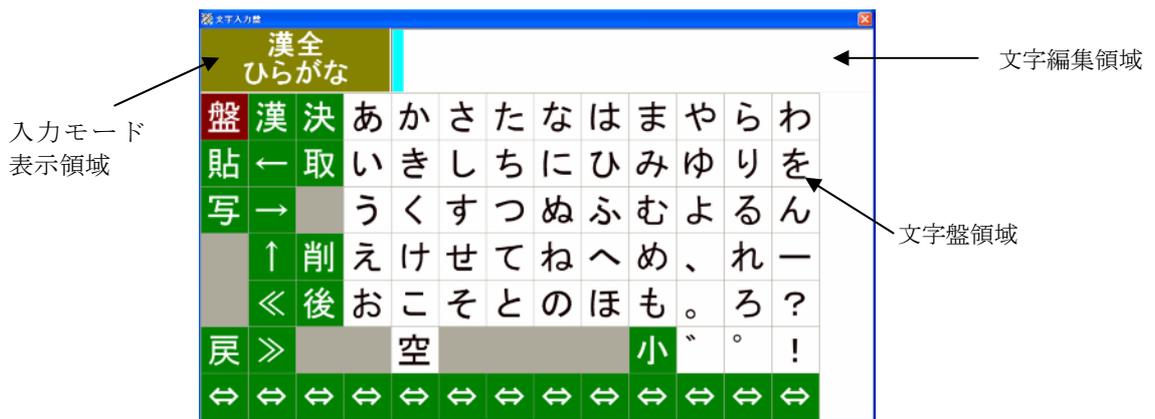
キーボード画面が表示され文字入力を行うことができます。

## ■ 選択

マウス操作画面でマウスカーソルを「上へ」、「下へ」、「右へ」、「左へ」および「巡回」でマウスカーソルを表示させたいページの項目へ移動させた後、「決定」ボタンを押下するとその選択したページが表示されます。

## ■ 文字

マウス操作画面で「文字」を選択すると、次のようなキーボード画面が表示されます。ここで、自動的にカーソルが移動しますので、入力したい文字上にカーソルがきた時にスイッチを押します。カーソルは最初、列単位で横方向に移動しますが、スイッチを押すことにより1文字単位で縦方向に移動します。本機能は検索等で、文字入力を行なう場合に使用します。



## ■ 文字盤表示キーの機能

文字盤に表示されている文字の機能は次の通りです。

文字盤表示	機 能
盤	文字盤を切り替えるメニューを表示します。
貼	クリップボードにコピーされた文字列を貼付けます。
写	選択した文字列をクリップボードにコピーします。
戻	文字盤を閉じて元の画面に戻ります。
⇐	カーソルの移動方向の切り替えを行ないます。
漢	「変換」キー処理を行ないます。
←	「←」キー処理を行ないます。
→	「→」キー処理を行ないます。
↑	「↑」キー処理を行ないます。
《	「Shift」キー+「←」キー処理を行ないます。
》	「Shift」キー+「→」キー処理を行ないます。
決	「Enter」キー処理を行ないます。
取	「Esc」キー処理を行ないます。
削	「削除」キー処理を行ないます。
後	「BackSpace」キー処理を行ないます。
空	空白を入力します。
小	小文字入力モードになります。

※ 文字盤を複数切り替えて使用する場合、正しく文字が表示されない場合があります。その時は一度[戻]ボタンでキーボード画面を閉じて、再度キーボード画面を開き、使用したい文字盤を選択してください。

## ■ 巡回

マウス操作画面で「巡回」を選択すると、マウスカーソルが画面中央部分で右回りに順次移動します。ここで、マウスを移動させたい位置の近傍でスイッチを押下するとマウスカーソルの移動が止まり、目的の位置へ速やかにマウスカーソルを移動させることができます。



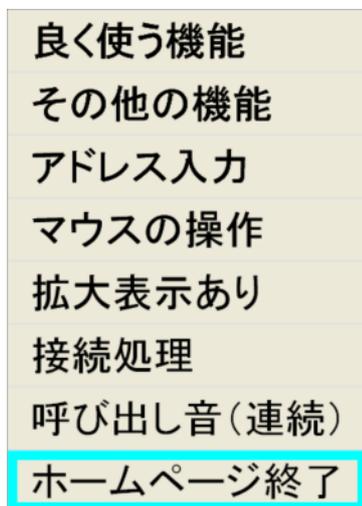
### 3.6 呼び出し音(連続)

「切替」メニュー画面で「呼び出し音(連続)」を選択すると次のメニューが表示され、呼び出し音が鳴り出します。呼び出し音を停止するには、次のメニューで「音を止める」を選択してください。

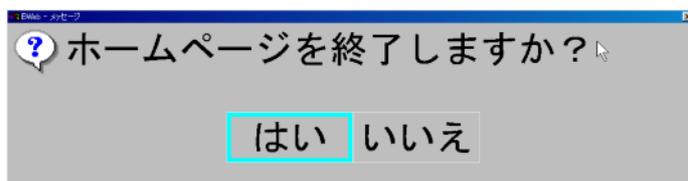
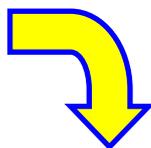


### 3.7 ホームページの終了

「切替」メニュー画面で、「ホームページ終了」を選択するとホームページの閲覧を終了するか確認する画面が表示されます。この画面で「はい」を選択すると、回線が切断され「伝の心」へ戻ります。



「ホームページ終了」を選択すると、ホームページを終了するか確認する画面が表示されます。

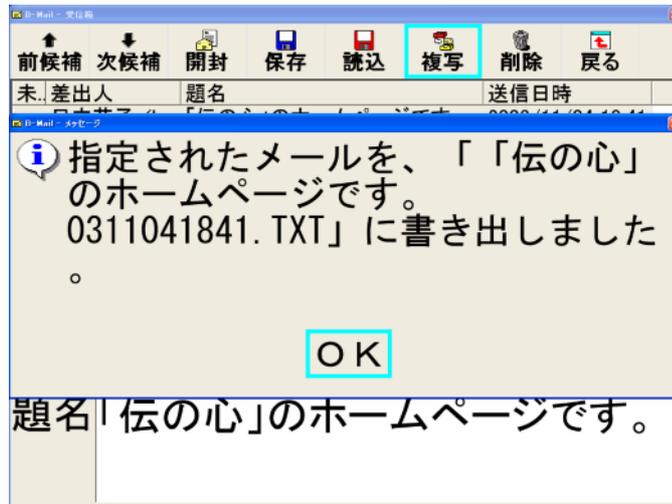


# 付録 1:コピー(複写)、貼付け機能の応用

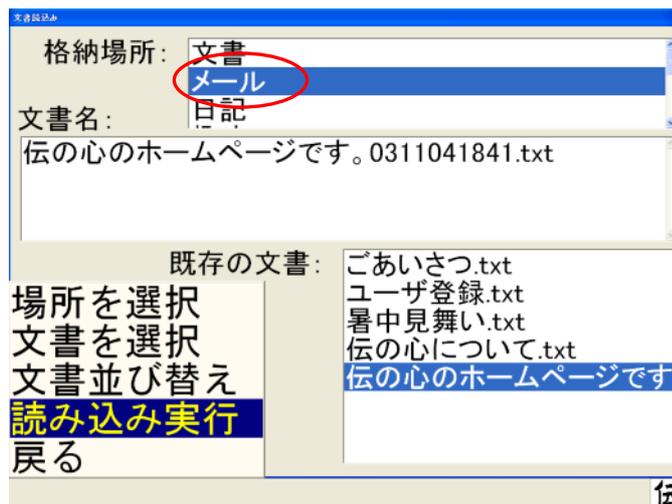
電子メール機能で受信したメールに記載されている、ホームページの URL やメールアドレス等は、以下のように文書編集機能を介することで、ホームページ閲覧機能等に使用することができます。

〈電子メールに記載されている URL をホームページ閲覧機能で開くには〉

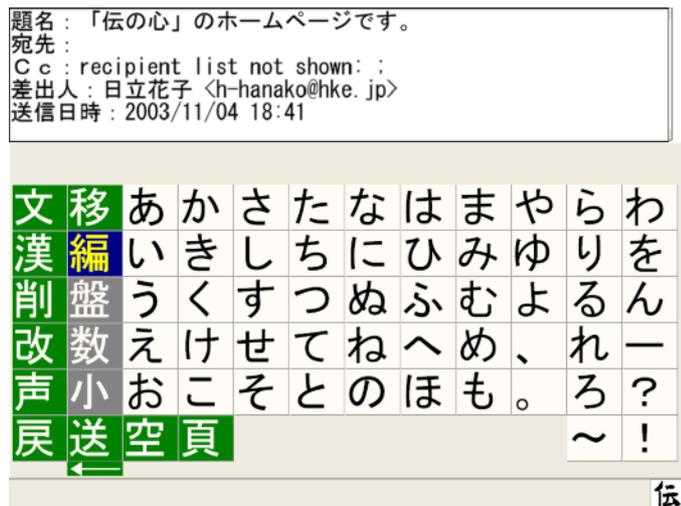
- (1)電子メールを起動し、「受信箱を開く」を選択します。
- (2)メールを選択し、「複写」を実行します。



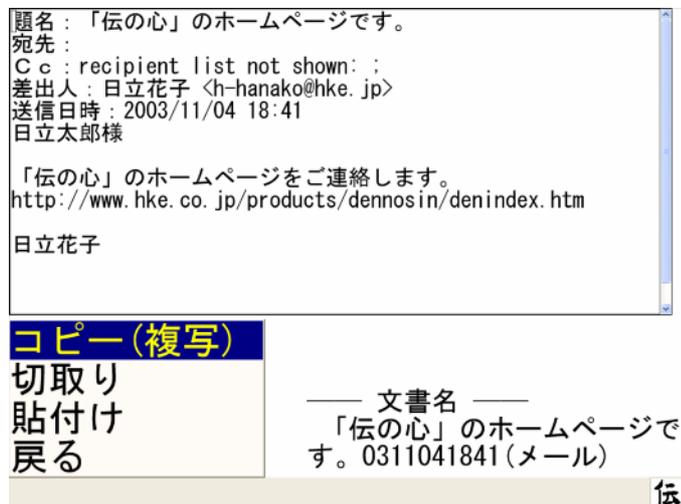
- (3)電子メールを終了します。
- (4)「文書」→「読出し」を選択します。
- (5)文書読込画面が表示されたら、「場所を選択」で、「メール」を選択します。
- (6)「文書を選択」で、(2)で複写したメールを選択します。
- (7)「文書名：」欄に複写した文書ファイル名が表示されたら、「読み込み実行」を選択します。



(8) 文書編集画面に移動後、文字盤より「編」を選択します。

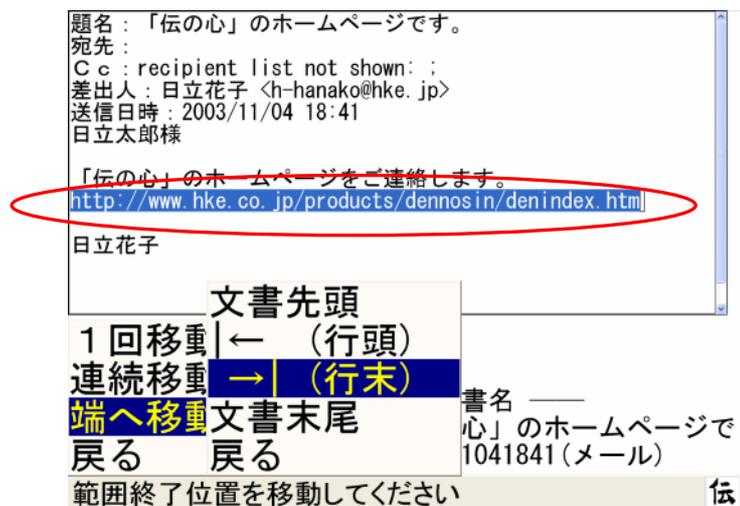


(9) 「コピー(複写)」を選択します。

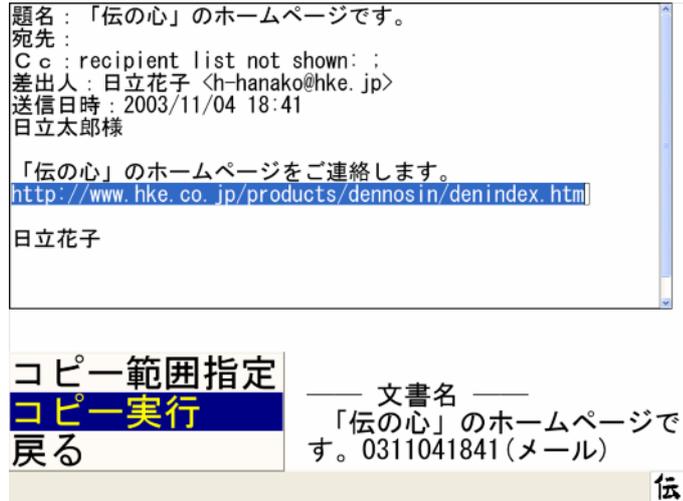


(10) 「コピー範囲指定」を選択します。

(11) 「開始位置指定」や「範囲指定」を使用して、取得したい URL を範囲選択します。

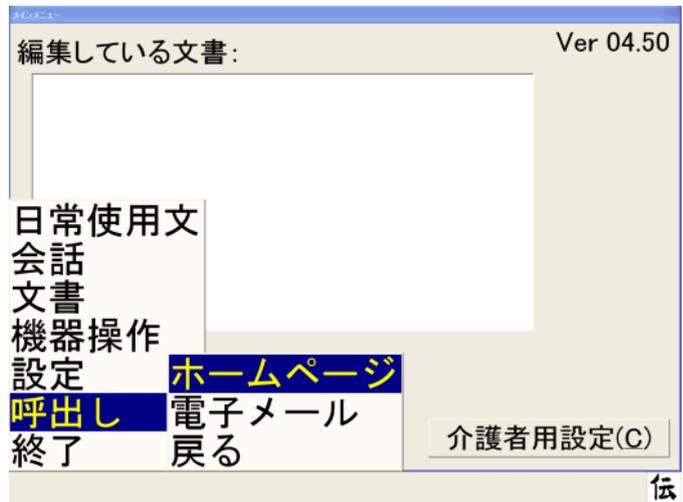


(12)範囲指定終了後、「コピー実行」を選択します。



(13)文書編集画面に戻り、文字盤の「戻」を選択します。

(14)メインメニューに戻り、「呼出し」より「ホームページ」を選択します。

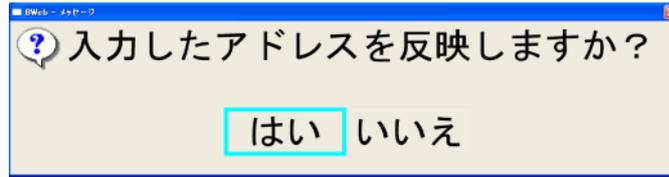


(15)「切替」メニューを開き、「アドレス入力」を選択します。

(16)文字盤より「貼」を選択します。



- (17)文字編集域にコピーした URL が表示されたら、「戻」を選択します。  
 (18)ダイアログが表示されたら「はい」を選択します。



「はい」を選択。

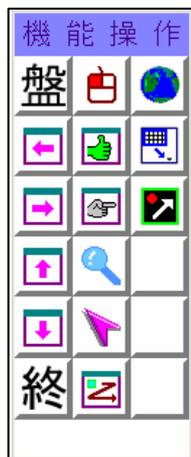


## 第 3 編 「ウィンドウズ操作」

# 1. 起動と終了

## 1.1 起動

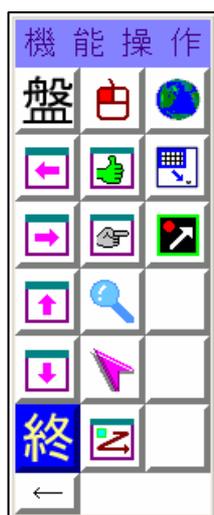
「呼出し」メニューで「ウィンドウズ操作」を選択すると次のようなウィンドウズ操作の機能操作盤が表示され、文章作成文字盤と同様にカーソルが左から右へ自動的に移動します。



- コントロールパネル画面で、スクリーンセーバーは設定しないでください。  
(出荷時はスクリーンセーバー[なし]で設定されています。スクリーンセーバーを設定しますと、メーラー、ブラウザおよびウィンドウズ操作ができなくなります。)
- コントロール画面の設定で「伝の心」起動中は画面サイズの変更はしないでください。  
(画面が正しく表示されなくなります。)

## 1.2 終了

「ウィンドウズ操作」の終了は、文字盤で「終」ボタンを選択することにより終了します。そして、終了後は、「文書作成・リモコン操作」のメニュー画面に戻ります。



- ウィンドウズ操作で起動したアプリケーションは、ウィンドウズ操作終了前に全て終了させてください。

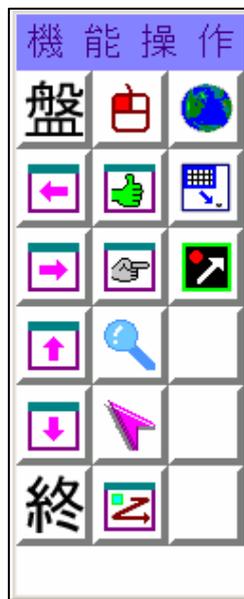
## 2. 文字盤と操作盤

「ウィンドウズ操作」では、文字盤または操作盤が画面に表示されます。そして、カーソルが自動スキャンしますので、目的の文字盤または操作盤のボタンを選択することにより、アプリケーションソフトへの文字入力およびアプリケーションソフトの操作を行うことができます。

操作対象のウィンドウがアクティブになっていないと、文字盤または操作盤のボタンをクリックしても文字が入力されない、あるいは指定した動作が行われません。この場合は、一度文字盤のマウスのボタンを選択し、マウス操作で操作対象ウィンドウ内の領域をクリックしてから再度、文字盤または操作盤で操作を行ってください。

### 2.1 起動時の画面

次の画面は「ウィンドウズ操作」を選択したときに最初に表示される画面(機能操作盤)です。



盤

文字盤を切り替えます



マウス操作盤を表示します



IE操作盤表示後、IEを起動します



文字盤を左へ移動します



自ウィンドウを操作します



文字盤を最小化します



文字盤を右へ移動します



相手ウィンドウを操作します



親孝行を起動します



文字盤を上へ移動します



画面を拡大します



文字盤を下へ移動します



マウス吸着します

終

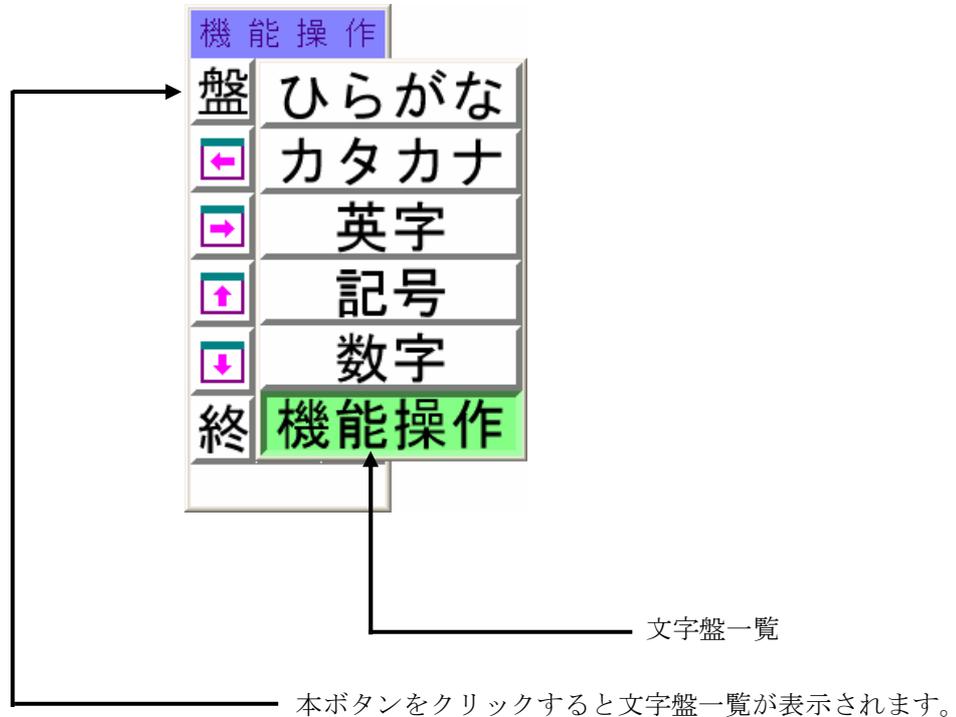
ウィンドウズ操作を終了します



アイコンを移動と実行します

## 2.2 文字盤の選択

「機能操作盤」の「盤」ボタンを選択すると切替可能な文字盤の一覧が表示されます。この中から表示したい文字盤を選択することにより、文字盤を切り替えることができます。



- |       |                   |
|-------|-------------------|
| ひらがな  | : ひらがな文字盤に切り替えます。 |
| カタカナ  | : カタカナ文字盤に切り替えます。 |
| 英字    | : 英字文字盤に切り替えます。   |
| 記号    | : 記号文字盤に切り替えます。   |
| 数字    | : 数字文字盤に切り替えます。   |
| 機能操作盤 | : 機能操作盤のみに切替えます。  |

## 2.3 ひらがな文字盤

文字盤一覧から「ひらがな」を選択すると次の「ひらがな文字盤」が表示されます。ひらがなのボタンを選択することにより、現在、操作の対象になっているアプリケーションにひらがなを入力することができます。



### ■ 各ボタンの内容

ボタン名	内 容
あ～ん	「ひらがな」を入力します。
空	スペースを入力します。未確定文字列があった場合は漢字変換処理を行います。
編	編集機能盤を表示します。
漢	入力した文字を漢字に変換します。
←, →, ↑, ↓	入力位置を左、右、上、下へ移動します。
小	「ひらがな」小文字を入力するときに選択します。本ボタンを選択すると小文字として入力できないボタンは灰色で表示されます。
無	入力文字種を切り替えます。
決	文字入力を確定します。
取	入力を取り消します。
タブ	入力位置を移動します。
削	現在の位置の文字を削除します。
後	現在の位置の直前の文字を削除します。

また、ひらがな文字盤で「小」ボタンを選択すると小文字ひらがなとして入力できるボタンは黒色で表示され、入力できないボタンは灰色で表示されます。入力可能なボタンを選択することにより、現在、操作の対象になっているアプリケーションにひらがなの小文字を入力することができます。なお、ボタン選択後は、「ひらがな」文字盤に戻ります。



このボタンを選択します。

### ● 漢字変換について

文字を入力後、「漢」ボタンを選択するとアプリケーションの入力領域内で入力した文字を漢字に変換します。そして、もう一度、「漢」ボタンを変換すると漢字変換候補リストが画面に表示されます。ここで、「↑」または「↓」ボタンを選択し、変換データを選択します。その後、「決」ボタンを選択すると変換データを確定し入力することができます。

### ● ボタンの連続入力について

各種文字盤のボタンを選択すると選択された文字がアプリケーションに入力され、列方向にスキャンを再開します。但し、次のボタンについては連続で入力される場合が多いため、次の方法により連続入力を可能にしています。

- ① ボタンを選択します（選択したボタンはアプリケーションに入力されます）。
- ② 選択したボタン上で3回カーソルがスキャンしますので、この間に、スイッチを押すことによりスキャンしている文字の入力処理が行われ、再び3回スキャンします。
- ③ 上記②の繰り返しにより、連続入力を行うことを実現しています。3回のスキャンの間にスイッチが押されなかった場合は、列方向のスキャンを再開します。

「漢」、「←」、「→」、「↑」、「↓」、「無」、「削」、「後」

### ● 文字の入力について

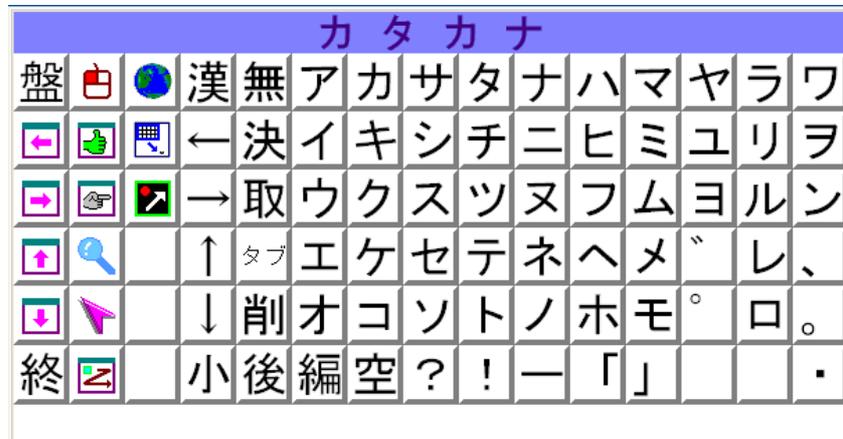
文字盤から文字を入力する場合は、文字を入力するアプリケーションが動作していることが前提となります。文字盤の「アイコンの移動と実行」ボタンまたは「マウス操作」ボタンを選択してアプリケーションを起動してください。

### ● アプリケーション切替後の文字入力について

アプリケーションの切替を行っている時、アプリケーション切替後にひらがな文字盤より選択した文字が全角英数となって入力されることがあります。その場合は、ウィンドウ操作を一旦終了し、再度ウィンドウ操作を起動するか、または他の文字盤(カタカナ文字盤、英字盤等)にて文字入力操作を行った後、再度ひらがな文字盤に戻して、文字入力操作を行ってください。

## 2.4 カタカナ文字盤

文字盤一覧から「カタカナ」を選択すると次の「カタカナ文字盤」が表示されます。カタカナのボタンを選択することにより、現在、操作の対象になっているアプリケーションにカタカナを入力することができます。



### ■ 各ボタンの内容

ボタン名	内 容
ア～ン	「カタカナ」を入力します。
空	スペースを入力します。未確定文字列があった場合は漢字変換処理を行います。
編	編集機能盤を表示します。
全／半	全角／半角を切り替えます。
漢	入力した文字を漢字に変換します。
←, →, ↑, ↓	入力位置を左、右、上、下へ移動します。
小	「カタカナ」小文字を入力するときに選択します。本ボタンを選択すると小文字として入力できないボタンは灰色で表示されます。
無	入力文字種を切り替えます。
決	文字入力を確定します。
取	入力を取り消します。
タブ	入力位置を移動します。
削	現在の位置の文字を削除します。
後	現在の位置の直前の文字を削除します。

また、カタカナ文字盤で「小」ボタンを選択すると小文字カタカナとして入力できるボタンは黒色で表示され、入力できないボタンは灰色で表示されます。入力可能なボタンを選択することにより、現在、操作の対象になっているアプリケーションにカタカナの小文字盤を入力することができます。なお、ボタンを選択後は、「カタカナ」文字盤に戻ります。



このボタンを選択します。

## 2.5 英字文字盤

文字盤一覧から「英字」を選択すると次の「英字文字盤」が表示されます。「英字」ボタンを選択することにより、操作の対象になっているアプリケーションに英字を入力することができます。



### ■ 各ボタンの内容

ボタン名	内 容
A～z	「英字」を入力します。
空	スペースを入力します。未確定文字列があった場合は漢字変換処理を行います。
編	編集機能盤を表示します。
全／半	全角／半角を切り替えます。
漢	入力した文字を変換します。
←, →, ↑, ↓	入力位置を左、右、上、下へ移動します。
無	入力文字種を切り替えます。
決	文字入力を確定します。
取	入力を取り消します。
タブ	入力位置を移動します。
削	現在の位置の文字を削除します。
後	現在の位置の直前の文字を削除します。
Ctrl	いろいろな働きを持たせるボタンで、英字ボタンと組み合わせて使用します。アプリケーションの機能を実行する場合に多く使用されます。
Alt	いろいろな働きを持たせるボタンで英字ボタンと組み合わせて使用します。Windowsの機能を実行する場合に多く使用されます。
Shift	英字の大文字と小文字を切り替えたり、状態に応じた文字を入力したりします。

## 2.6 記号文字盤

文字盤一覧から「記号」を選択すると次の「記号文字盤」が表示されます。「記号」ボタンを選択することにより、操作の対象になっているアプリケーションに記号を入力することができます。



### ■ 各ボタンの内容

ボタン名	内 容
: ~ @	「記号」を入力します。
空	スペースを入力します。未確定文字列があった場合は漢字変換処理を行います。
編	編集機能盤を表示します。
全 / 半	全角 / 半角を切り替えます。
漢	入力した文字を変換します。
←, →, ↑, ↓	入力位置を左、右、上、下へ移動します。
無	入力文字種を切り替えます。
決	文字入力を確定します。
取	入力を取り消します。
タブ	入力位置を移動します。
削	現在の位置の文字を削除します。
後	現在の位置の直前の文字を削除します。

## 2.7 数字文字盤

文字盤一覧から「数字」を選択すると次の「数字文字盤」が表示されます。「数字」ボタンを選択することにより、操作の対象になっているアプリケーションに数字を入力することができます。



### ■ 各ボタンの内容

ボタン名	内 容
0～9	「数字」を入力します。
空	スペースを入力します。未確定文字列があった場合は漢字変換処理を行います。
編	編集機能盤を表示します。
全／半	全角／半角を切り替えます。
漢	入力した文字を変換します。
←, →, ↑, ↓	入力位置を左、右、上、下へ移動します。
無	入力文字種を切り替えます。
決	文字入力を確定します。
取	入力を取り消します。
タブ	入力位置を移動します。
削	現在の位置の文字を削除します。
後	現在の位置の直前の文字を削除します。

## 2.8 編集機能盤

各文字盤から「編」ボタンを選択すると次の「編集機能盤」が表示されます。「編」ボタンを選択することにより、操作の対象になっているアプリケーションに入力した文書を編集することができます。

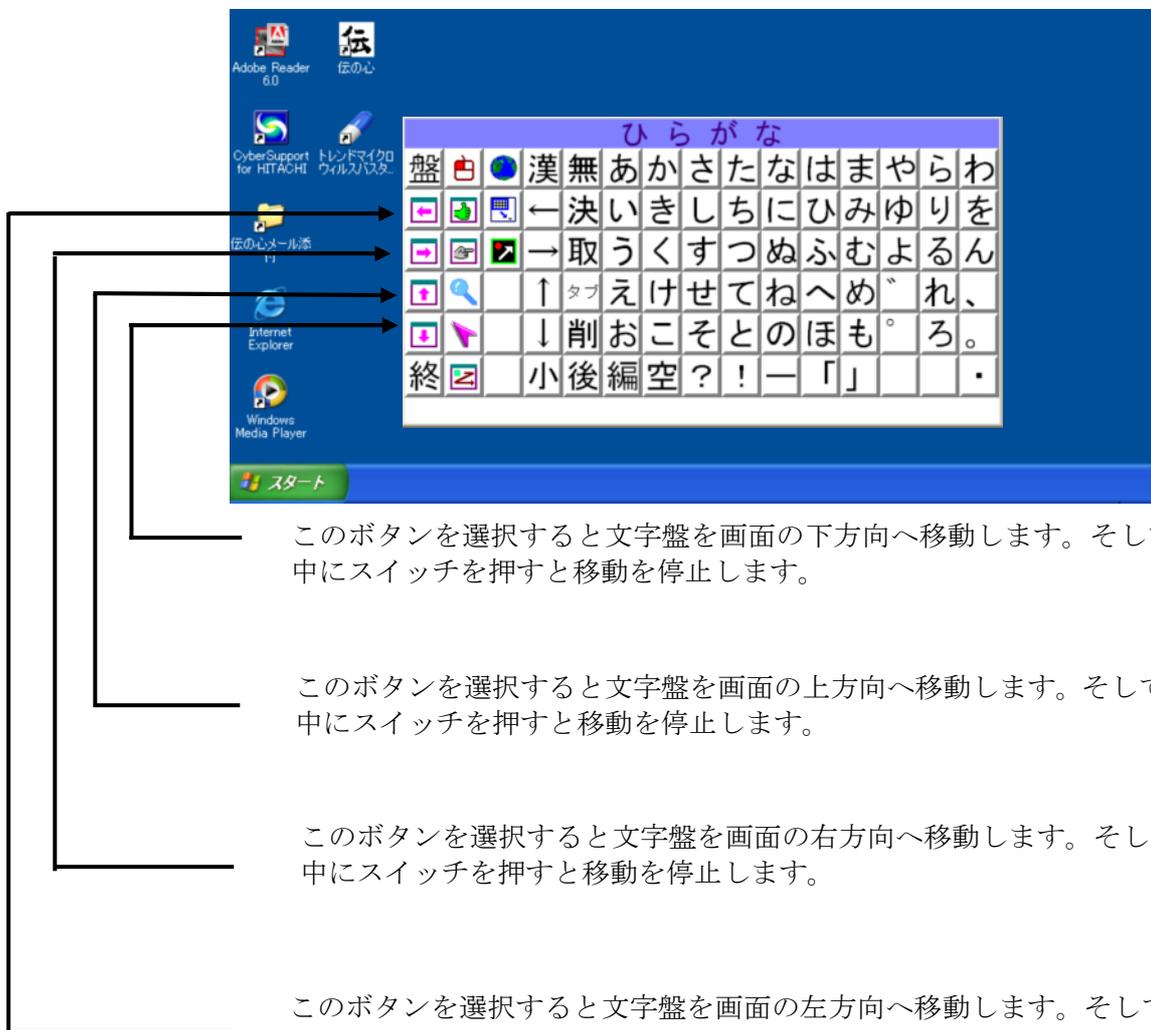
編 集		
切り取り	<<	←
コピー	>>	→
貼り付け	∧	↑
元に戻す	∨	↓
戻る		

### ■ 各ボタンの内容

ボタン名	内 容
切り取り	「C t r l」キー+「X」キー（切り取り）処理を行ないます。
コピー	「C t r l」キー+「C」キー（複写）処理を行ないます。
貼り付け	「C t r l」キー+「V」キー（貼り付け）処理を行ないます。
元に戻す	「C t r l」キー+「X」キー（一つ前の状態に戻す）処理を行ないます。
<<	「S h i f t」キー+「←」キー処理を行ないます。
>>	「S h i f t」キー+「→」キー処理を行ないます。
∧	「S h i f t」キー+「↑」キー処理を行ないます。
∨	「S h i f t」キー+「↓」キー処理を行ないます。
←, →, ↑, ↓	入力位置を左、右、上、下へ移動します。
戻る	編集機能盤を終了し、各文字盤を表示します。

## 2.9 文字盤の移動

「機能操作盤」の文字盤移動ボタンを選択すると、文字盤を画面の任意の位置に移動することができます。



このボタンを選択すると文字盤を画面の下方向へ移動します。そして、移動中にスイッチを押すと移動を停止します。

このボタンを選択すると文字盤を画面の上方向へ移動します。そして、移動中にスイッチを押すと移動を停止します。

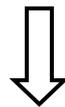
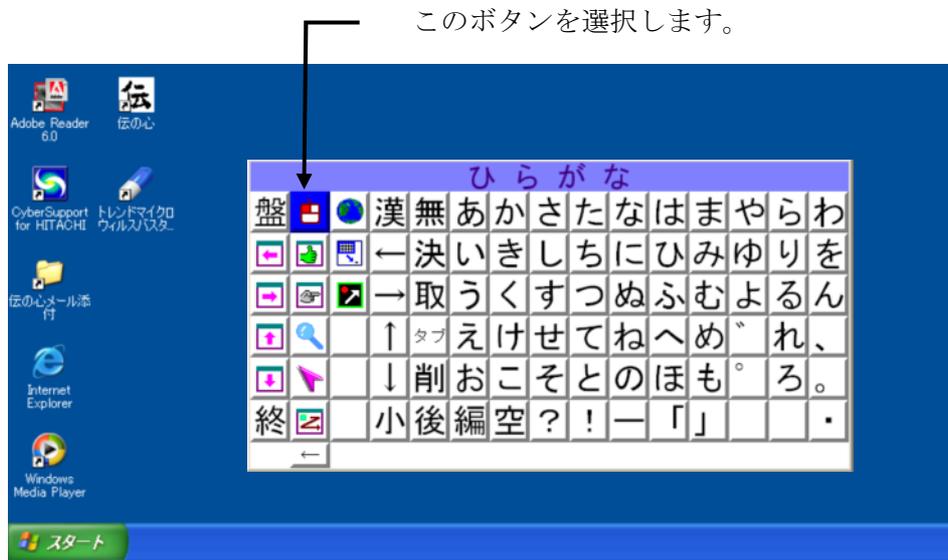
このボタンを選択すると文字盤を画面の右方向へ移動します。そして、移動中にスイッチを押すと移動を停止します。

このボタンを選択すると文字盤を画面の左方向へ移動します。そして、移動中にスイッチを押すと移動を停止します。

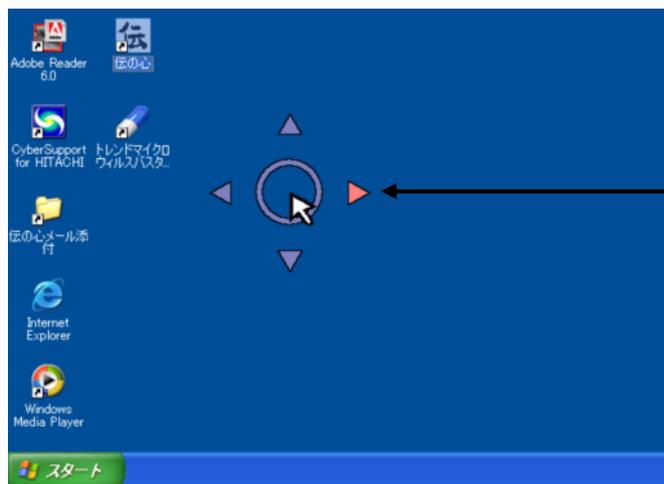
- 文字盤が画面の端に達したときは自動的に移動を停止します。

## 2. 10 マウス操作

「機能操作盤」でマウスボタンを選択することにより、マウスカーソル移動、クリック等のマウス操作を行うことができます。



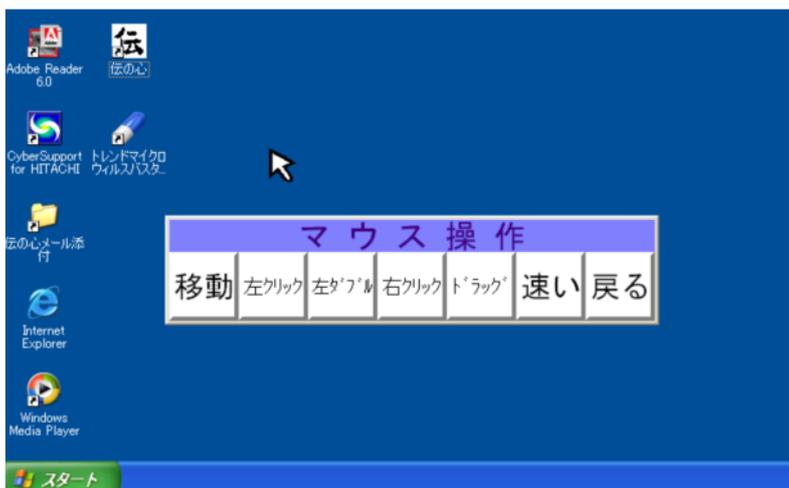
マウスポインタの移動方向を示す移動画面が表示されます。



時計回りに中心→上矢印→右矢印→下矢印→左矢印→中心の順にスキャンしますので目的の位置にスキャンカーソルが来たときにスイッチを押すとマウスカーソルが選択した方向に移動します。そして、再度、スイッチを押すと移動が停止します。なお、中心を選択した場合はマウス移動画面が消えマウス操作盤が表示されます。



「中心」を選択するとマウス操作盤が表示されます。

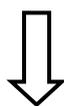


マウス操作盤上をカーソルがスキャンしますので目的の位置にカーソルが来たときにスイッチを押すことによりマウス操作を行うことができます。

ボタン名	内 容
移動	マウスポインタの移動画面を表示します。
左クリック	マウスの左クリックを行います。
左ダブル	マウスの左ダブルクリックを行います。
右クリック	マウスの右クリックを行います。
ドラッグ	マウスのドラッグを行います。
速い／遅い	マウスポインタの移動速度を変えます。 現在、指定されている速度がボタンに表示されます。
戻る	文字盤の画面に戻ります。

## 2. 11 文字盤の操作

「機能操作盤」で文字盤操作ボタンを選択すると、文字盤のサイズを変えたり文字盤の現在の位置を記憶させたりすることができます。文字盤の位置を記憶させた場合、記憶させた位置に「ウィンドウズ操作」の画面が表示されます。



自ウィンドウ操作盤が表示されます。

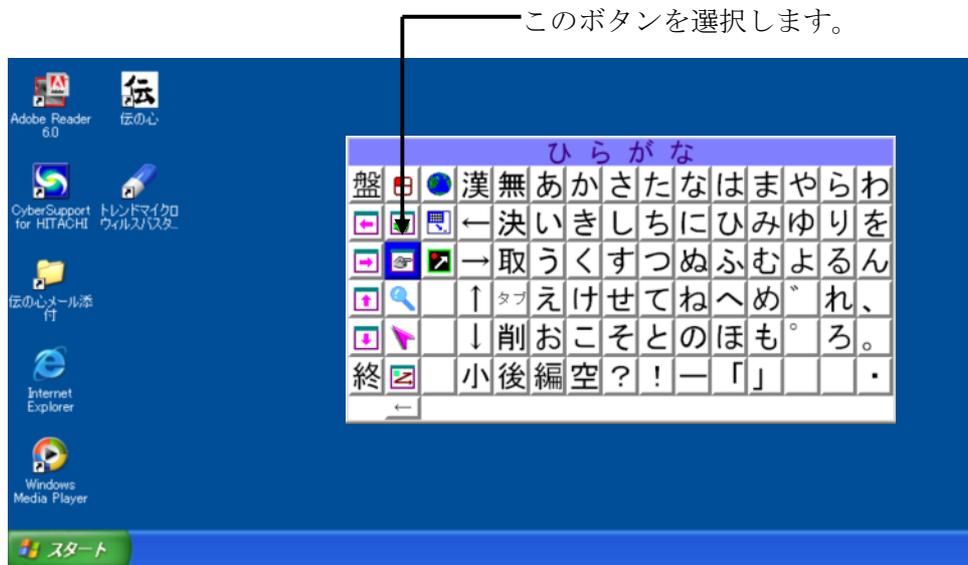


ボタン名	内 容
位置	「位置」ボタンを選択すると文字盤の現在の位置を記憶します。
左右拡大	「左右拡大」ボタンを選択すると文字盤を横方向に拡大します。
左右縮小	「左右縮小」ボタンを選択すると文字盤を横方向に縮小します。
上下拡大	「上下拡大」ボタンを選択すると文字盤を縦方向に拡大します。
上下縮小	「上下縮小」ボタンを選択すると文字盤を縦方向に縮小します。
戻る	「戻る」ボタンを選択すると自ウィンドウ（文字盤）の操作を終了します。

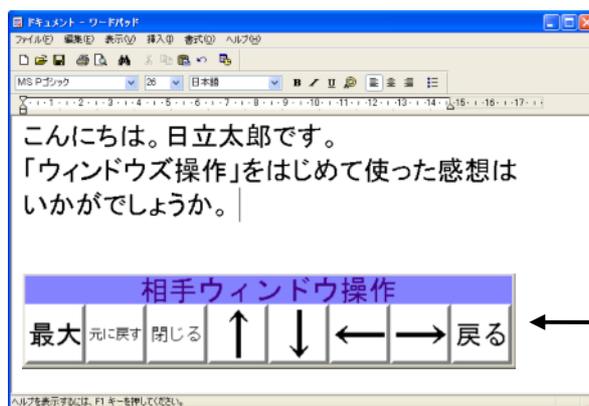
※ 本機能を利用することにより、文字盤のサイズを上下左右に自由に拡大および縮小できますので、ユーザが最も見やすい文字サイズに変更することができます。

## 2. 12 相手ウィンドウの操作

「機能操作盤」で相手ウィンドウの操作ボタンを選択すると、現在、操作の対象となっているウィンドウの表示位置を変えたり、ウィンドウの表示を最大化したりすることができます



相手ウィンドウ操作盤が表示されます。



メモ帳を起動してから相手ウィンドウ操作ボタンを選択した画面です。この操作盤でメモ帳のウィンドウを移動させたり終了させたりすることができます。

ボタン名	内 容
最大	「最大」ボタンを選択すると相手ウィンドウのサイズを最大化します。
元に戻す	「元に戻す」ボタンを選択すると相手ウィンドウのサイズを元のサイズに戻します。
閉じる	「閉じる」ボタンを選択すると相手ウィンドウを閉じます。
↑	「↑」ボタンを選択すると相手ウィンドウを上方向へ移動します。
↓	「↓」ボタンを選択すると相手ウィンドウを下方向へ移動します。
←	「←」ボタンを選択すると相手ウィンドウを左方向へ移動します。
→	「→」ボタンを選択すると相手ウィンドウを右方向へ移動します。
戻る	「戻る」ボタンを選択すると相手ウィンドウの操作を終了します。

## 2. 13 ズームアップ

「機能操作盤」でズームアップボタンを選択すると、マウスポインターの周辺領域を拡大して表示します。拡大表示を終了させる場合は、再度、ズームアップボタンを選択してください。

このボタンを選択します。

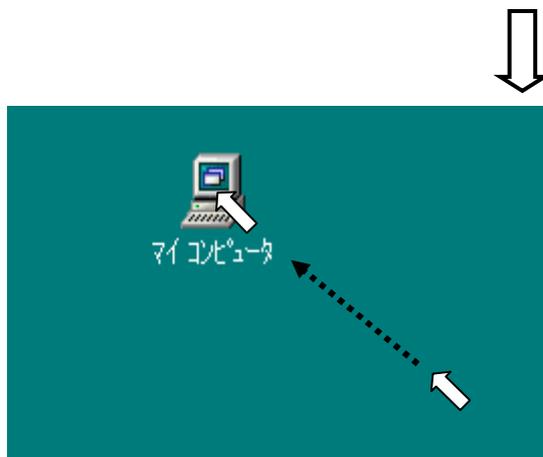
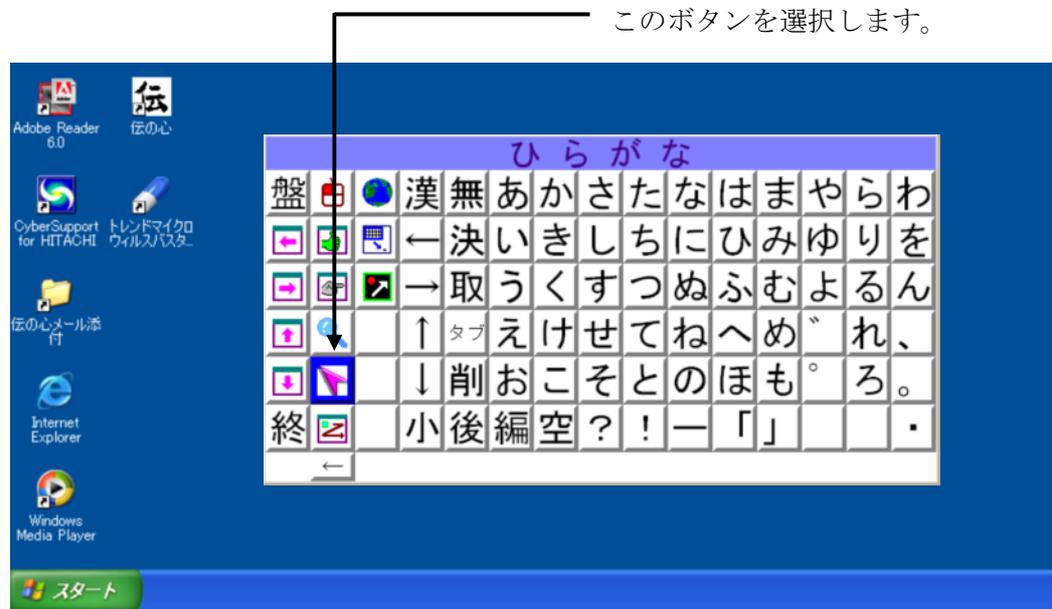


マウスポインターの位置する周辺領域を拡大表示します。左図で「+」がマウスポインターの現在の位置です。本機能は再度、ズームアップボタンを選択するまで有効です。

- ズームアップ中にマウス操作でドラッグ操作を行うとズームアップウィンドウの移動した軌跡が残りますので、ズームアップ中はドラッグ操作を行わないでください。

## 2. 14 マウス吸着

「機能操作盤」でマウス吸着ボタンを選択すると、アイコンまたはボタンにマウスポインターが近づいたとき、マウスポインターをアイコンまたはボタンに吸着させることができます。アイコンまたはボタンへのポインティングが難しいとき、本機能を利用すると便利です。マウス吸着を終了させる場合は、再度、マウス吸着ボタンを選択してください。



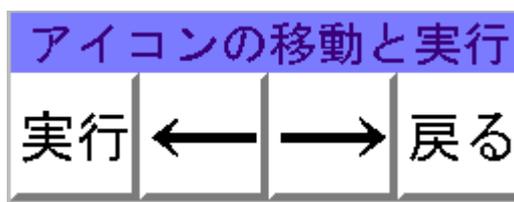
- 画面上でアイコンまたはボタンに見えても吸着しない場合があります。

## 2. 15 アイコンの移動と実行

「機能操作盤」でアイコンの移動と実行ボタンを選択すると、画面上のアイコンを左上端から順次拡大表示します。そして、目的のアイコンに来た時にスイッチを押すと「アイコンの移動と実行」の操作盤が表示されプログラムを起動することができます。



画面上のアイコンを順次拡大表示します。そして、目的のアイコンに来た時にスイッチを押すと操作盤が表示されます。

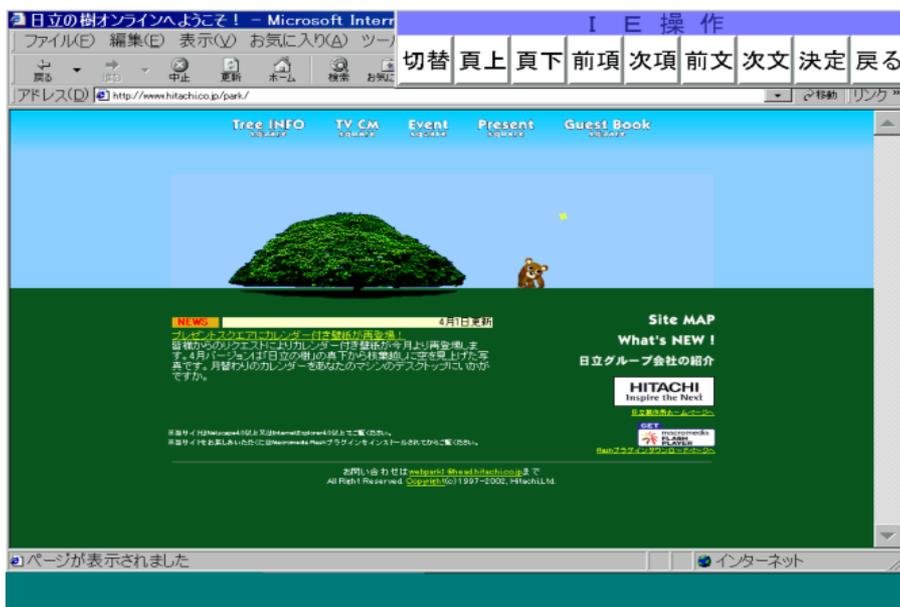
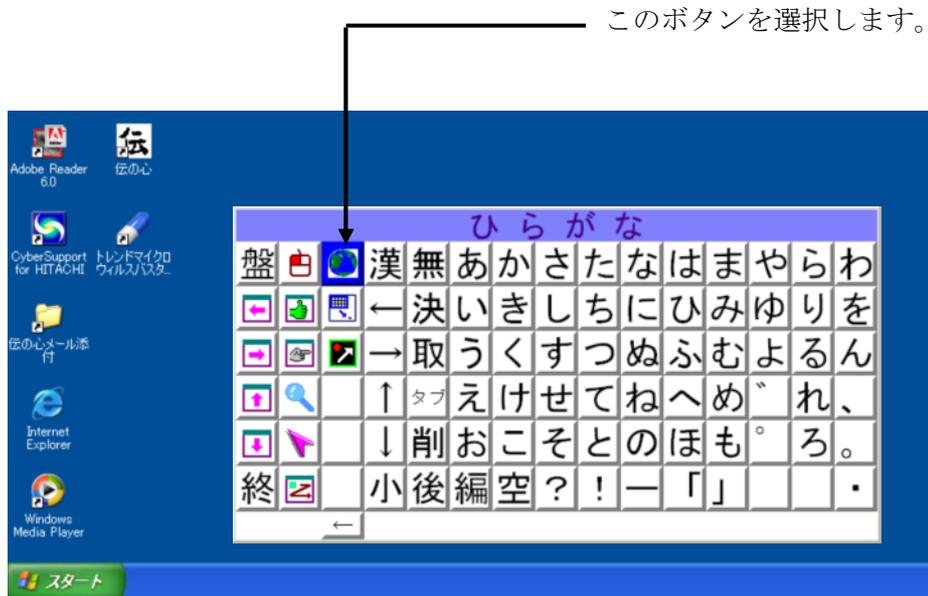


アイコンの移動と実行の操作盤上をカーソルがスキャンしますので目的の位置にカーソルが来た時にスイッチを押します。

ボタン名	内 容
実行	拡大表示されているデスクトップアイコンを実行します。
←	逆方向にデスクトップのアイコンのスキャンを続行します。
→	順方向にデスクトップのアイコンのスキャンを続行します。
戻る	ウィンドウズ操作の文字盤に戻ります。

## 2. 16 インターネットエクスプローラの操作

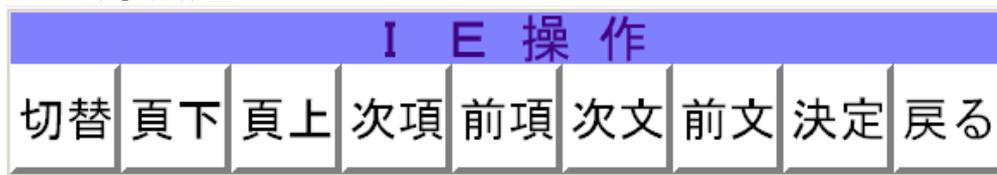
「機能操作盤」でインターネットエクスプローラのボタンを選択すると、インターネットエクスプローラを起動した後、インターネットエクスプローラの操作盤が表示されます。本操作盤を利用することにより、インターネットエクスプローラを操作することができます。



インターネットエクスプローラを起動し、画面右上端にインターネットエクスプローラの操作盤が表示されます。この操作盤上をカーソルがスキャンしますので目的の位置へカーソルが来たときにスイッチを押すことによりインターネットエクスプローラを操作することができます。

インターネットエクスプローラの操作盤で、「切替」ボタンを選択することにより「よく使う」操作盤と「その他」操作盤の切替を行うことができます。

■ 「よく使う」操作盤



切替	操作盤の切替メニューを表示します。
頁下	頁の最後を表示します。
頁上	頁の先頭を表示します。
次項	画面の下方向のリンク先へカーソルが移動します。
前項	画面の上方向のリンク先へカーソルが移動します。
次文	直後の頁を表示します。
前文	直前の頁を表示します。
決定	カーソルのあるリンク先へ移動し、頁を表示します。
戻る	インターネットエクスプローラの操作を終了します。

■ 「その他」操作盤

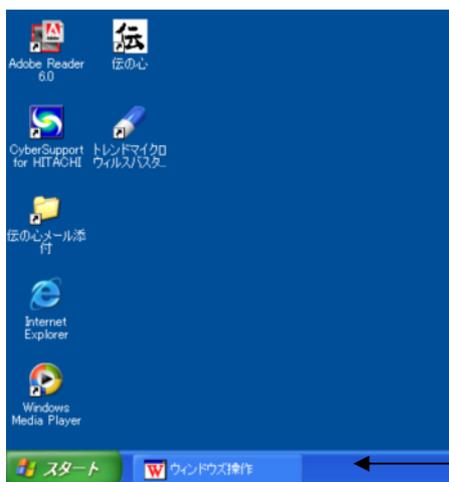
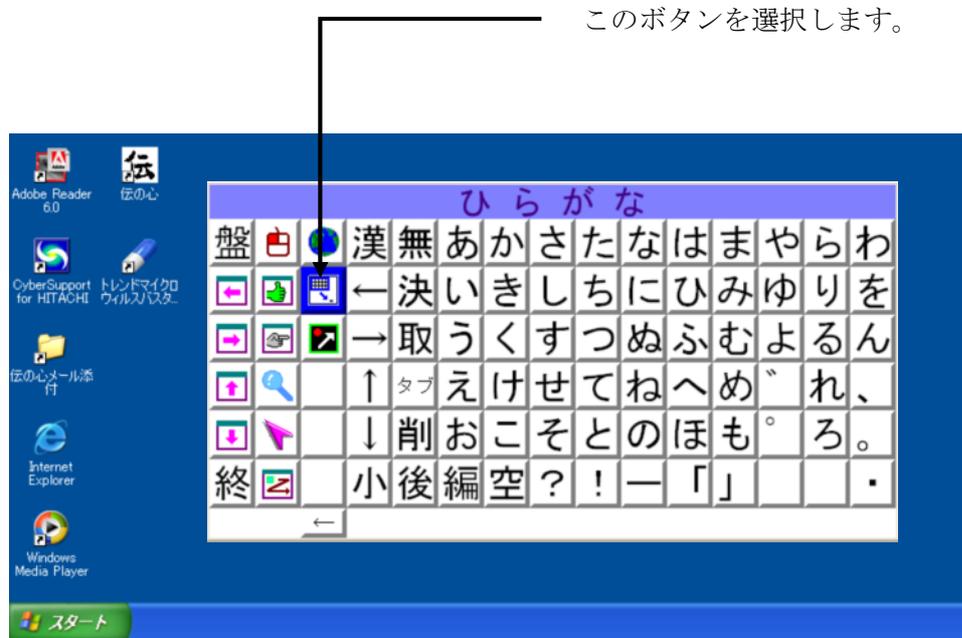


切替	操作盤の切替メニューを表示します。
中止	新しい頁の読み込み処理を中止します。
更新	現在表示されている頁の画面表示を更新します。
先頭	インターネットエクスプローラ起動時の頁が表示されます。
↑	頁（表示されている画面）を上へ移動します。
↓	頁（表示されている画面）を下へ移動します。
←	頁（表示されている画面）を左へ移動します。
→	頁（表示されている画面）を右へ移動します。
戻る	インターネットエクスプローラの操作を終了します。

● ホームページによっては、本操作盤で機能しない場合があります。

## 2. 17 文字盤の最小化

「機能操作盤」で文字盤の最小化ボタンを選択すると、画面上から文字盤が消え、画面下のタスクバーに「ウィンドウズ操作」のボタンが登録されます。スイッチを押すことにより再度文字盤を画面に表示することができます。文字盤を画面から一時的に消したい場合に本機能を使用すると便利です。

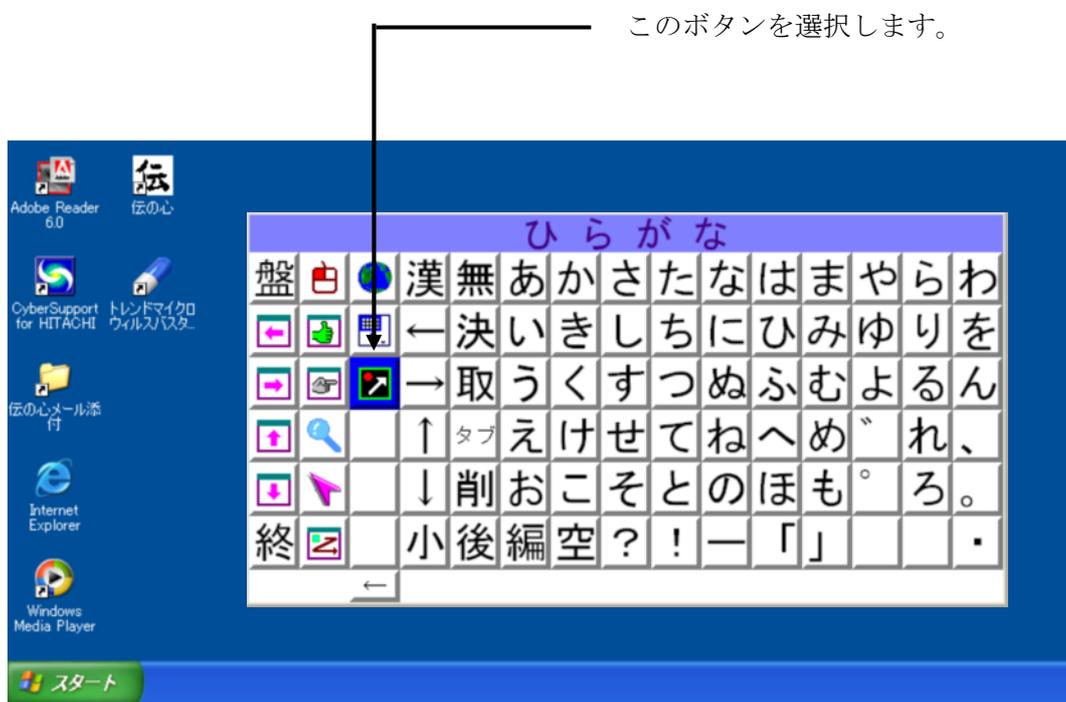


文字盤が画面から消えて「ウィンドウズ操作」のボタンがタスクバーに登録されます。

文字盤が最小化されてタスクバーに登録されます。

## 2. 18 親孝行

「機能操作盤」で親孝行ボタンを選択すると、キーボード操作の記録と再生を行う親孝行の操作盤が画面左上に表示されます。操作盤の各ボタンをマウスまたはマウス操作盤のマウスポインターでクリックし操作します。本機能は、介護者が一連のキー操作をファイルに記録し、その記録したファイルをユーザが呼び出し、記録したキー操作を再現するものです。



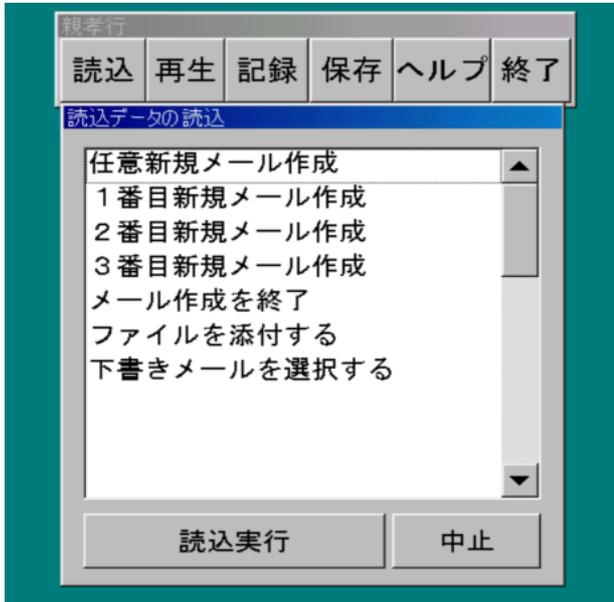
親孝行操作盤が表示されますので、目的のボタンを選択します。本操作盤上では自動スキャンは行われなためマウスまたはマウス操作盤で操作します。

ボタン名	内 容	オペレータ
読込	キー操作を記録したデータファイルを読み込み、再生します。	ユーザ
再生	記録したキー操作を再生します。	ユーザ
記録	キー操作を記録します。	介護者
保存	記録したキー操作をファイルに保存します。	介護者
ヘルプ	親孝行の機能の説明内容を表示します。	介護者
終了	親孝行を終了します。	介護者

※ 親孝行は、ウィンドウズ操作をよく知っている介護者またはサポータの方がキー操作を記録しファイルに保存します。そして、「伝の心」ユーザが、その記録したデータを読み込み、再生することにより入力を容易にするものです。

## ■ 読込

「読込」ボタンを選択すると既に記録されている記録データファイル名一覧を表示します。下記画面は記録データのサンプルデータ一覧です。ここで、「読込データ一覧」の中からデータを選択後、「読込実行」ボタンを選択すると記録されているデータの読み込みが行われた後、再生が行われます。なお、再生終了後は「親孝行」プログラムは終了します。



保存されているサンプルデータです。この中から再生するデータをマウス操作で選択した後、「読込実行」ボタンを選択します。

ボタン名	内 容
読込実行	記録データを読み込み再生します。
中止	読み込みを中止し起動時のメニュー画面に戻ります。

<サンプルデータの説明>

「伝の心」出荷時には、「Outlook Express」を前提とした次の記録データのサンプルが格納されています。これらのサンプルデータの概要を下記に説明します。

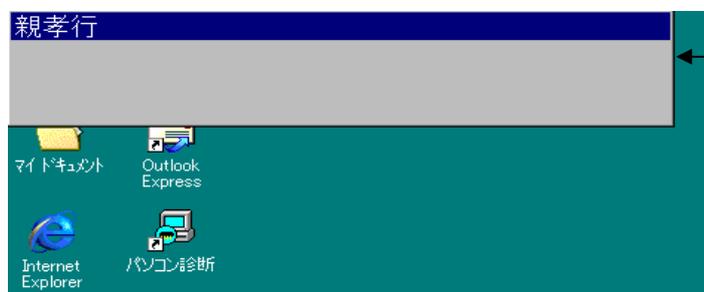
No.	記録ファイル名	再生目的	記 録 内 容	前提条件
1	任意新規メール先制	メールを新規に作成します。宛先はアドレス帳から任意に選択します。	①Alt+F (ファイルメニューを開く) ②N (新規作成を開く) ③M (メッセージの作成ウィンドウを開く) ④Tab を 3 回 (フォーカスを本文編集域へ移動する) ⑤Alt+スペース (ウィンドウメニューを開く) ⑥↓を 4 回 (最大化にフォーカスを移動) ⑦Enter (ウィンドウを最大化する) ⑧Alt+T (ツールメニューを開く) ⑨R (受信者の選択ウィンドウを開く) ⑩Tab を 3 回 (宛先リストビューにフォーカスを移動する)	親孝行を起動する前に「Outlook Express」を起動し全画面表示にしておきます。また、英字、記号または数字文字盤のいずれかに切り替えた後、「全」を「半」に切り替えます。
2	1 番目新規メール作成	メールを新規に作成する。宛先はアドレス帳の一番目に登録されている方を指定します。	①Alt+F (ファイルメニューを開く) ②N (新規作成を開く) ③M (メッセージの作成ウィンドウを開く) ④Tab を 3 回 (フォーカスを本文編集域へ移動する) ⑤Alt+スペース (ウィンドウメニューを開く) ⑥↓を 4 回 (最大化にフォーカスを移動) ⑦Enter (ウィンドウを最大化する) ⑧Alt+T (ツールメニューを開く) ⑨R (受信者の選択ウィンドウを開く) ⑩Tab を 3 回 (宛先リストビューにフォーカスを移動する) ⑪Alt+T (一番目の名前をメッセージ受信者として登録する) ⑫Tab を 8 回 (OK にフォーカスを移動する) ⑬Enter (受信者の選択ウィンドウを閉じる)	同 上
3	2 番目新規メール作成	2 番目に登録されている方を指定する以外は同上。	2 番目に登録されている方を指定する以外は同上	同 上
4	3 番目新規メール作成	3 番目に登録されている方を指定する以外は同上。	3 番目に登録されている方を指定する以外は同上	同 上

No.	記録ファイル名	再生目的	記録内容	前提条件
5	メール作成を終了	メールを終了します。	①Alt+F (ファイルメニューを開く) ②C (閉じる)	親孝行を起動する前に「Outlook Express」の「メール作成画面」を全画面表示にしておきます。 また、英字、記号または数字文字盤のいずれかに切り替えた後、「全」を「半」に切り替えます。
6	ファイルを添付する	添付ファイルの挿入ウィンドウを開く	①Alt+I (挿入メニューを開く) ②A (添付ファイルの挿入ウィンドウを開く)	同上
7	下書きメールを選択	下書きフォルダの選択画面を表示する。	①Alt+V (表示メニューを開く) ②G (フォルダ移動を実行) ③Tab (OK へフォーカスを移動) ④Enter (フォルダへ移動ウィンドウを閉じる)	親孝行を起動する前に「Outlook Express」を起動し全画面表示にしておきます。 また、英字、記号または数字文字盤のいずれかに切り替えた後、「全」を「半」に切り替えます。

- 「Outlook Express」でメニューに割り当てられている英字キーが変更されたり、ウィンドウズが表示内容が変更されると目的の動作をしない可能性がありますので、「Outlook Express」のバージョンアップが行われた場合は、動作確認の必要があります。正しく動作しない場合は、再度、上記記録内容に相当する操作を行い介護者の方が記録データファイルを作成することが必要です（上記の記録内容は Outlook Express 5、5.5および6を前提として作成しています）。

## ■ 再生

「再生」ボタンを選択すると下記ウィンドウが画面左上に表示され再生が行われます。再生終了後、「親孝行」プログラムは終了します。なお、再生が終了するまでは、キーボードおよびマウス操作はできません。

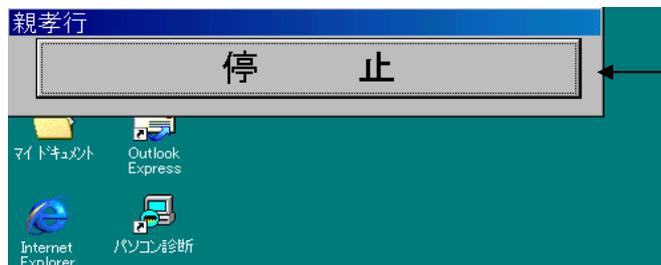


再生中はこのウィンドウが表示され、タイトルバーに（再生中）がブリンク表示されます。

- 「再生」を中断する場合は、Windows キーまたは Ctrl+Esc キーを押下してください。

## ■ 記録

「記録」ボタンを選択すると下記ウィンドウが画面左上に表示され記録モードとなり、それ以降のキー操作の記録が行われます。「停止」ボタンを選択することにより「記録」が終了します。なお、本操作は、介護者またはサポーターの方が行う操作で、ここで、記録したデータを利用することによりユーザが複雑な操作を行うことなくパソコン操作を容易に行うことができます。

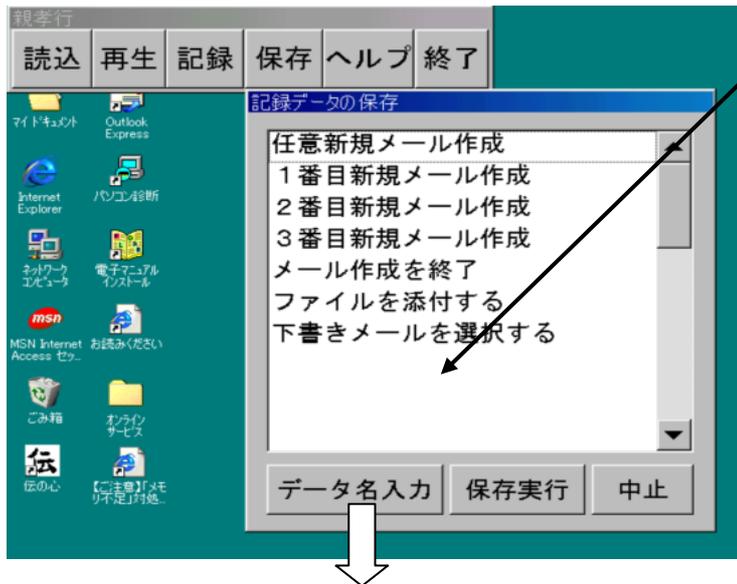


「記録」ボタンを選択するとこのウィンドウが表示され、キー操作の記録が開始されます。記録を終了する場合は「停止」ボタンを選択してください。

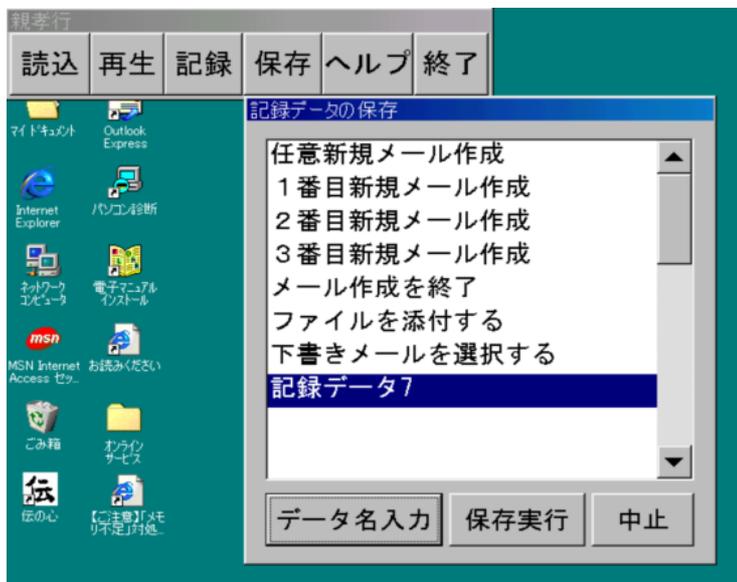
- マウス操作も記録されますが、再生時に表示されるウィンドウの位置が記録時のウィンドウの位置と異なるため正しく再生が行われません。
- スタートメニューからアプリケーションを起動し、漢字モードの切り替えを記録しても再生時、漢字モードの切り替えは行われません。
- 「かな入力モード」では、文字入力が正しく再生されないため(Windows XP を除く)、文字入力を行う場合は、次の手順で記録することができますが、記録は、サンプルデータにもありますようにメニューキーなどのキー操作の記録をお勧めします。
  - ① 記録の最初に Ctrl+英数キーを押下する。
  - ② 文字入力などのキー操作を行う。
  - ③ 記録の終了前に、Ctrl+英数キーを押下する。
- 記録中、Windows キー(Windows XP を除く)、Ctrl+Esc キーを押下した場合、または、フォーカスが「停止」ボタン上にあった場合にエンターキーを押下した場合は、その時点で記録を終了します (Windows キー、Ctrl+Esc キーまたはエンターキーを押下する前までのキー操作は記録されています)。
- 文字盤のボタンは記録と再生が正しく行われません。
- 「親孝行」のメニューにフォーカスがない場合は、メニューを 2 回クリックして下さい。

## ■ 保存

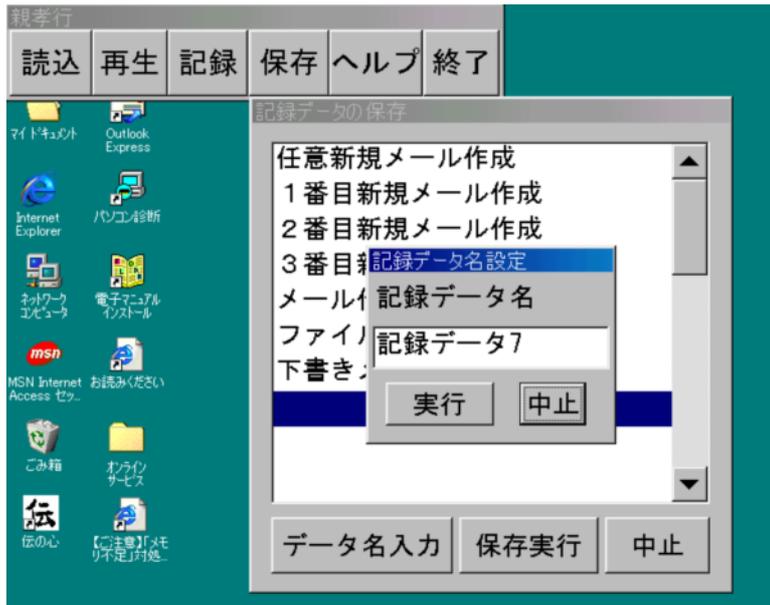
「保存」ボタンを選択すると記録されている記録データファイル名一覧を表示します。下記画面は記録データのサンプルデータ一覧です。ここで、空いている領域（「下書きメールを選択する」の次の領域）を選択後、「データ名入力」ボタンを選択します。データ名を入力後、「保存実行」ボタンを選択することにより記録したデータが設定したファイル名で記録されます。本操作は、介護者またはサポータの方が行う操作です。なお、既に、保存されているデータを選択した場合は、上書き保存されます。登録可能な記録データファイル数は最大30個です。



記録データを保存する領域を選択後、「データ名入力」ボタンを選択します。保存する領域を選択後はその領域がリバーズ表示されます。



「保存実行」ボタンを選択することにより「記録データ7」のファイル名で記録したデータが保存されます。ここで、「中止」ボタンを選択した場合は、保存を行なわないで、「親孝行」のメニュー画面に戻ります。



データ名を入力後、実行ボタンを選択します。データ名は全角で12文字まで入力できます。ここで、「中止」ボタンを選択した場合は、前の画面に戻ります。



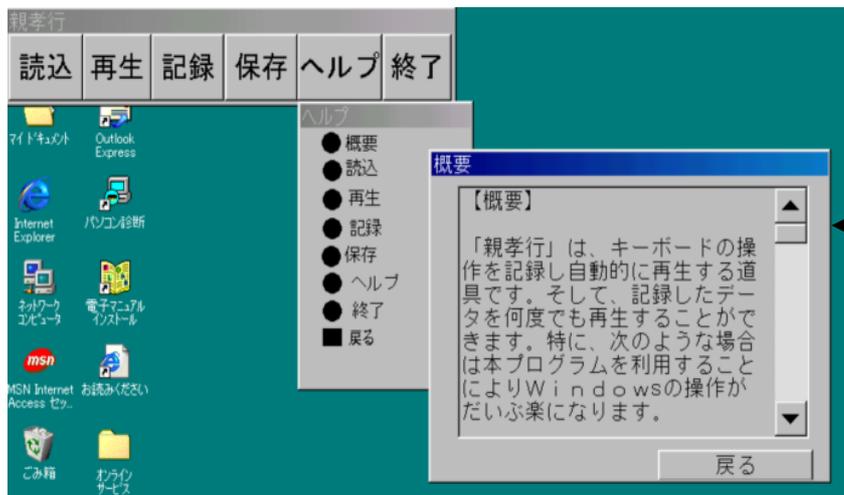
- 記録データの保存画面で、ファイル名を格納する領域として30個分の領域が確保されています。空白部分が空いている領域ですが、保存するときは空いているどの領域を選択してもかまいません。また、既にファイル名が設定されている領域を選択した場合は、前の記録データファイルが削除され、新たに設定した記録データが保存されます。

## ■ ヘルプ

「ヘルプ」ボタンを選択すると次のようにヘルプのメニュー画面が表示されます。ここで、項目を選択することによりその説明が表示されます。



ヘルプのメニュー画面が表示されます。ここで、一例として「概要」を選択します。



「概要」の説明分が表示されます。

## ■ 終了

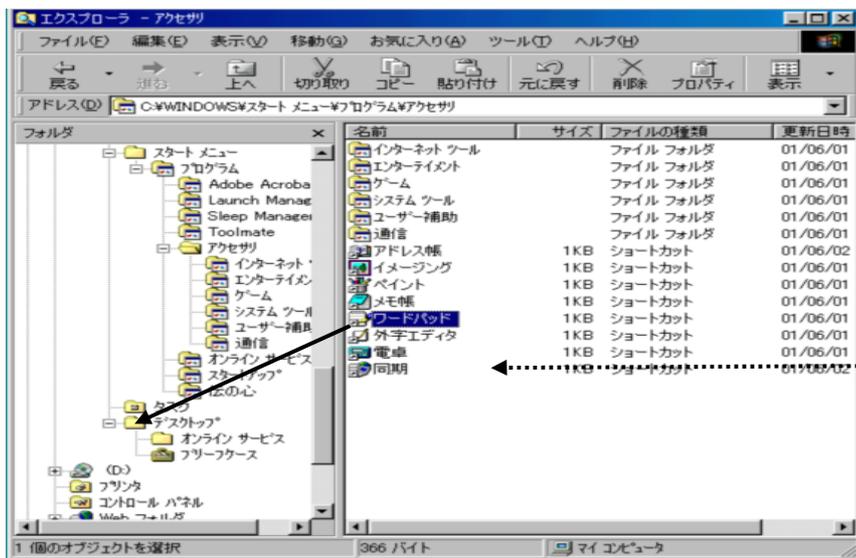
「終了」ボタンを選択すると、「親孝行」が終了します。

## 3. アプリケーションへの文字入力

### 3.1 前準備

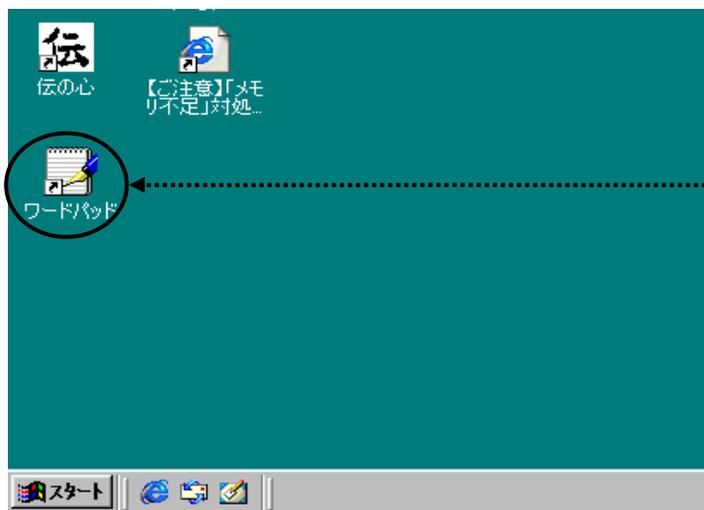
介護者またはサポーターの方にワードパッドのアイコンをデスクトップに貼りつけていただきます。

- ① 「スタート」 ボタンを右クリックし、エクスプローラを起動します。
- ② Cドライブの「Windows」－「スタートメニュー」－「プログラム」－「アクセサリ」にある「ワードパッド」のアイコンをコピーし、「デスクトップ」のフォルダにコピーします。



ワードパッドのアイコンをデスクトップフォルダへコピーする。

以上で、ワードパッドのアイコンがデスクトップに貼りつけられます。

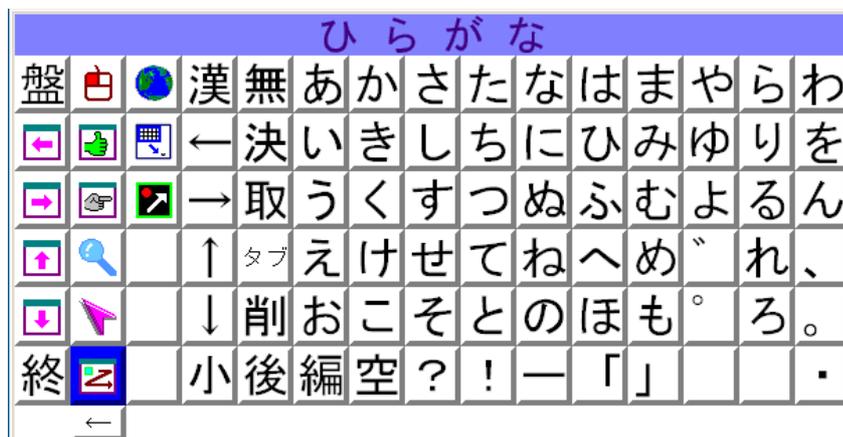


ワードパッドのアイコン

### 3.2 ワードパッドの起動

次の手順で「ウィンドウズ操作」を起動し、「アイコンの移動と実行」ボタンを選択し、ワードパッドを起動します。

- ① 「伝の心」の「呼出し」メニューから「ウィンドウズ操作」を選択し「ウィンドウズ操作」の文字盤を表示します。
- ② 「アイコンの移動と実行」ボタンを選択し、「ワードパッド」のアイコンを実行します。

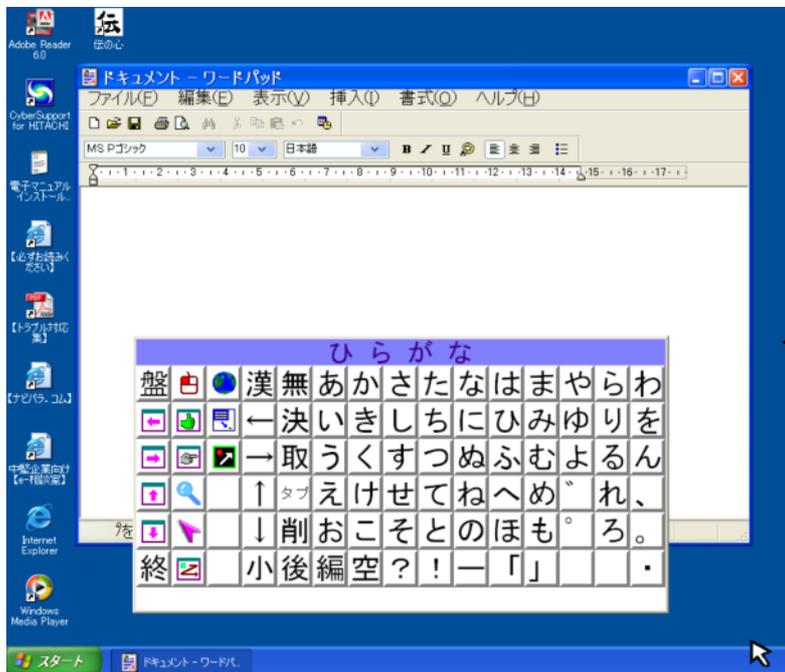


ここでスイッチを押します。





「アイコンの移動と実行」の操作盤が表示されますので「実行」ボタンにカーソルが来たときにスイッチを押します。



ワードパッド

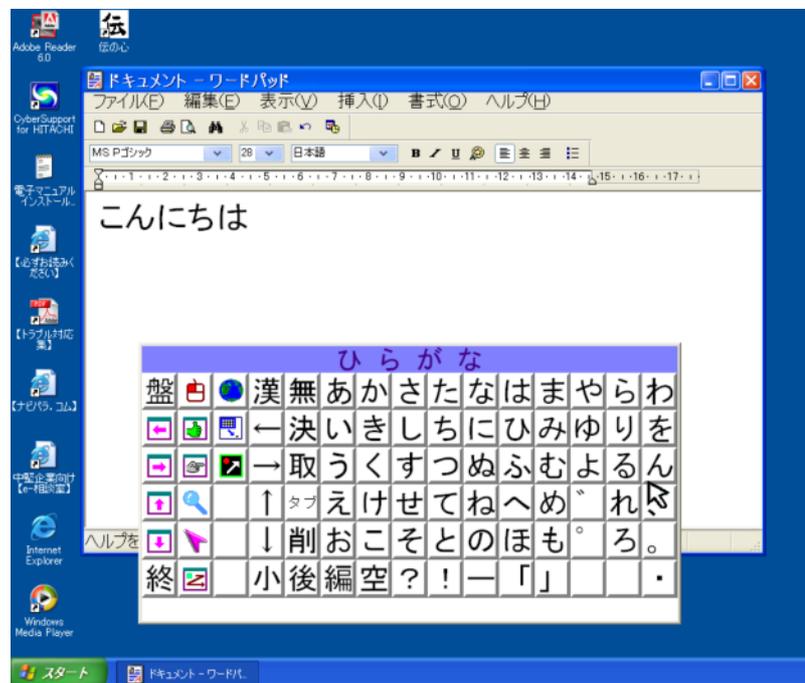
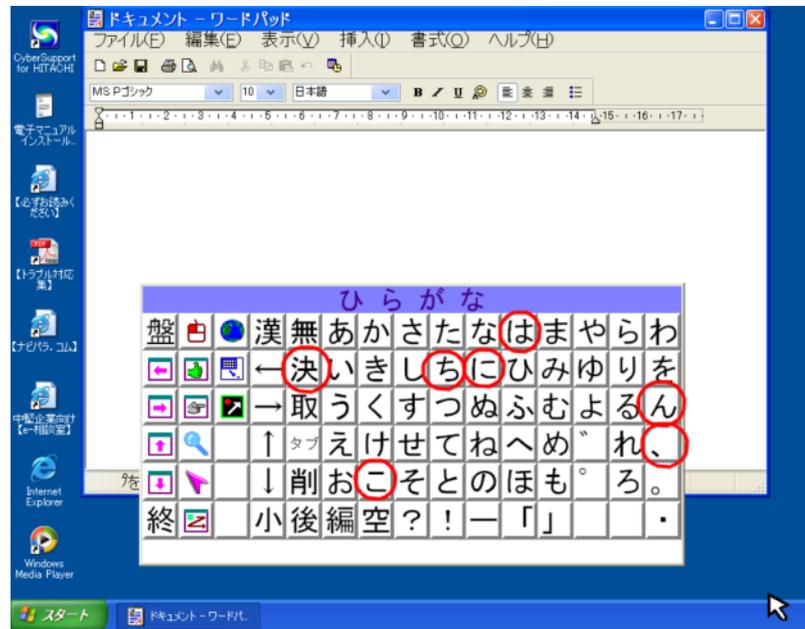
ワードパッドが起動し、ウィンドウズ操作の文字盤が表示されます。

以上で、ワードパッドに文字データを入力する準備ができました。

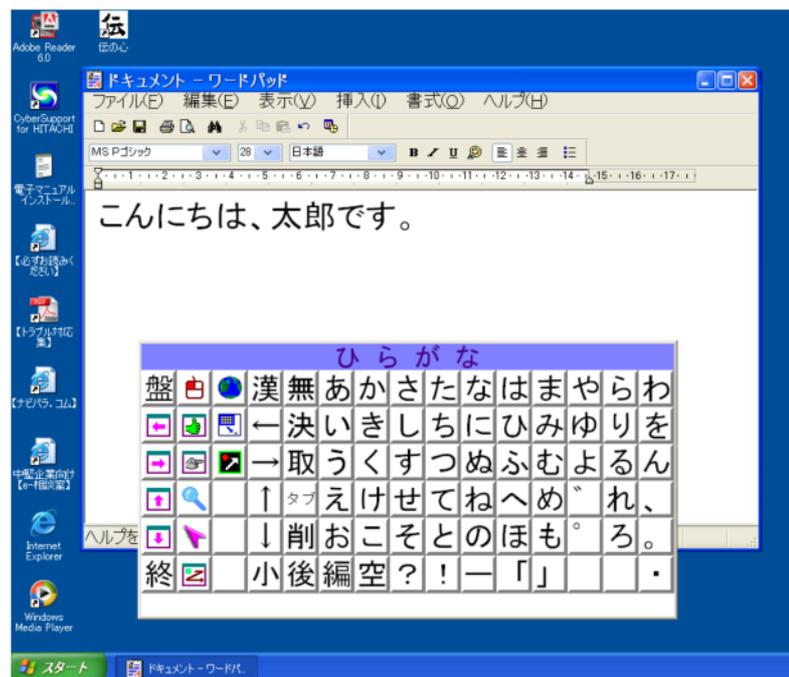
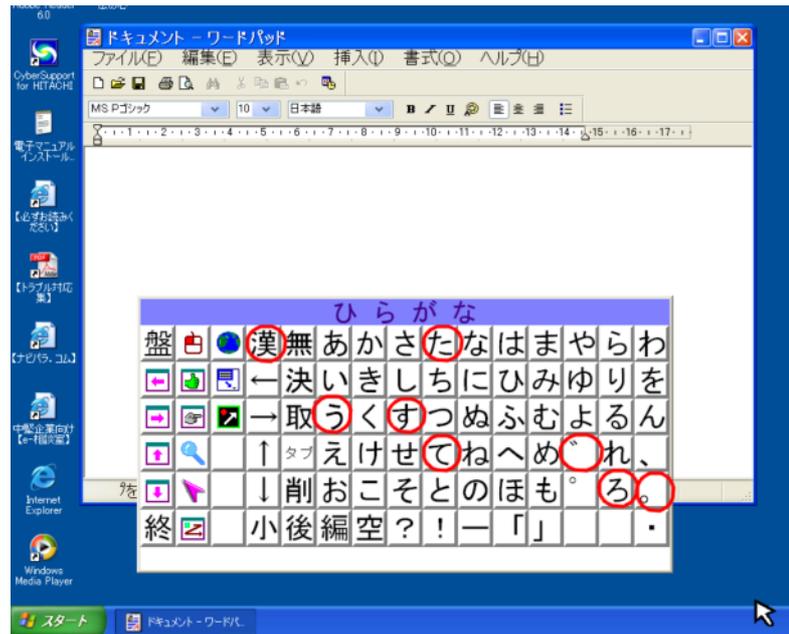
### 3.3 文字盤からの文字入力

ウィンドウズ操作の文字からワードパッドに「こんにちは、太郎です。」を入力する例を示します。

- ① 文字盤から「こ」、「ん」、「に」、「ち」、「は」、「、」、「決」の順に選択します。



- ② 文字盤から「た」、「ろ」、「う」、「漢」、「て」、「ゝ」、「す」、「。」、「決」の順に選択する。



---

**意思伝達装置 伝の心  
取扱説明書**

第19版 2007年 8月

**株式会社 日立ケーイーシステムズ**

**株式会社 日立製作所**  
ユビキタスプラットフォームグループ ユビキタスシステム事業部  
アクセシビリティ推進グループ

PC-DEN1A-19

---

無断転載を禁止します  
落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。